

質問1-1-F その他(ポジションはどれですか?)

※	企業マーケティング
※	チームリーダー任期付職員
※	研究所研究員
※	企業経営
※	医師
※	大学任期付職員
※	企業の研究者以外
※	企業開発者
※	出版社
※	准教授
※	大学教員
※	財団職員
※	派遣
※	特任
※	研究補助員
※	技術補佐員
※	公立病院
※	国立病院勤務
※	公的研究所の非常勤職員
※	客員教授
※	大学非常勤職員
※	財団法人研究者
※	研究員
※	研究所非常勤
※	大学定年後の研究者

質問2-2-C その他(シンポジウム・ワークショップのテーマについて)

※ もう少し動物があるといい
※ 多くのテーマがあり、同じような内容も多いと思った
※ 多すぎて発散している
※ 興味分野のワークショップの時間帯が重なっている。
※ 抽象的で申し訳ないが、dry(インフォ)とwet(パイオ)のつなぎめというところが欠けているように思う
※ 新しい内容が少ない
※ まとまりがない感じがする
※ 仲間内の会が多い
※ 原核生物がもう少しあるとうれしい。
※ まだ他にも取りあげた方がよいテーマもあるような気がします。また、オーガナイザーの関係者のみの発表というのいかにがなものかと思えます
※ これだけ大きくなると難しいが、少し偏っているくらいが良いと思う。
※ 多すぎて分からない。雑です。
※ 重複が多い
※ 類似のテーマを分散してほしい。
※ 似たテーマのものが、同じ時間帯に設定されているのは好ましくない
※ 発生関係が少ない印象
※ 分野が多すぎる
※ マイナーな生物が少い。
※ 分類がわかりづらい。
※ 同じ時間に似たテーマが開かれるのは困ります。
※ これでしかたない
※ よくわからない
※ 偏ってはいないが分け方がややわかりにくい
※ わからない
※ 植物もふやしてほしい
※ バイオインフォマティクスや分子進化など理論系が少い統合★や次世代スパコンなどお金がからむものしかなかった
※ 一般に専門的細分化されすぎていて他の分野の研究者は理解できない
※ 判断できない
※ 広がりすぎている
※ ある程度偏っているが、その年の特徴として許容できる範囲
※ いつもと一緒
※ 創薬関連テーマがあるといい。
※ 毎年同じようなテーマになっている
※ 関連テーマが同日、同時刻にあり、片方しか聞けなかった(私だけ?)
※ 興味あるものが少なかった。
※ 一部シンポジウム、ワークショップ内で特定のシグナルの偏りがあるとは思いますが、テーマとしての偏りはそこまで感じない。
※ 個人的に興味のあるテーマの時間がよくオーバーラップしていました。
※ 違いのわかりにくくテーマがある。
※ 種類が多すぎる
※ もう少し進化のテーマがあってもよい。12/9の進化のセッションは立見で大にぎわいだった(3W21)。
※ Workshopの質に差が大きい。部屋の割り振りも問題有。
※ テーマが広すぎる。
※ もっとしぼった方がよい
※ モノづくり(創薬など)についてももっと取りあげてほしい
※ 4日間に分散してほしい。並行して見られない場合有り。
※ まァまァ。
※ 類似したものが多い。
※ 興味のある類似の分野が同じ時間にかぶっていたのが残念(数理関連)
※ 大会長、実行委の判断でよい
※ 散漫
※ テーマが分りにくい
※ その時々で良いと思う
※ 臨床についての講演がもっとあるといいなと思いました。
※ どちらとも分からない
※ 今年はがん関係が多すぎ。少し整理が必要

質問2-3-C その他(シンポジウムの全英語化について)

※ なぜシンポジウムのみなのか？
※ 講演者の状況によるべき
※ セッションごとに決めればよい
※ どちらともいえない
※ 学部生などは全英語化は受け入れられないと思う。
※ 両方わるのがよい
※ 日本人のみの場合は日本語、その他は英語★
※ 発表者の英語力が良ければokだと思う。
※ 促進していくべきだとは思
※ オーガナイザーにまかす
※ 発表する方が大変
※ 両方で良いと思う
※ Abstractとタイトルを英語に
※ 同時通訳を検討してはどうか。
※ 発表件数は減るでしょうね。
※ 必要・分野に応じて行えば良い
※ 若者・学生には負担かも・・・
※ 良し悪し。
※ 発表は英語で良いが、タイトルは日本語も欲しい。演題数が多くて、英語だと一見してさがせない。
※ 一部になれば問題ないが、全てにすると理解力がおちる。
※ 日本語もだいたいにするひつようがある。
※ Aで良いと思うがケースバイケースでよい
※ 各シンポにまかせては？
※ 少しは日本語あっても・・・
※ よい方向と思いますが、別分野の発表はききにくくなるかもしれません。
※ 質問等は一部日本語も可にする
※ どちらとも言えない
※ 学生のトレーニングにはよいかもしれない。
※ どちらかに統一を
※ 共存がよい
※ しきいが高くなりそう。
※ ケースバイケース
※ 現状がよいと思います
※ 演者に選択させればよいと思う。
※ どちらもありえる可も不可もない
※ どちらでも良い
※ どちらでもよい
※ 目的意図が不明確
※ コメント、学生さんなど英語にfamiliarでない人には難かしいかも知れません。
※ 今の程度で
※ 一長一短
※ 1度トライして問題があったら戻す
※ 外国の方がスピーカーに入っているものに限っても良いと思う
※ 場合による
※ どちらでも良い
※ 半々がよい
※ どちらでも良い
※ 半々にしてほしい
※ 現在のレベルでは、デメリットが大きい。
※ 学部、院生の授業の一貫として、来ている人にとって、全て英語になってしまうと聞けなくなってしまう。
※ 若手向けは日本語も。
※ 海外からの参加者がふえるなら、英語化。
※ 発表者がほとんど日本人なのに英語でやる意味がない
※ どちらでもよい
※ スライドのみ英語化
※ 日本人しか参加しないなら、日本語が良いと思う。テーマによる？
※ できれば日本語でやってほしいです。
※ 希望者は英語で。
※ どちらもメリット・デメリットがある。
※ 質疑は日本語でも良いという条件がいたら良いと思う。
※ 勉強になるがついていけない
※ どちらでも良い

質問2-3-C その他(シンポジウムの全英語化について)

※	世界標準を目指すというのは、良い傾向だと思うが、研究をスタートさせたばかりの学生達には少し理解が浅くなると思われる。
※	準備なしで、下手な英語を聞くのはつらい。
※	今のような半々の状態がちょうどいいと感じます。
※	良い意味で門戸が広く開いた学会と思われれます。若手の経験の為に半々がよいのではないのでしょうか？
※	オーガナイザが決める。
※	Nature languageが良いのでは
※	大きなテーマだけでよい
※	違う分野になると聞く意味がなくなる
※	へたな英語は聞きたくない。理解のさまたげになる。
※	演者や場合により・・・
※	同時翻訳必要
※	どちらとも。
※	演者次第にした方がよい
※	どちらとも言えない
※	へたな英語が多く聞きづらい
※	日本なのだからどちらもある程度よいのではないか
※	英語発表は英語の勉強にはなるが、内容の理解という学会の核心を得るのが難しい。必ずポスター発表もつけ加える。日本語の要旨もつける。←結論にわかりやすい略図をのせる等、英語勉強中の者にも内容が理解しやすいようなものを加えてほしいです。
※	海外からの参加者が増えれば、全英語化は良いと思う。
※	自分の英語能力がないというのも問題であるが、院を目指す学部生などが、ハイレベルで最先端の内容を聞きとれなくなるのはもったいない気がする。
※	おもしろいものは日本語でも英語でも気にならない
※	どちらでも良いが、日本語で行うメリットと英語で行うメリットは別なので、一概にどちらとは言えない。
※	英語だと質問者が一部関係者に偏る。
※	両面がある
※	理想は全英語化、実際はやはり日本語か？
※	悪いとは思わないが、敷居が高くなったイメージ。
※	勉強不足のため、英語がわからない時がある専門以外の単語は分からない。
※	今のままでよい
※	日本人が多いので、全英語化が必要ない。
※	できれば日本語が良い
※	演者にforeignerが増えるなら英語化OK
※	発表者の方にまかせる。
※	一部のみがよい。
※	ケースバイケースで、どちらとも言えない。
※	大学院生や若手研究者の意向に沿うと良いのでは。
※	一般口答は日本語がよい。
※	目的による。学部生などが理解を深める場合は困難になるのではないか。
※	英語の不得意な演者は日本語のほうがよい
※	どちらでも
※	外国人が演者の場合のみ
※	どちらでもよい
※	オーガナイザーの自由にすべき
※	良い面、悪い面両方あり。
※	英語だと、参加しにくくなる(特に学生)
※	学会にとって英語化は素晴らしいことだが、聞きもらしてしまう発表が多く個人的にはつらい。
※	どちらでもよい
※	speakerによる
※	目的が不明確なのが気になる
※	日本人の参加者が大多数の場合には必要ないと思う
※	下手な英語はやめさせる
※	どちらにも良い点がある
※	スピーカーに外人がいる場合は英語化すべきだが、日本人だけの時は日本でいった方がよい。
※	学年がわからない
※	演者しだい。
※	良いと思うが、スライドの文字の大きさを決めないと読めないサイズのものが多すぎる
※	討論が英語では非効率な事例が多いので避けるべきである。
※	外国人講演者がいる時は
※	一部は英語でよいとおもう
※	必要なことだとは思いますが、せっかくの話を理解できない、ということが増えると思います。

質問2-3-C その他(シンポジウムの全英語化について)

※ 少しむずかしい問題がある。
※ どちらでもよい
※ 厳しい。
※ 訳分かちん。
※ ケースバイケースで日英両方使用が良い
※ 実際問題として英語では理解できない
※ 一長一短あるのでわからない
※ 仕方がない
※ 日本語もほしい
※ 質問が日本語で中途半ば
※ 半々くらいに
※ ケースバイケース
※ 日本人ばかりの時は、日本語でよい
※ どちらでもよい
※ これぐらいで良い
※ 現状でいい
※ 見てないのでわかりません
※ どちらでも内容重視
※ 同時間帯のワークショップと言語を統一した方がよい
※ ?
※ 混在しても良いと思う
※ 発表者個人の自由で。
※ 質問は日本語で・・・
※ 何ともいえない
※ どちらでもOK
※ 企業のパンフレットやバッグを回収するBOXを置いてみてはどうか？私は1分以内にほとんど捨てています。無ダが多すぎます。言いたいのはそれだけ
※ ?
※ これからもっともっと英語力を身につけたいと思っていますが、日本語もあっていただくと、わかりやすいです。
※ 半々程度
※ 学生としては、難しいので日本語の方がありがたい
※ どちらでもよい
※ 半々くらいで
※ 半々くらいがよい
※ case by case
※ 特にこだわらなくてよい。
※ オーガナイザーに一任でよい。
※ よい面とわるい面の両方があり、判断しかねる。
※ "全"はしんどいです。学部学生がついていけなくなると思います。
※ どちらでもよい。
※ 外国人がspeakerでいるならしかたがない
※ どちらでも。
※ どっちでも
※ 結局実現していないのでは？
※ すべきであるが、無理と思います。
※ 自由がよい
※ 新たな知識を得るには面当な気がする
※ 全英語化にしなくともよいと思う。
※ 日本人は日本語でよい
※ 学生さんが寝てしまうと思います
※ 日本人が英語でやるならOK. なまりの強い英語はかんべん
※ 半分半分でも可。mixで可！
※ 良し悪しがある
※ 理解がむずかしい。
※ 日・英混合で良い
※ ちょうどよい
※ 英語化するならスライドに学生でもわかるようにキーワードには日本語をつけるようにしてほしい。
※ 特に
※ 現在のまま
※ 適宜。
※ ケースバイケースで。
※ 発表は日本語でもスライドを英語にする等

質問2-3-C その他(シンポジウムの全英語化について)

※ 海外からの演者増につながるなら受け入れる
※ なんとも言えない。流暢な英語ならいい。
※ 併記が望ましい
※ その分野外の学生にとってはとっつきにくいので分野間交流をさまたげないか？これだけ大きな学会は分野間交流の好機会です。
※ わからない
※ 口述は日本語でもスライドは英語化してもよいかも。
※ 必要に応じて。外国人演者参加など。
※ どちらでも。外人を招いたら英語でしないとイケませんでしょうし。
※ 日本の学会は日本語で。
※ 中途半端で意味がない。かえってわかりにくい。
※ 両方ありがたい
※ 日本人の参加が多い中で、意味があるのか。国際学会ではないので、だしている(参加している)母国語で行うほうが、よいのではないか。
※ どちらでもよい。
※ どちらでもよい
※ どちらとも言えない
※ どちらでも良い
※ 英語へたな先生はもうすこし準備をしっかりしてほしい
※ どちらでもよい
※ 英語化は望ましいですが、実際にはDiscussionを低調にするリスクが有ると思います。
※ 困る
※ 毎回英語だと浅い理解に終わってしまうので。適宜英語化。
※ 外国人若手の多くの参加(招待)が前提
※ 全部英語にする必要はない
※ 外国人をできるだけ含めるべき
※ 学生には不向きかも知れない
※ 半々でよい。
※ どちらとも言えない
※ 質疑のみ日本語でOK。BMBIにも海外の研究者が参加しやすくすべき
※ 半々がよい
※ 現状でよい
※ 発表者が日本人のみなら日本語でも良いと思う。
※ どちらでも
※ 発表者が日本人だけの場合は英語である必要性はないと思う
※ どちらでも構わない
※ スライドを英語、説明・質問を日本語にする。
※ よいのだが、英語がへたな演者の講演はわかりにくいし、つかれる。
※ どちらとも言えない
※ テーマによる
※ 日本語があってもいいと思う
※ native speakerを入れる努力をすべき。全員日本人の場合、質問で日本語になったりして、違和感大。
※ 分野による
※ 一部日本語でも良いのでは
※ どちらともいえない
※ 推進すべきであるが、現時点では、よく理解できない発表や、討論が十分なされない事例もあるように見受ける
※ 両方あるのがよい。日本の学会なのだから日本語も残して下さい。
※ 日本語で氏名、所属を書いてほしい
※ 不毛だと思います。
※ 個人的には日本語ありがたい
※ 資料があると助かる
※ 世の流れ
※ シンポは英語でよい。ワークは日本語でもよい
※ 外国人が参加するセッションは当然
※ 両方あってもいいのでは
※ 困る
※ ターゲットによる
※ 専門分野なら英語でもよいが、専門外なら日本語でじっくり聞きたい
※ 一部日本語がほしい
※ どちらかにする
※ ムリに英語化することはない
※ どちらでもよい

質問2-3-C その他(シンポジウムの全英語化について)

※	どちらでも良い。“全英語化”などと、こだわるのがおろかしい。日本語がしゃべれない人は英語でもしゃべっていれば良い。ただし強制的に“英語化”というのも奇妙な話だ。シンポジウム参加者ならば両方しゃべれるでしょう？日本語をしゃべれる人は日本語で、日本語がしゃべれない人は(最近では日本人でも日本語をしゃべれない人を見かける)英語を使えば良い。強制は良くない。
※	良いと思うがしんどい
※	半々くらいが良い
※	適材適語で宜しいかと思えます

質問2-7 プログラムについて、その他自由記述

※	実は口頭とポスター両方は準備がしんどい。でもメリットは多い・・・発表時間8分は短い。
※	シンポジウム、ワークショップの重なりをもう少し減らして欲しい。
※	1日目に人が集中しすぎている気がする。
※	1つ1つの会場が離れて、聞きたいTalkが重複しており、全てを網羅できない。
※	口頭発表→ポスター発表にしてほしい。ポスターの宣伝のできる。
※	英語化は不要である！
※	ワークショップとシンポジウムを分ける必要性がない
※	ポスター会場がせまい
※	同分野のワークショップ、Lectureが時間重複して、希望通りに聴けないケースが多い。改善は可能か？
※	しょうがないが会場の移動がはげしい。
※	口頭が先だと、ポスターでその演題に集まる人が多い気がする。
※	ダイナコムウェブのプログラム★★が不便。iPhoneアプリ化してほしい。
※	前々日も今日も、ポスターの次の日、口頭発表でやりにくかった。
※	席が足りない会場があったので、残念でした
※	マイスケジュールの印さつシステムにバグが多すぎて、使いものにならない。要改善！
※	口答で発表したならポスターは必要ない
※	似たテーマについては、午前と午後で可能な限り分けて日程であると良い
※	口頭発表の、もろ時間が短すぎると思います。
※	口頭発表は10分で短く、Workshopやsympoの方を聴講するので精一杯でできなかった。
※	合同は時間的にもきつい
※	4日間ポスターがはりっぱなし希望。ポスターがとなりとちかすぎてコマル
※	色々見てまわりたいけど、それが現実的でなくたいへん
※	見たいワークショップが同じ時間に偏っていることが多かったです。
※	トピックス的課題もとりあげられ、興味深く、参加者があきずによいのではないのでしょうか。
※	口頭ポスター両方は不要では
※	口頭に採択されたら、ポスターなしで良いのでは？
※	フォーラムの時間が遅くて行く気にならない
※	東大の若本さんのがよかった。
※	同じ分野のセッションを同時併行でやると、片方しか参加できず残念です。
※	トレンドを追いすぎている
※	英語化はむなし。コミュニケーション効率悪すぎる。
※	同時間帯のワークショップの内容が似かよっていると、両方聞きに行きたくても聞きに行けない(2W-plに定量～、システム等のインフォーマティクス系が多く、ひとつしか聞けなかった)。
※	見たいセッションが同じ時間に重なることが多い。同じカテゴリのwsやTalkは時間をずらしてほしい。
※	朝が早すぎでは。
※	ポスターと両方は、やはり準備が大変では？
※	Talkの時間が短いと思います
※	新たな分野の理解にも、日本語での発表は残しても良いと思う。
※	外国からの招待講演を増やしてほしい。
※	ワークショップ発表者に介しても、任意でポスター発表可能であると、都合が良い
※	口頭発表の時間が短い。
※	空き時間多い。その分口頭を増やしてほしい／ポスター時間とフォーラムを重ねないで欲しい。
※	英語をもっとへらしてほしい教育的な内容をもっと作ってほしい
※	口頭発表時の質問はやめにして、発表をつめるのがよい。つまり、口頭発表は、ポスターの紹介とする。議論はポスターでやればよい。
※	植物関連のTalkが少ない
※	朝が早い
※	発表時間帯が遅い気がする。
※	口頭とポスターが別日、はともかく順番(ポスター→口頭)では意味がない。ぶすい
※	言語は、発表者が自由に選べるようにしておいた方がいい。(国際学会ではないのでから・・・)
※	8分の口頭発表では全体の紹介ぐらしかできないので口頭発表をポスターより先の時間にしてもらわないと困る。
※	ポスターでもワークショップでも、似た内容のものを別の時間帯に割り振っていただきたい。
※	プレナリーレクチャーを早朝にシフトすると午後のセッションを2セット行える。プレナリーレクチャーのみに限定しているのは勿体ないと思う
※	質問は日本語でというのではイミない
※	今回は昼休みが長過ぎると思いました。
※	シンポジウム等で立見で混んでいるときに、さらにあとから無理やり入ってくる人がいたので迷わくなので入場制限等の規制をしてほしい
※	聞きたい話が同じ時間にあることが多い。
※	口頭発表は最低でも10～12分discussion5分～3分はないと。発表数が多ければよいといつもではない気がする。

質問2-7 プログラムについて、その他自由記述

※ スクリーンが小さく見づらい
※ 発表間の移動、準備時間があつた方がよい
※ しきり会場が広く分散していて、また入口が混んでいてかけもちがむずかしい
※ 複数の建物の間を移動するのは大変。
※ 同じ分野のいくつかのセッションが同じ時間にあるので、どちらかを聞きにいけない。
※ 数をへらして、同時並行の数をへらしたりした方がよい。
※ ポスター時間を早めて欲しい
※ 一般発表(ポスター・口頭)にもっと時間を使うべき。
※ 口頭後ポスター見れるように
※ 口頭発表時間が短い。
※ 口頭を増やすべきと思うが、増えると聞きたいものが聞けなくなるのでまあ良いか。
※ 口頭をなくして、ポスターをしっかりと
※ 口頭が先ならばよい
※ パワーポイント(スライド)をすべて英語で作るようにとの規約だったが全くナンセンス。聴衆が全員日本人なら、日本語のスライドでやるべきである。英語の訓練は別の機会にすべき。
※ 口頭ポスタは両方やらなくてもよい気がします。
※ Late Breaking・・・のポスターが、わかりにくい。検索しても出でこない。プログラムにもものっていない。順番や日程もばらばら。
※ 会場が暑い
※ 数は問題ないが、もっと時間帯を分散させられないか？重なって聴けないセッションが多すぎる。
※ 学部生にも分かる様に全英語化は反対！
※ プレナリーレクチャー(1時～2時半)の間がムダ。2つしかないので興味が無い時はやる事がない。
※ 発表時間長くした方がよい。特に口頭発表
※ ポスターのみでよい。
※ ポスター発表の時間を長くしてほしい
※ 中国、韓国、台湾、シンガポール等のアジアおよびオーストラリア等の研究者が参加しやすいように英語化を進める。どうしても全英語化が難しいなら、初日あるいは最終日を日本語発表にして、他の日を英語発表にする。
※ 会場の大きさと人の入り具合のバランスが良くない。
※ 同じ研究室からの演題(ポスター・口頭とも)は同一が良い
※ シンポジウムやワークショップビデオ化と配信してほしい。
※ 午後にもシンポジウムを設けるなど、片寄らないプログラムにしてほしい。
※ 口頭発表の選択基準が不明？
※ 国際学会ではないので、日本語ベースの方が良い。
※ 英語化というのは反対(下らない)討論が入る。ここは日本だ(なお私はバイリンガル)
※ 学会が大きいので、異分野の情報も求めて参加しています。従って異分野の講演を英語で拝聴すると日本語でもよくわからない。完全には理解できない内容を理解するのはかなり困難です。
※ 英語発表であるがゆえに、言いたいことがよくわからない。(発音がわるい)これなら、日本語で議論をしっかりとした方が中味のある発表になるのでは？
※ 一般口頭発表は、適切に選ばれているのか疑問に思うことがありました
※ 演題数が多すぎるので、口頭発表とポスター発表の両方を行う形式は好ましくない。
※ 若手の大きな励みになるので、口頭発表はどんどん行って下さい。短時間でOKです。
※ 人が多すぎる。合同年会はさけるべき
※ タイトルプログラムを日にちごとに分けて欲しい。重い！要旨はマイルスケジュールに複数個まとめてとりこめるようにして欲しい
※ 特に今回のような合同開催で広いテーマを扱ってるのに、英語オンリーにされると自分に身近なテーマのみしか理解しにくくなりませんか？合同開催の良さってそこではないですか？
※ 日本人の下手な英語を聞いても、何を言っているのかよくわからないことがあつた
※ 5、6について、聴く側からは「別日が良い」。全日程参加できない場合などに一方だけでも聴く可能性が増える。
※ ポスター発表の際、人が多くて移動が大変だった。改善を期待します。
※ 2つの学会の共同開催は参加するのに便利だが、デカすぎる
※ 口頭発表の数を減らして一題あたりの時間をもう少し長くするとよいと思う。
※ 順番が気になるなら口頭が先でポスターが後の日、ポスターが先で口頭が後の日、混ぜてみるのは？まずやってみて、出席をとったりアンケートで確かめてみればよいのでは？
※ 6)で同日でなければ、ポスターが後、口頭8分は、短いので、ポスターの宣伝と認識しています。
※ 部屋割が不適切。2W21が狭い部屋で激混みかつ2W20が広い部屋でガラガラ。
※ シンポのオーガナイズが悪い。3日め、PM3T8と3W20Pは同じテーマで重複
※ 発表数が多いので、要旨を日本語とすべき。教育的効果(や外国人向け)を考えるのはわかりませんが。
※ ワークショップの発表者もポスターを出すべきだ。ポスターがあれば議論が十分できる。今のままではエライ人だけしか発言しない。もっと何回もやれるようにすべき。
※ 質疑応答時間が2分ととても短いため、口頭発表が先でポスターが後の方が、再度ポスターの時に質問できてよいと思う。
※ 口頭発表は必要ないと考えます。

質問2-7 プログラムについて、その他自由記述

※	口頭発表とポスターの発表日が異なるのが、別日でも発表する側は問題ないが、見る側には大変だと思う。
※	会場がせまい、きけないものが多い。
※	oralの時間短すぎる。
※	ポスター会場のミキサー実施が判りませんでした。
※	ポスターをゆっくり見る時間が一般口頭発表のときくらいなのでそこをスキップしてしまいがち。
※	日数をふやして1日の発表数(ポスター、口頭供に)をへらして欲しいです。
※	オーラルを聞き、良いなと思ってポスターが前日だった。何なんだ？ポスターの方が時間制限なく本人をつかまえて多くのディスカッションができるのに。
※	ポスター会場が混みすぎているように思います。ポスター間のスペースをもう少し広げた方がいいかもしれません
※	スクリーンが見えづらい部屋がありました。(国際会議場501など)
※	口頭発表のテーマが絞りきれない印象
※	別日でも良いが、口頭発表の後にポスター発表がある方がありがたい。

質問3-2-C その他(今後英語化すべきかどうか)

※ 選択可能としたら良いのでは。
※ どちらでもよい
※ 学部生などは全英語化は受け入れられないと思う。
※ 両方あってよい
※ 演者の自由で良いのでは？
※ 英語★記
※ 今のままでちょうど良い。
※ どちらとも言えない
※ 併記が望ましい。
※ 外国人の数による
※ 多くが日本の全で行われている研究なのだから、第一に国内に★元すべき。
※ Abstractとタイトルを英語化
※ ポスターはゆっくり見られる(読める)のでどちらでも良い。
※ 日本語も認めるべき
※ スピーチのテキスト化(有料)とともに推進しないと、なかなか難しいのではないかと
※ 今回のような形で良いので良いのではないのでしょうか
※ 若者・学生には負担かも・・・
※ 英語でもよいが、タイトルには日本語併記を希望
※ 学部学生の場合、自分の研究テーマから離れた分野になると英語では理解しにくいことが多いので、一部は日本が残っていて良いと思う。
※ 現状維持
※ Aで良いが
※ ポスターの内容のみ英語とか・・・。
※ 内容はできるだけ英語
※ よい方向と思いますが、別分野の発表はききにくくなるかもしれません。
※ どちらでもよい。
※ 特に海外コンペライター研究者が多い分野はかまわない
※ 演者の選択にまかせる。
※ どっちでもいい
※ どちらでも
※ 英語化を第1の目標にするなら英語化。聴衆が理解しやすいことを目標にするなら、大多数が容易に理解できる日本語。
※ 個人に任せるべき
※ どちらでもよい
※ 必要に応じて
※ 要旨を英語化
※ どちらでもよい
※ 今の程度で
※ ポスターのみ英語、付★は日本語
※ どちらでも良い
※ どちらでも良い
※ ケースバイケース
※ こだわりはない
※ スライド、ポスタのみ英語化
※ どちらでもよい
※ 大学の現状がよくわからない。学生の英語力に寄る
※ どちらでも。英語化すると、どうしても時間がかかる
※ どちらでも
※ Abstract程度は英語化すべき。
※ 日本の英語教育水準が上がった後には英語化すべき。一応日本の学会なのだから、日本人にあわせた日本語で発表する方が良いと思う。
※ 希望者は英語で。
※ 英語のが今後のためにいいと思うが、ほとんどの人が話せない
※ 国際学会でない場合は、観客個々人の理解度を重点におく方がいいと思うので、演者の自由選択でいいと思う。
※ 今のような感じでいいと思います。
※ しない方がよい
※ Depend
※ 伝えたい事象による
※ タイトル・著者・要旨は日本語を残してほしい
※ 少なくとも、日本人以外の参加者にも解るような配慮が望ましい。
※ ただし、日本も残した方が、地方の学部生などのために良いと思う。

質問3-2-C その他(今後英語化すべきかどうか)

※	するなら完全に
※	一部のみ
※	スライド等は全英語でいい
※	どちらとも言えない
※	要旨は日本語
※	海外からの参加者が増えれば、全英語化は良いと思う。
※	選択できるようにする
※	聞く側的には、分野外内容は理解するとき、日本語の方が楽。発表側には「どっちでも良い」ってのがありがたい。
※	どちらでも良いが、日本語で行うメリットと英語で行うメリットは別なので、一概にどちらとは言えない。
※	当人の意志で
※	望ましい、程度で始めては。
※	両面がある
※	強制する必要はないと思います。
※	英語化するなら、質疑応答も英語化がのぞましいと思いますが、逆に★論の自由度が下がることも考えられるので現行の状態が良いと思う。
※	混合タイプがよい
※	しない方がよい
※	自由でいい。
※	発表者に任せる。
※	どちらでもよい
※	大学院生や若手研究者の意向に沿うと良いのでは。
※	題名、要旨はどちらもあっていいと思います
※	自由でよい
※	全体としてどうするかで決めるべき
※	するべきではない。
※	Posterの文章は、英語、発表自体は、日本語でも可として欲しい。
※	全て英語にすると、学生が気軽に発表できなくなる気がするので、半々でよいと思う。
※	discussionは日本語OKなら英語でも良い。
※	どちらにもメリット・デメリットあり。例えば、博士院生以上英語とかポスドク以上英語とかにしても良いかも。
※	発表者に選択してもらう
※	ポスターを英語表記にするのは良いが発表も英語となると学生には厳しい。
※	どちらでもよい
※	どっちでもよい
※	国際学会ではないし、また日本人が80%以上だから、コミュニケーションをとるのは日本語の方がとりやすいと思う。
※	どちらでもよい
※	日本人には日本語で良いと思うが、外国人が来てくれた時には英語で対処できるよう、英語でポスターを作るべき。
※	少しむずかしいと思う。
※	どちらでもよい
※	質問者が英語を十分に理解しているか不明。
※	してもいい。
※	自由選択、学生が新しい分野の勉強に挑戦しにくくなる。
※	どちらでもよい
※	わからない
※	強制はしない程度
※	著者にまかせる
※	未成熟なデータに対してしきいを上げるべきではない
※	半々ぐらい
※	両方ゆるして欲しい
※	今ぐらいがよい。学生の参加もあるので。
※	ポスターだけは、話は日本語で
※	当事者がえらぶ
※	少くともタイトル、項目、要旨は英語表記をあわせて示す。
※	参加者しだいだと思います。
※	どちらでもよい
※	ポスターは英語中心説明は日本語可。(せめて各図のタイトル)と結果のまとめ
※	英語選択でもよいとする。強制はしない
※	ビミョー
※	どちらでも
※	発表者にまかせる

質問3-2-C その他(今後英語化すべきかどうか)

※	科学の世界では英語が標準語ということで替成したいが、学生やそれ以外の研究者も異分野の研究を勉強する機会が減ってしまうかも。対策が必要。
※	どちらとも言えない。
※	どちらかに統一
※	英語基本で日本語も可ぐらいで
※	表記のみEnglish
※	日英どちらでもOK。
※	時代の流れに応じて
※	した方がよいのかもしれないですが、見にくくなります・・・。
※	日本人を対象としているなら日本語の方が時間をかけずに読めて良いが、インターナショナル化を目指すなら英語で良い。
※	どちらでも良い
※	自由で
※	どちらでもよい。
※	どちらでも
※	自分の好きな方で良いと思います。
※	きれいな英語ならかかげい。
※	表記は英語化にしても問題ないが、説明までは英語化の必要ないと思う。
※	英語化しても説明を日本語でしてくれるならそれでよい。
※	Symposiumのみ
※	記述は英語がよいと思う。
※	ケースバイケース。数が多いので、やはり日本語だと楽なのは否定できない。
※	題名は日本語と英語を併記して、中身は英語がbetterだと思う。
※	演者に任せては？
※	発音が良く、聞き易ければいい。
※	義務化する必要はないが、英語でも出来るようにする事が望ましい。
※	併記が望ましい
※	本人の自由で良いと思う。
※	Summry程度は若手の勉強の為に英語でもよいと思うが、日本語の方が視覚で意味が分かるのでポスターを見る時間が短くて済む。効率的。
※	部分的に英語を入れる。タイトル、抄録のみは英語を必須とするとか。
※	発表者の意図により、自由でよい
※	ポスターは英語で作成するのがよい
※	どちらでも
※	どちらとも言えない
※	どちらでも良い
※	完全英語化には反対。
※	どちらでもよい
※	最初は選択式
※	タイトル等は日英両記
※	賛成に近いが、学生参加が減るかも知れない
※	Title 氏名 所属 和文併記で他は英語化がよい
※	どちらでも
※	外国からの参加者の比率により？
※	ポスター記述のみ英語
※	本人希望制
※	どちらでも良い
※	推奨すべきでも拘束しない方がよい
※	しなくても良いが外国人もいるので英語での準備もすべき。
※	外人には英語、日本人には日本語
※	両方
※	できる人は英語化
※	今回ポスター発表で外国人は質問に来なかった。英語で聞かれれば英語で答える、というルールにすればよいのでは？
※	日本語で氏名、所属を書いたら全英語化も可
※	発表は日本語でも良いが、スライド★★は、全て英語で作るべき
※	どちらでもよい
※	ターゲットによる
※	どちらかにする
※	場合によると思います
※	どちらでもよい
※	英語を用いる必要はあると思うが、全てでなくても良いと思う。専門的になるほど、英語は難解になるので

質問3-2-C その他(今後英語化すべきかどうか)

※何とも言い難い

質問3-3-C その他(日程の振り分けについて)

- ※ 2日ぐらい
- ※ 多すぎる場合は分ける
- ※ 2日ぐらい
- ※ 似ているテーマは、時間をずらしてほしい。
- ※ 2日間にわける
- ※ 適度にふりわけ(2日?)
- ※ 2日に分ける
- ※ 前半2日など。
- ※ 口頭は同一日に2会場にしなければよい。
- ※ 前半/後半にわける
- ※ 3日間
- ※ 2日にバラす。
- ※ 2日に分ける
- ※ 2日程度に分散する
- ※ 2日に分ける
- ※ 2日間掲示してほしい
- ※ 2日ぐらいに
- ※ 2日間に均等
- ※ 基本は1日に集中。多い分野は2日に分ける(1テーマ100ぐらい)
- ※ 演題数に依る
- ※ 2日間位
- ※ 2日ぐらいに集中
- ※ 2日に分ける
- ※ 2日に集中
- ※ 連続する2日間に集中
- ※ 演題数で調節する
- ※ 1日に集中させてしまうと、聴講できないものが多くなる。
- ※ 中間的なのがよい。
- ※ 2日間ぐらい
- ※ 2日間に分ける
- ※ 前半(の2日)、後半(の2日)のどちらかに集中させる。全日程参加できないので。
- ※ A+Bふりわけるけど、数ではなく近い演題は1日にするor、(A)22題(B)38題(C)i
- ※ 2日程度に分ける
- ※ 2日程度に
- ※ 2日間に分ける
- ※ 2日ぐらいにわける
- ※ 2回
- ※ 演題をしぼり込むべき
- ※ すべての日程に出席することが難しいので。
- ※ 日程が長い
- ※ Bに近いけど、2日間に分ける。
- ※ 2日程度
- ※ 連続した2日ぐらいに分ける
- ※ 2日に分ける
- ※ もう少し細分化して、1つのテーマは1日にする。
- ※ 2日間ぐらいに分ける
- ※ 間の2~3日ぐらいで
- ※ 2日ぐらいに集中させる。
- ※ 1日でなくとも2日間に。全4日間にわけるのは非効率的。
- ※ わからない
- ※ 2日間程度
- ※ 2日間ぐらいに分ける
- ※ 2日程度に分ける。
- ※ 前半2日・後半2日に分ける
- ※ 2日間に分ける
- ※ 2日程度にわける
- ※ 1日or2日ぐらいにまとめる方がよい。
- ※ 2日間で
- ※ 2日間程度に集中する
- ※ 2日程度
- ※ 2日ぐらいに分ける
- ※ 分野に応じて使い分けられればいいと思います。

質問3-3-C その他(日程の振り分けについて)

※ 2日間均等
※ ~2日程度に分ける
※ 類似のテーマの場合はかぶらないようにする
※ 2日くらいに適宜分散(全日はずらい)
※ 2日くらいで
※ 2日くらいにわけて頂けた方がありがたいです
※ 2日間で集中してやる
※ 題目数によるが分散型の方がよい。
※ 2日位にまとめる。
※ 多いものは2日でも良い
※ 2日くらいに分ける
※ 2日間程度に分ける
※ 2日間に分ける
※ 2日間
※ 2日に分ける
※ 前半2日、後半2日くらいにする。
※ 2日にする
※ 3日間に均等化
※ 2日で集中
※ 2日程度にかためてわかる
※ 2日
※ 2日間くらいに分ける
※ 2日間に集中
※ 2日間くらい
※ 2日間に分ける
※ 連続した2日間に分ける
※ 2日間に分ける。
※ 2日間くらいに分散
※ 2日間に分ける
※ 2日程度で
※ 連続した2、3日に、集中させる
※ 数日に分散
※ 2日間程度
※ 2日
※ 連続した2日
※ 2日程度にまとめる
※ 2日ずつ程度
※ 2日位にまとめる
※ 2日間に
※ 2日程度に分散
※ テーマの演題改による
※ 1、2・・・と分けるが4日間と必要なのは、「がん」や「ips」など特殊なものだけ？
※ 2日間に分ける
※ 2日くらいに分ける
※ 2日くらいで
※ 2日くらいで
※ 分野の数による
※ 一定数以上の場合、複数日にわかる
※ 2日くらい
※ 2日間に均等
※ どちらも一長一短どちらでも良い。
※ 2日
※ 2日間くらい
※ 演題数座長の都合にあわせればよい
※ なるべくまとめる。
※ 連続した2日くらい
※ 2日間に集中させる
※ ちょうどよい
※ 均等でなくてもある程度ふり分ける。
※ A-Bの中間。
※ 適度に分散させる。
※ 通路のイスはじゃま。よけいに混雑させる結果になる。

質問3-3-C その他(日程の振り分けについて)

※ 2日間に分ける
※ 均等でない分け方
※ 1日に集中させてしまうと、たまたまその日に都合がつかなくなった場合など、情報を全くうけとれなくなる可能性がある。
※ 2日に分ける
※ 2日間に分ける
※ 2-3日
※ 2日程度にわけると。
※ 2日ぐらいに集中
※ 2日程度でよいと思う
※ 2日間程度。
※ 2日間位で
※ 2日間ぐらいに分ける
※ 2日で
※ 2-3日で良いと思います
※ 2日に分ける
※ 2日でも良い
※ よく似た演題を同日に4日間に分ける(1日に見られるポスターは20題が限度)
※ 2日ぐらいで
※ 2-3日に分ける
※ 1日の最大数(見て回れる限度)を決めて、それを越えた分を次の日にする、とか。
※ 2日間
※ 前半、後半に分け2日にする
※ AとBの間
※ 4日均等は極端だが集中されても辛い
※ 2日程度に
※ なんとも言えない。
※ 2日に
※ 2-3日間にわけると
※ ふりわけてもいいが、ポスターの日と口頭の日順番のことも考慮してほしい。
※ 2日間ぐらいに分ける。
※ 2日間程度、今のままでよい。
※ 2日
※ 2日間ぐらいに集中
※ どちらでも良い
※ 2日程度にわけると。
※ 2日間ぐらいでふる
※ 2-3日に分ける
※ 2日ぐらいに分ける方が参加★★
※ 3日ぐらいに分ける
※ 2日間に分ける
※ 2日程度に均等に分ける
※ 2日間
※ 1分野を2日程度に
※ 分野、演題数で柔軟に対応する
※ 2日ぐらいに分ける。
※ 2日ぐらいが良いかと
※ 前半2日VS後半2日
※ 2日程度にわけると
※ 2日間に集中
※ 2-3日に別ける
※ 2日に分ける
※ 特定のテーマを2日ぐらいに振り分けるといい
※ 2日
※ どちらでも良い
※ できるだけ集中させる
※ 適宜振り分け
※ 2日に分ける
※ 2日ぐらいに分ける
※ 分けても良い
※ 2日間に分ける
※ 2日間ぐらいにかためる。

質問3-3-C その他(日程の振り分けについて)

※	2日に分ける
※	2日程度にまとめる
※	2日程度に集中
※	1日に全部は無理でも2日程度に集中させる
※	2日くらいに集中してほしい。
※	演題数に応じて2~3日に分けても可
※	2日ほどに集中

質問3-4 ポスターについて、その他自由記述

※ 演題が多ければ、振り分けたら良いと思う。
※ 1日に集中して見たい分野が偏ると、時間が足りない。
※ 1日に集中させると、時間が重なって聞けない発表が出てくるので、2日程度に分散させてほしい。4日間に分散させると、興味ある発表がない時間が生じるかもしれない。
※ 適度に集中させるのが良いと思う。
※ 同じテーマについては会場は同じにしてほしい。
※ 全部英語にすると学部生が見てもわからないし、他分野の話も聞きづらくなる
※ 会場を少なくし、重なりを少なくする。
※ 発表時刻が遅すぎる。
※ 英語で書かれていると、他分野の研究が非常に分かりづらい。同時にいろんな分野のものが見られて、非常にいい勉強になるのがこの学会のいいところなのに、結局自分の分かる分野のものしか見なくなってしまって、この学会の面白さが半減している。
※ 自分の発表とかさなる個数が少ない方がよい。
※ 若い人にシンポジウムなどをオーガ★イズしてほしい。ワークショップはproductがつくれるものなのでは？
※ 申込の時点で、各分野のある程度の日程(1日目なのか4日目なのか)が分かっていると、事前の予定が組みやすくてよいのだが。
※ 2~3日に分ける
※ 忙しい方でも効率的な参加が可能。ただし、プログラムの発表をできるだけ早期に。
※ 数日に別けるのは悪くない
※ 演題が多くて、ある程度集中させるべき
※ 2日も可
※ 興味のある発表を聞けないものができるので合同はづらい(多い)
※ 大きなシンポジウムについては、全員が聞ける様にして欲しい
※ 1日に理解できる情報量には、限★があるので。
※ 4日間、学会に来て興味のあるものがない。時間があるため、1日に集中させた方がよい。ただし、同時間に同じ分野を複数の会場でやらない方がよい。
※ 完全に均等でなくてもいいと思いますが、自分のききたい分野の話が一日に集中していると、全部をきけないのでなるべく均等にしておきたいです。
※ 今の様でいいのではないのでしょうか
※ ただし、同一時間帯に同じ分野の話が重ならないようにする必要がある
※ "日本"分子生物学会なのだから日本語で行うべき。何でも英語にすればよいというものではないと思う。
※ 人気がありそうな題目は大きな会場にしてほしい。AM. 立ち見多い。
※ テーマ単位、大学単位で。均等に分けるのではなく分けられるところで。
※ 2-3日に集中せせるが、1日に集中させて欲しくはない(4日間だと長い)
※ 前半又は後半に偏らせる
※ 1日ないし2日間にあるていど集中させるのが良いと思う
※ ポスター発表時間は分けられているが、実際には両方が混ざりとても混雑していた。
※ 近い分野、興味の対象が時間的に重なって残念だった。
※ 演題数が多いと、全部を確認できないため、今回くらいがちょうど良い。
※ 集中させると、全部みることが出来ないし、消化しきれない。また、日程的に来れない時に集中されると困る。
※ 同系列のテーマが重複してしまうとよくないと思います。
※ 人数の割に会場が狭かった。
※ 同日に集中していて聞けないものがあつた。
※ ポスターサイズを大きくしてほしい
※ 教育上、日本語でタイトルと要旨をポスターに。その他は英語でも良いと思う。
※ 聞きたいテーマの重複による。聞きのがしはさけたいので、適度に分けるほうがよい。
※ 大まかな分野の場所(ポスター会場内)が分かるようにしてほしい。
※ が、しかし、人が来ない日がでるかもしれません。
※ 見たいもの(類似カテゴリ)が同時刻の別会場で発表されなければ、集中しても分散してもよい。
※ 聴衆がかぶると、人が少なくなる。同じテーマではかぶらない方がよい。
※ 演題数が多い場合は、分ける以外方法がないが、演題数をおさえるなどしてなるべく1日に集中した方が、他のセッションも聞ける。
※ 分野をまたいでる内容もあるのでむずかしいと思うが、集中してあるとうれしい(1日といわないまでも)
※ 実質どちらにも、利点、不利な点がある。ただ1つセッションが多すぎるのは、大変デメリット。
※ ポスターの時間が遅い。
※ ポスターは日英どちらでも好きな方を使えば良いのではないか。★★、英語で書いてあっても日本語で議論するのに、英語にしなくても良い。
※ ポスター発表で奇数番号だと、人がはげず結局、後半も前に立ちっぱなしで後半の発表を聞きに行けない。例えば奇数番号は前半45分、その後ベルをならして一回打ち切って後半の45分の発表時間を設けた後、最後30分は奇数偶数全てのfirst authorがポスター前に立つというシステムにかえてもらいたい。
※ 混雑するとスペースが狭い。特に2階。1階のほうの配分を増やすか、通道の長イスを撤去したほうが良い。
※ 発表者には学部生レベルの人数も相当数いるので、英語化推奨程度が望ましい。

質問3-4 ポスターについて、その他自由記述

※ 領域により演題数は異なるので無理に規則化する必要はないのでは。
※ 集中している方が日程的に助かる
※ 2日に分けるくらいが良い。
※ 裏番組の都合などもあるので、分散型にしてほしい。
※ ただふりわけ方がいまいち悪い
※ 全日程は参加できないので、1日に集中しているほうが良い。
※ ポスターの設置時間を守ってほしい。昼食休にポスターを見るとき、不自由)
※ 同じ分野の人の発表を4日間にふり分けて欲しい
※ 2日間に均等に分ける
※ 3-2). プログラムをwebで検索した際専門用語が日本語で書かれている演題を検索し損なって聞き逃した。
※ ポスター会場入口での名札確認のため、入場が混雑していました。
※ 可能なら近いテーマは、会場が近いと良い
※ 並立に行われているシンポ・ワークショップが多いと見たい発表が重なってしまいやすい
※ できるだけ似た演題が同じ時間の別の場所で重ならないようにすべき
※ 時間をずらして、日程調整がむずかしいから。
※ 自分の聞きたいポスター発表の多くが、自分の発表とかぶってしまい、いつも残念に思っている。
※ ポスター説明の設定時間全体をもう1~2時間早めて欲しい
※ 私は4日間ともに神戸にいたので4日間に分けるのが負担が少なく良いが、一般的には先生方はお忙しいので、2日に分けるのが適当かと思えます
※ ポスター間、横や通路が狭いのでレイアウトに考慮願いたいです。
※ 連続した複数日に分ける
※ ある程度ふりわけてもらえないとみたい演題がみれなくなる
※ ある程度分けた方が見れる数が増えると思う。4日間均等にすると非効率と思う
※ 2日くらいに分けてもらえるとういと思う
※ 集中させた方が無駄なく回れるが、行きたいセッションの時間が重なるのが一番嫌！
※ 4つにさらにグループ化して、4日間で発表
※ 自分の発表中、同じ分野のポスターも聞きたいのでできれば分けてほしい。
※ 座長が司会進行役をセッとし、簡単な説明・質疑応答の時間をセッとする。ポスター発表時間枠をそのためなら増やして良いと思う。
※ 職務の関係で4日間参加できない場合もあるので、1~2日に集中しているほうがありがたい。
※ ポスターをよい時間帯に。フナリーと入れ替えがよかった。
※ 演題数によって調整されてはどうか。発表時間には、他の演題を聴きに行くことができないので、今回よりは、分散されたほうが良いと感じました。
※ 都合により全日参加できないことがある。
※ 分野別の日程わりふりをもっと強固にしてほしい。2つのテーマにリンクしているが月と木曜日に分かれてる、などをなくしてほしい
※ 実際のポスターの掲示サイズが、プログラム記載の縦150cmより大きい。正しく記載して欲しい。
※ テーマが分かるように番号の下にテーマ並記が良い(数が多いので)。通路中のイスは必要ないと思う。
※ A:ただし、日程が早く決まり、知らせてくださるなら。
※ 連続した2日程度に分けるのであれば良い。
※ ポスター欄がせまい。中央の椅子はじゃま。
※ 発表スペースが狭い。奇数・偶数で分けない。totalで2時間。
※ 集中させると、自分が発表の日に、自分の研究分野の話を聴けない。
※ 4日均等はつらい。1日だとその日行けなかったら全く見えないし。
※ 同分野が散らばっているのはよくない。
※ 人は立っていないでも良いので、ポスターだけでも2日間くらいはっておいてほしいです。行けない日に見たいポスターがあって残念でした。
※ もっと分野を1日にあつめてほしい。期間は4日でよい。
※ 1日だとつかれる。4日でよい。
※ 3、4日は分散しすぎた気がする。
※ 数の多いものは振り分けてほしいが、少ないものは1日に集中させてほしい。
※ 2日間で1つのテーマが終わる様に(長いと放費の問題がある。
※ 会期延長
※ 学会期間が長いので、休みがとれない場合に分散していると聞けないものが出て来てしまう。
※ 場所がせまい
※ 聞きたい内容の口演がover lapしていることが多いので、よく考えてプログラムを組んでもらいたい。
※ ポスター幅がせまく、多数の人が同時に見れない。
※ 真ん中のいすがじゃまで通りにくい。いすは端がいい。ポスターのformatを決める理由が分からない。
※ 2日ぐらいに集中しているとよい。できれば連日もしくは1日おきに。長期の出張はなかなかむずかしい。
※ on line検索をもっと便利に更新して下さい。巨大化が限界なので、集中化して振り分けを試みるのも一案。
※ 同じ時間に、並行して同じようなテーマのシンポジウムやTalkやワークショップがあるのはやめてほしい。
※ 4日間でなくても、2~3日に分ける。

質問3-4 ポスターについて、その他自由記述

※	ポスター発表の分野の項目をもっと細かくしてもよいと思う。
※	とくになし
※	複数の会場で同時に開かれるのでなければどちらでもよい
※	分けるべきではない
※	難しい設問です。どちらも、聴講者にとってメリットとデメリットが・・・
※	ポスターは1日だけでなく、できれば複数日はったままにしてほしい。
※	ポスターを英語にするのは、基本的には賛成だが、学生にとっては取っつきにくいみたい。学部生を無料化して参加を促すというのであれば、なおさら英語はハードルが高いのでは。
※	2日ぐらいにする
※	良く似たセッションは会場を近くでやって欲しい。移動が大変なので。
※	9:00以前のセッションはやめた方がよい。
※	ポスター会場を1会場に詰めたため、また通路にイスを置いたために、異常に混雑していた。
※	「植物」を1日に集中させたのは大きな問題でした。口頭発表を1日にまとめてもよいが、ポスター発表は分散させないと、十分な議論ができません。
※	宿泊代の問題がある
※	ポスターが時間前にはがされているので見れない。制限時間まで掲示して欲しい。
※	横浜の会場ではポスターパネルの間の通路が広いので椅子を置いても問題ないが、神戸ではせまいので、椅子を置くと人が留まった時に渋滞ができてしまって通りづらい。企業展示が早く終了するので、多くの人がせまいポスター会場に集中するため、十分にポスターが見えない。
※	疾患、生物学で、癌と神経を合わせて行うのはさけてほしい。
※	ポスターが偶数に分り当てられると損した気分になる
※	ポスターの間を十分広くとってほしい
※	近すぎるテーマが同時期では聴きにくい。
※	所属が同じところで日程をまとめてほしい。
※	ポスターのはりつけスペースを横幅を倍ぐらいにしてほしい。あまりにも人が過密になってじっくり見れない。
※	2-3日に分ける。
※	1日に集中すると、見きれないので日程を分けて欲しい。
※	ポスターの★★化は★式だが、その場合、Poster発表の時間をのばして欲しい。
※	自分が発表者だと同じ日の他の演題の話はほとんど聞けないので、せめて2日に分けてもらえると半分はじっくり聞ける
※	カテゴリ分けがわかりづらいところがある。
※	配列を考え直して欲しい
※	ポスターの貼付パネルの大きさが狭く、隣との間隔がなくなり、大変混雑していました。横幅を広くとって欲しいです。
※	日本語の方がコミュニケーションはよい。しかし、時間が確保されれば英語でも十分。
※	関連ポスターは、なるべくひとまとめにすべきである。キーワードによってカテゴリー分けできると考える。
※	ポスターの貼るスペースが狭い。せめてAO以上欲しい。
※	2日、または3日に分ける
※	全日程参加できないので、できるだけ日程(テーマ)はふり分けてもらったほうがありがたい。
※	仕方がないことだが、会場の混雑は大変である。
※	「ききそびれ」することもあるので日を分けた方が・・・「4日間」でなくてもいいが。
※	1日が無理なら2日位に。
※	こんなつまらないことを1日中やってほしくない。細胞生物学会でもやっていて下さい。少しはあっても良いけど。1つや、というか、特定分野のみが集中的に1日でやられると、聞いている方がしんどい。ずっとWesternかなんかバンドを見せられるんでしょう？かんべん。
※	日付は分かれていますので、同じ様な分野、内容が同じ時間帯になるのはできるかぎりさげたい。
※	自分がポスター発表だとその間に聞きに行けないので、なるべく分散させてほしい

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※ 理由として全ての内容を簡単に見ることができるので。
※ CD-ROMが届くのが遅すぎ。(届く前に神戸にきていた)
※ 数年～十数年分Webから見る事ができるならWebでも可
※ IDパスワードをいちいち入れるのがめんどろ(iPadで)
※ ポスター発表とその他すべての2冊の冊子体にしてほしい。その他すべては、要旨も400字程度ずつのせてほしい。
※ USBメモリで配布して欲しい
※ iPadなどがふえればA
※ 会場内すべての無線LAN環境が完備し、スマートフォンにも対応できればCDも不要かも。
※ 1日分を4冊にしてほしいです。持ち歩くのが大変です。
※ Webはさらに使いやすく進めてほしい。Webデータを永年保存となれば、冊子ニーズが下がる
※ ただし、過去のものは無期限で会員は見れるようにして下さい。
※ プログラム、スケジュールのサイトから、MyScheduleに行く時に、時々まよう。MyScheduleへのリンクボタンをページの上部、左部等に常時表示して欲しい。
※ 過去の要旨集もwebから見てダウンロードできるようになれば良い。電子ジャーナルと同様に。
※ 冊子体は、かさばる上、紙の無駄なので必要ないと思う。
※ 冊子不要
※ テキストデータなど出力形式を選べるようにしてほしい。PDFでcopy&pasteできないのは不便。myスケジュール機能は便利だが、off lineで利用できなくなる点がとても不便。
※ セッションのタイトル、ポスターの分野名。会場のみのもちはこびにべんりな冊子がほしい。
※ pdfでもいいけど今回ののはひどい。フザケるなレベル。文字の大きさ、コピーしようとするとかげワカメなパスワードきいてくるとか？業者変えろ！
※ キンドル、iPad、スマートフォン等で読めるようになるといい。
※ PDFのpasswordは不便になるだけだからやめるべき。あと検さくしづらいweb。
※ プログラムの紙質変更による軽量化
※ PDFファイルでWebからダウンロードできればよい(CDは不要)→ipadやノートPCで会場で見れる。Webは不便。→会場で見るとしても回線速度が遅いと使いづらい
※ 生化学会の会員だが、配布するといわれていたCDは、結局届かなかった。訂正版を1月に発行するようだが、配送までしっかり行なってほしい。ちなみに昨年は、名札のみ。届かなかった。
※ プログラム、要旨集を参加費に含めてほしい。
※ 発表を業績として提出する必要もあり、まだまだ学会のweb化を理解してもらい難い。
※ Webをもう少し使いやすく。時間順でかつ会場順に並べかえられるなどして欲しい。要旨の並べ替えができなかった。
※ 出張先でネットに接続する場合、極力短時間で済ませたい場合があるので、CDあるいは予めダウンロードできればありがたいと思う。
※ プログラムは携帯電話(非iphone)対応が望ましい。
※ Web版をケータイでもアクセス可能にしてほしい。
※ 生化学員に配ったCDの内容をダウンロードできる様にしてほしい
※ 冊子体にするとうるさくなるので、日ごとに分冊が良い。300字程度の要旨が欲しい。
※ ネットワークがつながりにくい場所(ポスタ・会場)があり完全Web化するのであればさらなる、インフラの充実が重要かと思います。
※ ワークショップごとの要旨出力ができるとうい(MyScheduleとは別に)
※ 要旨集を1日ごとに分冊すると持ちこたひが楽
※ 今回のプログラムでちょうどよいと思う
※ iphoneを有料貸し出して、それにプログラムを入れて、手元で検索できるようにする。
※ ipadを持ってこればよかつたと思ひます。
※ 基本的に名前漢字化をお願いします。ページ数をつけて頂けたら。
※ プログラムのpdf/ダウンロード化
※ やつぱり当日持ちあるける冊子体が便利。
※ ・プログラムは紙・要旨集は軽いファイルでおねがいします。今回のファイルは重たくて、ポータブルマシンでは、使いものにならなかつた。
※ 無線LANに対応していないのでCDがいいです。
※ ウェブが混雑のため反応が遅いことがある
※ サイトのデザインが悪い・検索にパスワード・RESTfulでない
※ 冊子がないと、当日の飛び込みで聞かひのが難い。ダウンロードしておかないと、移動時間に予習できない。
※ iPhoneアプリ必要
※ ダウンロード可能ならCDはなくてもよい
※ プログラムのみ冊子体
※ CDは不要
※ 1日ずつ別の冊子体にしてくれると便利です。
※ 演題数が非常に多いので全体の要旨集はあまり必要ないと思ひます。
※ プログラムは冊子もあつた方がよい。要旨集はCDが必要

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※ プログラムは冊子体の方が良い、要旨集はWebで十分
※ 数年間は見られるようにすべき。プログラムを各日毎に分割した方が良い。重過ぎる。
※ ケイタイ端末等で見れるように、microSDカード等でくばる。
※ 事前登録に関らず、要旨はよめるようにして欲しい
※ PDFにしてほしい。ダウンロード
※ 生化学のみならば
※ 日毎分冊小冊子にして欲しい
※ Web上に永久に保存(データベース化)
※ 印刷時のPDF化に非常に時間がかかった。何か解決策を。
※ DL(ダウンロード)可能ならWebだけでよい。
※ LANを充実させる。プリントアウトできる要旨用パソコンを設置してほしい。
※ 出力するところがあっても良いのでは。
※ 冊子体(演題)が重い(2つに分けてほしい)。Webのpasswordはよけいである。
※ プログラムは冊子体がほしい。
※ すべての参加者が要旨集を★った方がいい。CDだけ
※ Webの場合、大会終了後もずっと検索できるようにする必要有り
※ モバイルで見やすいようにこまぎれにするか、ハンドリングし易いようにパスワードをかけないでほしい
※ 日付ごとに分かれてると楽。重すぎる。
※ Web要旨集に、メモを取れるスペースがあるとよい。また、演者または、コーディネーターが、読めるスペースがあり、意見の交流ができれば、Webとしての役割口増す。ipadを使っているの不満です。
※ 日程ごとの小さな冊子があれば、持ち運びに便利だと感じます。合同学会のプログラムはどうしても重くなりがちです。
※ 必要な部分だけ印刷しやすければ良いのではないのでしょうか？ただし、保存用に少数印刷はあってもよいかも・・・
※ 会場で印刷できるようにして欲しい
※ Webで良いが、過去の要旨集も削除せずに、いつでも閲覧できるようにしてほしい。
※ 冊子にして1日ごとに(プログラムと併わせて)分けてはどうか
※ Webで十分ですが、Myschedulで、Abstを見る際に、別タブへ飛ばすスクロールダウン表示ができるとBest。基本すべてがSingle windowに入るように。
※ 量が多いので、分冊すべき
※ PDFが重い
※ 生化学会がCD化していたが、お金の無駄である。
※ あるのがのぞましいが、これだけ分量が多くて非現的というのわかります。全体をかんたんにdownloadできるとか、CDか、がよいと思います。
※ Webで十分だが、my scheduleに登録した演題が多いと、まとめてprintoutする事が出来なかった事に不満あり。
※ 冊子不要
※ 自分のItineraryをwebでつくってdownloadできるようにしてほしい。
※ 神経科学会のように、検索システムやモバイルデバイスへの対応を進めてほしい。
※ プログラムが多すぎる
※ プログラムも冊子はもう不要だろう
※ プログラムだけでも、当日うすい紙で頂けるとありがたい。または、会場にあった大きなプログラムの掲示を増やしてほしい。
※ Webでよいと思います。無線LANがもっとあればさらによいと思います。
※ Webサイトが恒久的に保存されるなら、Webで十分と考えます。
※ 冊子を1日ごとに分けて4冊作るべき。1冊だと持ち歩くのが大変で、さがすのも時間がかかる。
※ 今回のやり方だと、webから見て印刷できればよい。
※ 冊子はできるだけ軽くしてほしい。紙質を考りよしてほしい
※ CDや冊子体は希望者のみにする
※ ただし、一般公開はプライバシーの問題がある。別に研究だからといって個人名をWebで公開することが適切ではないので、closedで良いと思う。
※ 冊子が厚くて重い。
※ web版で要旨をマイスケジュールでチェックできるのが、とても便利だった。ただし、それはipod touchで常にチェックできた環境だったから。冊子も選べた方が、親切だと思う。
※ スケジュールだけの簡易版冊子を発行してほしい
※ pdf以外の追加の書き込みを行い易い形式も用意してもらいたい。
※ 会員は事前登録しなくてもWebで見れる様にすべき。せめて検索や絞り込みぐらいはできる様にして欲しい
※ Webは、もっと使いやすくしてほしい。またPDF fileをプリントすると文字がちいさすぎる。
※ 冊子版を会場の特定の場所に置いてほしい
※ 必要な部分だけPDFで落とせるような形がいい。

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※ 要旨検索システムに関しては、数点改良頂きたい点がある。例)発表日を指定すると、要旨内要全文検索時に検索漏れしてしまう事がある。複数語での検索に関してはgoogleの検索ルールに準拠して貰えると利便性が高い。
※ 1日ごとの冊子が欲しい。
※ PDFで保存できれば良い。
※ 検索システムの更なる改良を望みます。
※ 例えば発表日別に要旨集冊子があれば持ち運びが楽で良いと思う。
※ 4日間⇒4冊分になっていると持ち歩き易い。
※ 若者人数制限、英タイトルのみ(or和タイトルのみ)を行い、省スペース化してほしい(→軽量化)
※ プログラムは全日のおおまかなスケジュールや会場案内のみのうすいものと、演題は日ごとに冊子をわけて下さるとちはこびやすいです。
※ プログラムは冊子体必要、要旨集はCDでよい
※ 小冊子があれば良い
※ 一冊にまとめるのではなく、4日あるなら4冊にわけてほしい。まとまっていると持ち運びにくかったです。
※ pdfファイルダウンロードでよい。数年間はWebで公開しておくのがよい。
※ 冊子体を郵送してほしい。
※ 中身を知る上ではWebで十分だが、後日奨学金関係で要旨のコピーが必要になることがあり、Webのみの場合でも、閉鎖されると後々困ることがある。
※ 会場内にフリーで使えるPCを設置してほしい。
※ ただプログラム集が重くなるので、別冊にしるとは言わないがせめて日程ごとにまとめてほしい。(それなら、切り分けてもちあるきやすくなるから)あと、iPadやiPod touchにpdfとして入れてもちあるきたいのだが、重すぎて検索できない。
※ 一冊ではなくて日毎がまとめたものに分けてほしい
※ iPhoneアプリにしてほしい。
※ book styleのpdfで検索を速くできないか
※ Web公開する場合は無期限にしてほしい。Webと冊子は併用が良いと思う。
※ PDF化した要旨集、プログラム集で、各自が自由にページを選んでプリントするようにすれば良いかも。今の演題数は多すぎる。要旨集が重い。
※ 日程ごとに分割した方がよい
※ タイトル、演者、キーワードも含めた全文検索のみでも十分では？
※ 日付ごとの冊子体があると便利だと思う。→切り離せても良い
※ 各分野ごとの小冊子
※ もう少し軽量化してほしい。
※ pdf、などでもほしい
※ プログラムは、会場案内、ガイ要、日程のみを冊子体として、残りはCDで十分か？
※ プログラムは冊子体要旨はwebでよい
※ あらかじめ、PC上★打出した状態でpersunah2ed要旨集を作るのにはCDのような情報源が便利。
※ 冊子がないと、不便かも！？と思ったが、案外そんなことはなかった。
※ プログラムが重くて運びにくいので、日程分冊にして欲しい。または製本せずに、紙冊のまま受け取れたら必要分のみもち運べる。
※ PCに要旨をダウンロードして、オフラインでも要旨を検索できると良い。
※ PDFをダウンロードできるようにする。
※ 1日分の冊子×4だと、持ち運びに便利だと思う。
※ 今大会(2010)くらい無線が充実していればCD/冊子は希望者のみでOK。これからますますCD/冊子の要旨集は不要になると思う。(CDは当日希望者に燃く、冊子は11月くらいまでの希望者に発行etc)
※ Webで十分だが、CDや冊子体欲しい人だけにそれらを発行すれば良いのでは。事前に希望をとるなどして
※ CDは検索機能が優れているので必要。Webで代用するならば会場に多くのインターネット用コンピュータが必要であり検索機能も必要である。
※ Zipなどでまとめてdownloadできれば便利だと思います。スケジュール、会場情報など
※ ・パソコンを持ってこなくても要旨が確認できるように、会場内に数カ所要旨検索用PCを設置してほしい。・数が多いので、各分野ごと(5つぐらいにわけて。)の冊子を作るのはどうでしょうか。
※ Webで、アーカイブを長期間、記録してくれてもよい。(その場合はCD不要)
※ 1日目、2日目・・・と1日ごとに分けるのはどうか。
※ マイスケジュール機能がとても良かった。時間が経つとlog Inしなさいと、Abstractが見れなくなるところを改善してほしい。
※ ①昼休みが長い。②プレフリーレクチャーはシンポジウム、ワークショップと同時間帯でよい。逆に総会はシンポ、ワークショップのウラでは困る。ポスター発表が18:45終了は遅いので、上(①②)の対応をして欲しい。
※ 紙媒体重い。内容を限★すべき
※ 最小限の情報のプリントは全員にほしい。各会場マップ、セッションのSchedule位。
※ 12/6webが混んでいてpafをダウンロードするのに大変時間がかかりましてしかもマークは×でウインドウズのパソコンで何とか読み込ん★ました。生化学会のCDが役に立ちました。分生学会もCDを参加費を払っていない人にも配布して下さい

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※ 既に対応しているかもしれないが、スマートフォンで要旨集等が確認できるようにしてほしい。
※ 冊子体をwebで見たい。
※ web公開期間を長くしてアーカイブ化できないか？
※ webのマイスケジュール機能よかった
※ web+冊子。CDは不必要
※ オフラインでも使いやすいとよい
※ 要旨をうちだしたときにバグがあるようです。文字列の認識がたとえば1079が315より先に出てくるのは困ります。
※ 誰でも見れるように
※ 携帯で要旨集プログラムを見たい
※ Web+CD
※ 但し、もっとアナウンスして欲しい。事前登録メ切りを学会直前にして欲しい
※ 今回は良いと思います
※ プログラムを日程別に分冊して欲しい。
※ Web upの時期がもう少し早ければなお良いです。
※ モバイル(けいたい等)で検索く、えつらんでできるシステムを作るべき。
※ 学会とappleと組んで学会員の年数でi Pad ipod toachとかを配るべき。冊子が重たい。
※ 各セッションの入口に当該講演の要旨のプリントアウトを掲示したり、印刷物を配布してもらった方がいい
※ テーマ別の冊子体が必要
※ プログラムもWebでよい。Webで自分でほしい所をcheckするとその情報だけリスト化されるようにしてほしい。
※ Web版だけだと公開が終わると見られない。CD版は場所もとらないし、検索等もできてメリットがある。
※ Web: 後に見られなくなるなら、反対。かなり後で見る時がある。
※ 分野ごとに分けていただくと持ってきやすいです。
※ 冊子をもちはこぶのが重かったです。
※ 生化学会のCD不要。
※ 冊子は必要ない。
※ Biotechnology Seminarなどもpdf化する(すべてpdf化する)
※ 要旨を学会後もいつでも閲覧できるようなシステムがあるとよい。
※ プログラムは冊子体が欲しいが、分冊化や紙の質を落とすなど軽くしてほしい。
※ ただし、Key wordを多くして検索し易くすべき
※ プログラム(簡単な)は受付で全てに配布してほしい。
※ 今回の規模なら冊子は難しいかもですね。
※ Webで十分だが無線LAN設備が貧弱であった。
※ 業績として報告する際に、一定期間しか見ることができないWebだと、都合が悪い。
※ 冊子があるなら、ポケットサイズが良い。
※ Webでの検索には期限があるので、CDも希望者に配布してほしい。
※ Webのみで、全ての人が無料で見られるようになると良い。
※ 分野に分けてなど全ては必要ない。
※ 日程表のところに要旨集のページを記載してほしい。
※ Webは便利ですが、消されてしまいますので、CDのような残るものが欲しいです。
※ タイトルだけのものを全日ではなく1日ずつ分離できると携帯しやすい。
※ プログラム自体重すぎる。
※ 生化学会からのCDが大変役立った。Webベースだけでは、ネットワークに接続できない所で見ることができない。冊子体は重いので不要。
※ 希望者にはCD、冊子も買えるようにする。
※ がんばってるのは分かるが、プログラムの重さを軽くしてください。以前よりは軽い気はします。プログラムは紙ベースはあった方がいいです。
※ プログラム集については、日にち順にまとめてほしい。
※ 題目だけではなく、シンポジウムやワークショップ(口頭発表)については要旨も含んだ冊子体だとありがたい。CDやWebになったおかげで、だいぶ勉強してから学会に来るようになりました。
※ Webの時は、PDFで全体をdownloadできるようにしてほしい
※ 今のままで良いが、小型できるとなお良い。
※ iPadで見るときPDFの表示・検索が重かったのでポスター1~50、51~100、・・・のようにコマ切れにしてほしい。
※ 発表後、数年間は閲覧可能な状態で維持して欲しい。
※ 要旨集のPDFが大きすぎて不便です。
※ Web. baseのシステムで良いと思うが、使い勝手があまり良くないので、改良の余地が大きいと考える。
※ 今回の冊子の内容は良かったが、CBAも入れてほしい(無理でしょうか・・・)
※ Webの要旨集が見にくい。
※ WebからDLできるのであればWebのみで良い
※ Web: 見やすい様にソフト・ウェアの開発かひつよう。
※ 使いやすいWebにしてほしい。

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※	プログラムが重すぎる。もっと小さい文字でも良い。軽い紙にしてほしい。スケジュール1冊+4日4冊にしてはどうでしょうか？
※	ワークショップの並びが、1日目の会場順→2日目の会場順→…だったが、1日目AM→1日目PM→2日目AM→2日目PM…にしてほしい。
※	冊子を4日分に分けるべき
※	USEメモリ。
※	webと冊子が必要です。CDは不要
※	後日(数年後)にも閲覧できるから
※	会場内のLANが弱いので、もう少し強いと便利がよいと思う。
※	CD-ROMの配布がおそすぎ(生化)
※	今回、iphoneのみでプログラムに対応でき、重い荷物を減らすことが出来た。iphoneを持っていればWebのみで十分。
※	PDFのみでよい。検索機能必要なしでよい。
※	ダウンロード可ならwebのみでもok。
※	CD: 要旨を短かくしてほしい。長いので多くを読みきれない。
※	Schedule機能は素晴らしい。googleカレンダーとの同期はできないか？
※	CDの検索はおそく、使いづらいので、結局読まない。こんでは、何のために書いたのか分からない。
※	Webでもいいが、PDFもあれば良い。
※	会場内で自由に見られる共通の端末をおいてほしい。iPadのレンタル有料でも良いのでは？
※	プログラムは冊子であったのはよかった。
※	webから落して各自で編集する方法も記載して欲しい
※	Webは使用期限があり、CDで残しておきたい
※	プログラムはもっと簡単に、冊子体が良い。
※	月ごとに分冊にしたらどうか。
※	会場に十分にWeb環境が整っていればWebでも良い。あるいは一覧表など自分で探さなくても見られるように場所を用意してほしい。
※	SamaryやAbstractはもっと早く公開して欲しい
※	重い
※	PDFのプロテクトはない方がよい。
※	とくになし
※	全体を見渡すには冊子体の方が便利。今回のように要旨集のみWebで必要なところをダウンロードするのが良い。
※	USBが良い
※	冊子のサイズを小さくできないでしょうか？
※	今回のようにネットでの検索、登録システムが充実していれば、CD、冊子体とも不要。ただしその場合ダウンロード可能にして欲しい。
※	ケータイでも、要旨のケンサクができるようにしてほしい。JSONで、一つのページにデータを流しこむのではなく、別ページ(ブラウザによっては別タブ)で開けるようにしてほしい。
※	無線LANは便利だった。有効。
※	Webに入れない★★も多い
※	要旨のタイトルは日本語も並記すべき
※	発表者の名前とみょう字が反対になっているのが、結構あった。索引でも逆になっていたの、発表者を探すのに苦労した。
※	基本的にはwebのみで十分だと思うが、それを持ち運ぼうとしたときにリーダーが不可欠となるだろう。要旨集等の完全な電子化は、電子化で十分との意見が大半を占めるようになってから実行すべき。
※	もう少しあっかい易はPDFを作ってWEBから配れば良い
※	プログラム集は参加登録にしたら無料にすべき
※	webだけなら閲覧可能な日に期限をもうけるのはよくない。
※	pdf fileの構成もう少し工夫すべき。実際にPC、smart phone、book readur等でcheckして欲しい。検索もできないし、聞くのに時間がかかる。
※	iphone、iPad用のサイトがあるといい。
※	冊子の著者さくいんのみの小冊子がほしい。アルファベット順の一覧とポスター番号、発表番号が書かれたもの
※	携帯でも見れるようにしてほしい。
※	プログラムだけでも十分重いので、Web化を検討すべき。
※	PDFも必要
※	会場の要所で冊子かCDを読めるようにしてほしい
※	・Webのインターフェースをわかりやすいものに。・ログイン解除までの時間が短すぎる。
※	CD自体にデータが入っておらず結局webにつなげないとデータが見られないなら不便。CDよりもUSBメモリに要旨データ込みで配布してほしい。
※	冊子は1日ずつ別々があると軽くなって良い。
※	電車内★で読める
※	希望者のみ

質問4-2 プログラム・要旨集について、その他自由記述

※	CDが届くのが遅すぎる(前日だった)
※	USBでもよい
※	本当は冊子体がほしいがこれだけの演題数ではむりだろう
※	CD or DVDのimage file必要
※	携帯で要旨が見られるようにしてほしい。要旨が公開終了後見られないのがつらい。
※	print outの順番がくずれた。ソフト上の問題か。開発途上との印象を受けた。
※	検索ソフトの改良を望む。
※	My Scheduleに複数個1度にとりこめるようにしてほしい
※	Webのみにするなら参加費を安くするべき
※	学会員は参加登録にかかわらず要旨を見られる方が良いのでは
※	冊子体→資源のムダ
※	携帯でも閲覧可能にして欲しい。
※	PDFファイルが重すぎるのもっとファイルサイズを小さく
※	キーワードにシソーラスを用意して頂きたい。今回はPCでの検索も印刷時の一覧性も悪かった。
※	会場全域でWifi接続できるようにしていただいた点は◎。電波の弱い場所(国際会議場1Fなど)がないように。Web要旨等もgoodですが、いちいちログインしないで本文まで見られるように強く希望。ダウンロードできるPDFは検索できるように希望。
※	プログラムは冊子体で。要旨はCDでOK。
※	Webの場合、会場全体でLANを安定して使えるようにする必要があります。あと可能なら、iPadやスマートフォンに対応したページも用意した方が良くかと。
※	要旨をプリントできる場所が会場内にあると便利です。
※	プログラムは冊子体で可。要旨集は記録として残すためにもCDがほしい。
※	昨年のようにCDをWord、PDFで見れるようにしてほしい。
※	Web onlyでもよいが、過去の大会の要旨も見れる様にしてほしい
※	CDまたは冊子が残った方が良いのでは？いずれでも可だが、発表内容が残ることが重要
※	参加費とは別にプログラム集代が必要なのは良くない。込みにして欲しい(非会員)
※	Webでダウンロード(CDの内容)できれば十分だと思います。
※	全体をDLできればonlineだけでok
※	保存する、後日(数年後)に検索することもある
※	WindowsだけでなくWindows mobileのようなモバイル機器でも読めるデータ形式でCDにしてほしい
※	Web版要旨集の正式名付、ページ数に相当するもの。
※	日本生化学会が、CDを発行していましたが、会費の無駄使いだと思います。参加費を安くするためにも、Webのみで十分です。
※	大会後、数年間はWebで公開すべきだ。
※	冊子体は、今の時代となつては無駄。資源等のムダであると思う。
※	Webでのえつ覧は期限をもうけないで欲しい。
※	各日につき1冊の冊子(計4冊)だと持ち運びに便利だと思います。
※	小さいプログラムをつくる(癌学会ではあった)
※	分冊に出来ないのか？冊子体だとボリュームがふえるが、テーマ毎の分冊なら、関係のところだけ持ってくればよい。
※	今回のようにprogram集のみでよい。
※	接続料を無料にする
※	スマートフォンで見れたら良い
※	休けい場所の受信状態が悪い。(ポスター会場)3日目が悪かった印象。終日PCを動かすため、バッテリーチャージできる環境を整備してほしい。
※	PDFはパスワードをなくすべき(めんどう)。パスワードを公開しているのだから意味なし！
※	分冊した冊子体が良い。
※	プログラム集を毎日に分冊してほしい。
※	参加費に非常勤ワク(社会的弱者)を作って下さい。ポスドクには参加費が高額すぎる。学生と同じで良いのでは？逆に教授など倍で良いのでは？
※	検索だけでなく、見やすい工夫もほしい。(web)冊子体の見出しを見る感じにwebで見れるとよい。
※	大会後も見れるとうれしい。
※	プログラムの冊子体にキーワード検索が欲しかったです。
※	軽くしてほしい
※	基本webにし、必要な方のために冊子体を準備しては？
※	プログラムタイトルが日本語なのに、ポスターでは英語タイトルで書くと、見ていてさがしにくい。統一させてほしい。
※	必要な部分だけ自分でwebでカスタマイズできるようなシステムがあれば便利だと思います

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	“big name”を呼べると思うので。
A毎回合同	→神戸→横浜→京都を順番にする
A毎回合同	・ほぼ似た内容の学会が3ヶ月という短い間に続けて開催されることは発表する側にも、Symposium企画の上でも労力のむだ。
A毎回合同	・より多くの、研究にふれるため。・両学会に入会するのは、お金の無駄だと考えるため
A毎回合同	・過半数以上は似た発表になる。・出帳がまとまっていて良い。
A毎回合同	・分子生物と生化学の境界が明確にわかれた研究は少なくなってきたため。・大規模学会なので企業展示も充実しているため。
A毎回合同	★★内容のoverlapが多い。
A毎回合同	1回ですむため。
A毎回合同	1回で済んでラクчинなので。
A毎回合同	1回で集中して議論できる。
A毎回合同	1回で情報が収集できる。
A毎回合同	1回で良い
A毎回合同	1回に集中した方が効率的
A毎回合同	1回の学会で見聞できるメリットは大きい。秋と冬2回似たような学会に参加するのは時間的、経済的に無駄
A毎回合同	1度ですむから。拡く知ることができる。
A毎回合同	1年に1回で全てを見たいから。2回も余裕はあまりない。
A毎回合同	1年に聞けるから
A毎回合同	2~3ヶ月★間隔で大きな大会を別々にやるべきではないと思う。
A毎回合同	2~3ヶ月の間に同じような学会があり、それぞれに出席するのは時間的に厳しい
A毎回合同	2~3ヶ月以内にほぼ同一のミーティングがあることは意味をなさない。分子生物学会の春の大会のようなトピックスを絞ったシンポジウム(国際)にしてはどうか。
A毎回合同	2つに参加するのは大変。
A毎回合同	2つの学会に同時に参加している意味がもうない。アメリカは20年以上前に合同している。年に2回発表するのは困難。年会費も一つにしたい。
A毎回合同	2つの学会を統一すべき。
A毎回合同	2つは出られない。ケチな企業なので。
A毎回合同	2つ来るのは大変
A毎回合同	2回に分けても重複演題となることが多いため。
A毎回合同	2回はいらぬ
A毎回合同	2回も行くのがめんどろだから。
A毎回合同	2回も行くのは学生にも、職員にも負担でしかない。絶対合同にすべき。
A毎回合同	2回も同じような学会に行くのは大変
A毎回合同	2回も同じ学会があるのは、無意味。
A毎回合同	2回学会にいかなくてよいから。
A毎回合同	2回同じ発表があつたりするのは無駄だから。
A毎回合同	2学会間で共通する研究テーマが見受けられたため。
A毎回合同	2度でま。または片方行かなくなる
A毎回合同	2度の学会への参加の必要がなく、時間、費用がおさえられる
A毎回合同	4日間の出張を年に何回しなくてすむので
A毎回合同	9、12月と近いこと、両大会とも大きいことより1度にして欲しい
A毎回合同	Abstrat deadline is too close to each other when held separately
A毎回合同	BMBの面白さは、予想していないアプローチからの研究を見ることができる所にあるから。
A毎回合同	Bの頻度だと混乱が生じる。Cだけでも人数が十分に多すぎる。
A毎回合同	C:全くムダ!!
A毎回合同	over rapしているので合同はbest。
A毎回合同	overlapが多い。overlapしていない分目も見られる
A毎回合同	あまり違いを感じない。広い分野をカバーできるので、情報収集には合同の方がよい。
A毎回合同	いろいろな情報が収集できる。
A毎回合同	いろいろな分野を聞けるので。
A毎回合同	いろいろな話がきけるから
A毎回合同	いろいろ見れる。
A毎回合同	いろいろ見れるから。
A毎回合同	いろんな分野の話を同時に聴ける。
A毎回合同	オーバーラップが多いと思うから。
A毎回合同	オーバーラップする
A毎回合同	おもしろいから
A毎回合同	お互いに関連し合う部分が多いので一度にやってもらった方が手間暇が省ける。
A毎回合同	お互いに情報交換できるから。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	お互いの分野の弱いところを相補できるので、合同の方が良い。
A毎回合同	かなりオーバーラップしているの
A毎回合同	かなり分野が重なっているの。
A毎回合同	カバーする範囲が重なっているの、合同にしてもらった方が何度も足を運ばなくて良いから。
A毎回合同	グレーゾーンが多いし、情報の幅を拡大すべき。
A毎回合同	クロスする分野が多く、より多くの情報を得られる。
A毎回合同	コストを下げるため。時間的にも経済的にも。
A毎回合同	コスト削減のため。
A毎回合同	このような多分野に渡った学会は一つで良いと思う。
A毎回合同	この学会は視野を広める学会として利用したいので、少しでも大規模な方が良い
A毎回合同	しかし毎回合同にするなら、日本に、生化学会と分子生物学会の両方がある意味がわからない。どうせなら両方をMixにした学会にすればいいのではないかと思う。別々に存在する意味がわかりません。
A毎回合同	シンポジウム等の内容に重複が多くなるので。
A毎回合同	そこまで大きく変わる発表はないので、一緒の方が聞きもろしうくなって良いと思う。
A毎回合同	それぞれのspecialistの意見が聞けた方がおもしろいから
A毎回合同	それぞれの分野は、オーバーラップする部分も多いので、独立すべきでない。
A毎回合同	それぞれ開催の場合、片方にしか参加できない。その場合、聞きのがす話題が出てくる。
A毎回合同	たくさんの人に会えるから。
A毎回合同	だとうだと思うから。
A毎回合同	ちがいが無いので
A毎回合同	テーマが広がるため
A毎回合同	というより、一つの学会にしまえばいいのでは・・・
A毎回合同	どちらかでしか発表できない内容の研究はないと思う。分ける意味がないのではないか。企業研究者としては、情報収集を効率的にしたいため、合同を希望する。
A毎回合同	どちらかの学会員をやめられるから。
A毎回合同	どちらか一方の学会にしか会員になっていない人が多く、同会だと年に一回、知人と会える機会が与えられるので。
A毎回合同	どちらにもフィットするため、2日の参加は困難である。
A毎回合同	どちらにも関連しているため。
A毎回合同	どちらにも興味のある演題があるのだが、両方に参加するのは日程的にも金銭的にも厳しいものがある。
A毎回合同	どちらにも似たような演題を出す演者が多い
A毎回合同	どちらの学会も幅が広く、合併しても大きな違いはないと思う。
A毎回合同	どちらの領域にも関わる研究が多いので、あえて分ける必要はないと思う。
A毎回合同	どちらも★90%同じテーマなので
A毎回合同	どちらも大きいので開催がたいへんと思うので
A毎回合同	どちらも大きな大会なので、二度参加するのはむずかしい。一度の方がたすかる。
A毎回合同	どちらも聞きたい。
A毎回合同	どっちに行くかなやむから
A毎回合同	なるべく多く人が集まったほうが、学会の価値が上がるから。
A毎回合同	なんかかっこいい気がする。
A毎回合同	なんでもアリの方がおもしろい。
A毎回合同	ほとんどoverlapしているから
A毎回合同	ほとんど重複している
A毎回合同	ほとんど分野がoverlapしているので、単独開催する必要がない。
A毎回合同	ほとんど分野が似かよってきている。(両★★してはじめて形成されるfieldが多い。
A毎回合同	ほぼ同じになっているため。
A毎回合同	ほぼ同一のもの(一部だけちがう)ものを別に開催する必要はない。
A毎回合同	ほぼ同内容のため
A毎回合同	まとめて参加できるので。
A毎回合同	まとめて出られると楽ですし、広く顔を合わせることの出来る機会です。
A毎回合同	もはや根柢はない。2回行けない
A毎回合同	より広い分野の発表を聞くことができる。2つの学会が単独開催だと、2つ共に参加しづらい(講義などをそう休みにできない。)
A毎回合同	より広域な分野に対する知見が得られる。
A毎回合同	より深い議論ができるため
A毎回合同	リダンダント会の多様性にプラス
A毎回合同	わかる理由がない
A毎回合同	異なる分野の研究にも関心がある。
A毎回合同	異分野の発表を聞ける良い機会。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	異分野同士の交流がある方が良い。
A毎回合同	違う研究視点に出会える
A毎回合同	違う視点の意見ももらいたい。運営が楽(オーバーラップしている方も多いので)。
A毎回合同	違う分野の研究に触れる機会になる。
A毎回合同	違った関点を持った研究者と同じ課題について議論できる
A毎回合同	一★にいろいろみれるので
A毎回合同	一回でもうらできる
A毎回合同	一回で得られる情報量が多い
A毎回合同	一回の方が楽だから。
A毎回合同	一緒の方が活気がある。
A毎回合同	一度で済むから
A毎回合同	一度で済むので
A毎回合同	一度に2つの分野がきける
A毎回合同	一度に見られて良いし、両会の分野がかなりかぶっているから。
A毎回合同	一度に行った方が、時間、費用の両面で効率的である。充実した考案をしたいなら、プログラムを工夫すればよいだろう。
A毎回合同	一度に出張できる。
A毎回合同	一度に多くの研究を知ることができるから。
A毎回合同	一度に様々な話題を手に入れられるし、2回参加しなくて済むから。
A毎回合同	一度に両方に参加できるから。
A毎回合同	一度の参加で多くの情報を得ることができる。
A毎回合同	一度の手間で2つの分野にまたがったプレゼンが網羅されていると便利
A毎回合同	一年に2つの学会に出席するには、時間と費用がもったいない。
A毎回合同	一部合同にし、日程を連続させる方法もあり得るだろう。
A毎回合同	運営的にはわからないけれどもできない内容的にはもはや全く区別がつかないため
A毎回合同	演題が重複するため。
A毎回合同	演題の内容が両方にまたぐものが多いので、1回でおわる方がよい。
A毎回合同	演題数が多い方がよいから。
A毎回合同	演題数も減少している。生化学と分子生物学に分かれている場合ではない。基礎生命化学の拡興に協力しあうべきである。
A毎回合同	遠方からの参加者は両方参加できない
A毎回合同	何回もいけないので集中してほしい
A毎回合同	何故別々開催するのか理解できない。
A毎回合同	何度も学会にいくのがめんどくさい。
A毎回合同	学会が多すぎると参加の負担が大きい。
A毎回合同	学会が多すぎると仕事にさしつかえる！
A毎回合同	学会に何度も出張できない。多くの人々にアピールできる。
A毎回合同	学会に参加する時間がとれない
A毎回合同	学会に参加する手間がはぶける
A毎回合同	学会のさかい目がほとんどないので、合同でよいのでは
A毎回合同	学会のフィールドがほぼ同じだと思う。
A毎回合同	学会の色がうすれてきているので、合同でも内容がずれる事はないから。たくさんの人と交流できるから。
A毎回合同	学会の内容として両者に差★がないと、英国でも”Biahan★★y & Mclewler Bidry”で学会ができていることなど、科学の流れとして合同年間が★もよ★ているから。
A毎回合同	学会も合併してひとつになるべき
A毎回合同	学会員がオーバーラップしているので、時間的にも経済的にも無駄である。
A毎回合同	学会参加費の負担が大きい
A毎回合同	学会内容にほとんど相異がなくなっている。近い時期に2回の学会に参加することは困難。
A毎回合同	学会発表の労力低減、他分野の発表を短期間で拝聴することができる
A毎回合同	学会費が一度で済むから
A毎回合同	学会費が高い。自腹を切ること多々なので、合同で良い。→ただし、セッションが多すぎるのはデメリット。学会参加費も高すぎる。
A毎回合同	学生の時間、お金のムダを省くことができる
A毎回合同	学生の旅費等の経済的問題。
A毎回合同	学問的な境界があいまいになってきているので、同じでいい。
A毎回合同	学問分野として重複が多いので
A毎回合同	楽です。どっちも行きたいときに行きやすい。
A毎回合同	活気があってよい。
A毎回合同	関連している分野なので、一同に会して行うべき

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	関連分野あるいは興味を持っている分野の研究がどちらの学会でも発表されうるので、両方の学会に参加したいが、出費や時間のことを考えるとどうしても片方にしか参加できないので、合同で開催してほしい。
A毎回合同	企業の者としては両方とも別々に参加できる時間をとれない。
A毎回合同	企業ブースがたくさんあるので、空き時間を有意義に使える。
A毎回合同	企業ブースが盛大。研究内容に興味がある。
A毎回合同	規模が大きいうえに、分野のオーバーラップが高いから。
A毎回合同	規模が大きいため、このメリットを保ってほしい。
A毎回合同	規模が大きくなるから。
A毎回合同	規模が大きくなるテーマが聞けるから。
A毎回合同	規模は多少大きくなって、1回の出席で情報収集できるのはありがたいから。
A毎回合同	議論が多く出来る
A毎回合同	逆に、単独でやるメリットが少ない気がします。
A毎回合同	共通する内容が多いので年に2回に分けて実施する必要はない
A毎回合同	共通性の高さ、広く発表を聞ける。
A毎回合同	区別する必要がない
A毎回合同	経ヒを考えると分ける必要ない
A毎回合同	経費節減のため
A毎回合同	結果として、発表内容が同じになる。
A毎回合同	結局どちらか1つに出すことになり、いつも分生にだしています
A毎回合同	研究の幅が広がるのでは。
A毎回合同	研究結果が分散してしまい、情報集収が十分にできなくなる。
A毎回合同	研究交流の場が広がる。
A毎回合同	研究内容、手法がクロスオーバーしているため、分けて開催する必要はない。
A毎回合同	研究内容がほとんど同じ。
A毎回合同	研究分野がどちらにも被っているため。
A毎回合同	研究分野がどちらも似通っている
A毎回合同	研究分野の重なりがある以上、1回で全部見たいと思います。
A毎回合同	研究領域の境界が明確でなくなっているため互いの会の人材交流の点からも共同開催が望ましいと思います。
A毎回合同	現在の研究で、もちろん両学会のどちらかに合う研究というものもあると思うが、むしろ両方にまたがった研究の方が内容がおもしろいのではないかと？無理にこれらどちらかに分ける必要性がわからない。→ヒトが、二つの学会に分けた方が、宿が予約しやすいと思うが、学術的に2つに分ける意味があるのか疑問です。
A毎回合同	現在の分子生物学と生化学は学問としてほとんど同じだから
A毎回合同	現在生命科学の分野では学問のかきねはないと思う。
A毎回合同	現実的に日程が近いと、両学会に参加される場合、あまり意味がないと考えます。
A毎回合同	現状では2大会に分ける理由が見あたらない
A毎回合同	交流の機会が大きく増大する。
A毎回合同	交流は多い程いいと思う
A毎回合同	効率がいい。分ける理由が特にない。
A毎回合同	効率的なので。
A毎回合同	広い分野が聞けるので。
A毎回合同	広い分野で交流でき、参加しやすい。大きすぎる感はあるが、スケールメリットが勝っているように感じる。
A毎回合同	広い分野について学習できるため。
A毎回合同	広い分野の話を聞くことができるので。
A毎回合同	広い分野をカバーしてよい。両方に関係がある場合、どちらかに参加になると、情報がへる。
A毎回合同	広い分野を一度に見聞きできてよい
A毎回合同	合同で問題がなければそれでよさそう。
A毎回合同	合同にして質を維持してもらいたい。分散してしまうと両方でないといけなない。
A毎回合同	合同の方がより一度に多くのテーマに触れられる。年一回参加すればよい。
A毎回合同	合同の方が合理的だし、似た学会を2つも存続させなくて良いと思う
A毎回合同	合同の方が多様化してよい。
A毎回合同	合同の方が費用の負担が少なくてよい。2回に分ける必要性もあまり感じられない。
A毎回合同	今となっては同じだから
A毎回合同	今の状況なら、両学会の内容があまり変わらないから。
A毎回合同	今と同じ内容で発表することがない。
A毎回合同	今日では内容的な違いがほとんどない方、合同の方が幅広く人と交流することが出来る。また毎年参加する場合、学会が2つに分かれていると、時間も経費も倍必要となり、効率も良くないので。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	参加する日程の確保が大学教員にとっては困難になりつつある。
A毎回合同	参加回数が1度ですむ
A毎回合同	参加者が多い方が有意義であるから。
A毎回合同	参加者の費用面と、参加できるテーマの網羅性を考えて。
A毎回合同	参加人数が多い方がシンポジウムも多くて勉強になる。2回行かなくてよい。
A毎回合同	参加人数も多く、幅広い演題数により、発生分野等の分子生物学特徴的な発表をきけるため。
A毎回合同	参加費が一回で様々な発表を見れる。
A毎回合同	酸素の生化学など、分子生物学会員が知っておきたいセッションが多く開かれている。
A毎回合同	私の研究分野がどちらにもリンクしているので。
A毎回合同	私の分野は生化学には関係なく分子生物に近いが、せつかくこれだけ大きく分野をカバーする学会であるならば、可能な限り広く分野をカバーした方がよい。
A毎回合同	視野が広がる
A毎回合同	似たテーマを秋季と冬季に分けてやる必要はない
A毎回合同	似たフィールドでオーバーラップする研究が多いため合同にした方が参加する側としてありがたい。
A毎回合同	似たものを2回やってもしゃーない
A毎回合同	似たような学会が2つあるとお金がかかる。
A毎回合同	似たような学会が年に2度ある意味がないので。
A毎回合同	似たような大会は2つも不要
A毎回合同	似た研究が多い
A毎回合同	似た内容で2回するのは時間をもったいない。W5など顔ぶれも同じです。
A毎回合同	似た内容であれば、合同にすれば1回で済むので、時間やコスト削減になる。
A毎回合同	似た分野が多い。分子、生化をいったんまとめて、再構成が必要かとも思う。
A毎回合同	似た分野の多くある学会であり、一度で開催して頂いた方が密度の濃い期間となるため。また、分野間での交流も深まる為。
A毎回合同	時間が節約
A毎回合同	時間と費用のムダ
A毎回合同	時間の節約。
A毎回合同	時間の節約になるので
A毎回合同	時期、場所が同じ方がよい。
A毎回合同	時期が近い
A毎回合同	時期が近いと内容に変化がない。
A毎回合同	自分にあまり関わりのない発表も聞くことができるから
A毎回合同	実質的な違いはない。
A毎回合同	若手研究者にとっては両学会を区別する必要性があまりないため。
A毎回合同	手間が省ける。
A毎回合同	重なっているテーマも多数あるため
A毎回合同	重なるテーマが多い
A毎回合同	重なる内容が多い。2回行くと費用が無駄になる。
A毎回合同	重なる話が多いと思うので。
A毎回合同	重複が多いので。
A毎回合同	重複して発表することと避けるのでどちらか一方のみになるから
A毎回合同	重複するトピックスが多くなっていること。出張期間の短縮が可能になるから。
A毎回合同	重複する部分が多く、2度も年会を開催する必要はない。経済的、時間的な無駄をなくしたい。
A毎回合同	重複内容が多い。2度参加するより便利。
A毎回合同	宿泊等の問題はあるかと思うが、わざわざ分けて開催する必要はないと思う。
A毎回合同	出張が1回で済む。
A毎回合同	出張が一度ですむ。
A毎回合同	出張回数がふえるから。
A毎回合同	出張回数が減る。
A毎回合同	出張回数を減らせる
A毎回合同	出張日数、会費、参加費の削減、節約
A毎回合同	将来的に両学会を合併させるため
A毎回合同	少子化を迎えて生命科学分野の大学院生(特に博士課程)がどんどん減少している。両学会はできるだけ協力して、生命科学分野全体を盛りたてていく必要がある。
A毎回合同	省時間省労力
A毎回合同	情報が多くなるため。
A毎回合同	情報収集面でのメリットが大きい為
A毎回合同	色々あった方がおもしろいと思います。
A毎回合同	色々なテーマが入るから
A毎回合同	色々な発表を聞くことができる。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	色々な分野の人からフィードバックをもらえる利点がある。2つの学会の参加者で、やっている事(研究手法etc)がそんなに違うとは思えない。
A毎回合同	色々な分野を知るきっかけになるから。
A毎回合同	人がかぶってる。時期も同じ。両者の分野の境もあいまい。
A毎回合同	人が多く集まると思うから
A毎回合同	人数が多い方が質の高い研究を見る機会が増えるから。
A毎回合同	世界的に見て一緒にやる方がよいし、中国や韓国の目覚ましい進出に対応する意味でも統一すべし。
A毎回合同	生化学だけ分子生物学だけという研究は少ない。分野・領域が重なるため。
A毎回合同	生化学として分ける意味がなくなって来ているのでは
A毎回合同	生化学と分子生物学との線引きが難しい分野があるため。
A毎回合同	生化学会の活動内容も分かるので
A毎回合同	生化学会情報をも同時に得られる。
A毎回合同	生化学研究も分子レベルの解析になっており、最近では純粋生化学という研究は少なくなっている。
A毎回合同	生物科学の発展のために必要
A毎回合同	昔と異なり、内容が同じになってきたため。
A毎回合同	専門性だけでなく多様性も得られるから。
A毎回合同	全くかぶっている！
A毎回合同	全国規模の大会を、増やすことで発表の機会は増えるが、演題の質の低下、数の減少が懸念される。
A毎回合同	全世界のサイエンティストは合同、統合の方向であり、サイエンスそのものに境界は存在しない。
A毎回合同	他の分野の知識を効率良く得ることができる。
A毎回合同	他分野の話聞く事も勉強なので重要な機会かと思います。
A毎回合同	他分野への勉強になる。
A毎回合同	他分野を一度に見れていい。
A毎回合同	多くのテーマを見れるから
A毎回合同	多くのテーマを同時期に知ることができる
A毎回合同	多くの会員が両方に所属しており別々に出席するのは困難
A毎回合同	多くの研究者との交流の機会が増えるから。又、他分野の研究をより知る良い機会となるから
A毎回合同	多くの参加者にとって時間的な負担が大きい。また学生にとっては両学会に参加しようと思うと金銭的な負担が大きくなるから
A毎回合同	多くの情報が一度に見られるため。
A毎回合同	多くの情報が得られるから
A毎回合同	多くの人が参加して、いら★★から
A毎回合同	多くの人が集まり、技術向上に結がると思う
A毎回合同	多くの分野で重複している
A毎回合同	多様な意見が聞ける。
A毎回合同	多様な人が集まった方が良いから
A毎回合同	大きい学会なのでトコトン大きい方が意味がある。
A毎回合同	大きな学会なので、合同が便利。
A毎回合同	大は小を兼ねる。
A毎回合同	大会の規模が大きい合同大会だと、一度に沢山の情報を得ることができると思うので。
A毎回合同	大会日程を5日にして合同で開催すべき。2回開催するよりも効率的。学会も統一すべき
A毎回合同	大同★★、但し、会場がもっと使い易く広ければ。
A毎回合同	単独では発見できなかった知見に出会う可能性が高くなったらいと思うので合同がよい。
A毎回合同	単独で開催する意味は全くない
A毎回合同	単独としても1~2ヶ月位の日々を置いて、行なわれるので、同じテーマを発表するのもおかしいので、どちらかで発表するので、合同であればそのほうが望ましい。
A毎回合同	単独にした場合に重複する内容が多い
A毎回合同	単独の場合、両学会参加に2倍の費用がかかるため。
A毎回合同	単独よりも広い分野での交流が可能となる
A毎回合同	単独より合同の方が活気に満ちている。
A毎回合同	単独開催のメリットが現在はない！！内容等すべての面を考りよしても合同にすべきである。
A毎回合同	単独開催の場合、両方に参加することはむずかしいため。
A毎回合同	短期間に2つの大きな学会が開催される必要はない。
A毎回合同	知りたいことがより広く見られる。
A毎回合同	知屋が広がるため
A毎回合同	知識が広がって良い
A毎回合同	地球にやさしいからです。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	長期的には遺伝学会、がん学会、細胞生物学会、免疫学会なども含めてDOWのようにして行くべき。
A毎回合同	同じメンバーが集まるので、1回で済む方が良い。
A毎回合同	同じような課題(テーマ)が多いので
A毎回合同	同じような学会を10月、12月にやるのはエネルギーのムダです。参加者も主催者側も。
A毎回合同	同じような学会を年に2回もやるのは、エネルギーの超むだ！
A毎回合同	同じような学会発表は一回でまとめてやった方がよい
A毎回合同	同じ時期に2つの学会が別にあるとしても、どちらかにしか参加しない為。多くのポスターや、発表を聞ける為。
A毎回合同	同じ人が2つの学会で同じ発表をすることが多い気がするから
A毎回合同	同じ内容が多いので一回で発表するためにも合同がよい。
A毎回合同	同じ内容だし、旅費の出費も大変
A毎回合同	同じ発表を2回きかなくてはならない。
A毎回合同	同じ様な内容だから。
A毎回合同	同じ様な発表が多い。最近、学会やシンポジウム等の開催が多く、時間的に、多くの学会に参加が困難なため、できれば合同で開催してほしい。
A毎回合同	同時に参加できるから
A毎回合同	特に野心的なマイナーな領域のディスカッションを助けて、成長をプロモートする効果が高くなるため。
A毎回合同	内容★生化・分生を分解できないなら、“若手/PI”で分けたり、“work sphop talk”などで分けてしまう方がカラーが分かれて有意義かもしれない。
A毎回合同	内容がoverlapしてきた。
A毎回合同	内容がオーバーラップしており、10月と12月に別々に開催する必然性がない。
A毎回合同	内容がかなりの部分でオーバーラップしていて、現在で分けることが難しい。
A毎回合同	内容がかぶるので合同でよい。時間とお金のせつやくになる。
A毎回合同	内容がほぼ同じ。
A毎回合同	内容がほぼ同じ。重複が多い。
A毎回合同	内容が近い。
A毎回合同	内容が似ている
A毎回合同	内容が重なるものが多く、別々にやることはあまり意味がない。
A毎回合同	内容が重複するなら合同でよい
A毎回合同	内容として、境界が存在しない。
A毎回合同	内容については、かなりかさなっているのであって分けて開催する理由がない。30年前(初★用のころ)は、内容が異なっていたし、中心となる先生方の仲があまりよくなかったようだが、今はその様な事もないと思います。
A毎回合同	内容になんらちがいが無いのに2回も行く気はしない。学生らにとっても実験に支障を来し悪影響。
A毎回合同	内容のレベルが高くなる。シンポジウムなど。
A毎回合同	内容の重複が多いので
A毎回合同	内容はさほど変わらないので。
A毎回合同	内容もメンバーもオーバーラップしている部分が多いため
A毎回合同	内容も重複があり、時期も近いから。
A毎回合同	二つの学会の研究領域の堺があいまいだから。
A毎回合同	二つも別々に行くよりも一所にやったほうが時間の節約になる。
A毎回合同	日程が年によって異なるのに対応しにくい。
A毎回合同	日程を長くしてでも一回にまとめて欲しい。
A毎回合同	年2回、同じような内容は不要
A毎回合同	年に2回参加するのは難かしいため。
A毎回合同	年に2回参加は時間がとられるし、似た話が多いのでまとめてもらった方が便利
A毎回合同	年に2度も行けないので。
A毎回合同	年に2度大きな大会に参加するのは難しいため。
A毎回合同	年により、開催時期が異なるのが良くない気がする。分生にも参加したいが、別々だと生化学会と両方参加はむずかしい。
A毎回合同	年に一度がちょうどよい。
A毎回合同	年に何度も大きな学会に参加するのは難しいため。
A毎回合同	発表内容が★★事が多いため
A毎回合同	発表内容がかなり重複している。
A毎回合同	費用の削除。似たようなマンモス学会年回は合同にして何の問題もない。
A毎回合同	非常に大きな学会は専門外の知識を吸収する意味で役立つ。合同にすれば、参加しやすくなる。単独は出張の負担が大きくなりすぎ、参加しにくくなる。
A毎回合同	普段聞けない分野を聴ける

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	幅が広がるため。
A毎回合同	幅広い演題が聞けるため。
A毎回合同	幅広い研究テーマに触れられる。
A毎回合同	幅広い知見が得られ、交流、意見交換ができるため。
A毎回合同	幅広い知識を得られるから
A毎回合同	幅広い分野の人と交流できる。
A毎回合同	幅広く知識を得ることができて良い
A毎回合同	幅広く勉強できるので
A毎回合同	分けても同一研究室から同一演題が出されることが多い。
A毎回合同	分ける意味がない
A毎回合同	分ける意味がよく分からない。
A毎回合同	分ける意味が少なくなってきたと思う。境界が不明瞭だと思う。毎回一緒のほうがよいと思う。
A毎回合同	分ける必要性を感じない
A毎回合同	分ける必要性を感じない
A毎回合同	分ける理由があまりないと思うから。
A毎回合同	分ける理由がない。
A毎回合同	分ける理由がない。交流が活発化するため。
A毎回合同	分ける理由なし
A毎回合同	分子生物学と生化学で、手法が異なっても、物質の興味は変わらないので。
A毎回合同	分子生物学会も生化学会も趣味あるのですが、年2回別と参加するのが負担が大きい。
A毎回合同	分生と生化学会は、内容がかなり重複していると思います。是非、毎回合同にして下さい。
A毎回合同	分生も、生化と思われる。生化も、分生と思われる。同時合同で良い
A毎回合同	分生も、生化学会も重複内容が多いので、合同開催にすべきである。
A毎回合同	分野がかなりオーバーラップしているから
A毎回合同	分野がほとんど同じなのに別会にする意味はない。
A毎回合同	分野が近い
A毎回合同	分野が広がるので
A毎回合同	分野が似ているため、別日程で開催する意義を感じない。
A毎回合同	分野が若干異なる発表が聞けて良い。
A毎回合同	分野が重なっている為。
A毎回合同	分野が類似しすぎています。しかし、領域をもっと狭く、数(演題)を多くすべき
A毎回合同	分野に境界がない為
A毎回合同	分野のoverlapが大きい為、別に開催すると発表を網羅するためには2学会とも出席する手間になる。
A毎回合同	分野のオーバーラップが多いから
A毎回合同	分野をの重複が多く、分けることが、難しいため。
A毎回合同	分野を越えた交流ができるから。
A毎回合同	分野外ではあるが、生化学の知識も学べる機会になる。
A毎回合同	別にやる意味がない。
A毎回合同	別々だと人が少ない
A毎回合同	別々にすると無駄が多い。2回も参加するのは大変。
A毎回合同	別々にするメリットより合わせたメリットの方が大きいのでは？
A毎回合同	別々にするメリットをあまり感じない
A毎回合同	別々にする必要がないと思います。
A毎回合同	別々に行く意義・理由を見い出すことは困難である
A毎回合同	別々に行くのは大変。
A毎回合同	偏った分野よりより広く深い議論が可能
A毎回合同	片方にしか所属していないので
A毎回合同	片方のみだと、題目が少ないし偏っている。またはその傾向が強くなる気がする。
A毎回合同	片方のみでは偏りがある。
A毎回合同	片方の研究分野のみで、展開が望まれるとは限らない。異なる分野ごとの相互発展が合同会の意義だと思う。
A毎回合同	片方退会できるから。
A毎回合同	便利のため。
A毎回合同	便利なので
A毎回合同	勉強になる
A毎回合同	勉強になることが思いです
A毎回合同	本合同大会を中心の学会にし、より専門的な分野の小さな学会を別にやるようにしたほうが良い。
A毎回合同	毎回分野の異なるシンポジウムやワークショップを気軽に聞くことができるので。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	明確な分野の区別が分かりにくい
A毎回合同	明確に区別できない領域が多いので、合同の方が望ましい。
A毎回合同	様々なジャンルの発表をみることができるから。
A毎回合同	様々なニーズに応えられると思うので。
A毎回合同	様々な研究に触れることができるから
A毎回合同	様々な研究分野を知り、その研究に携わる方と交流をもつ機会が増えるから。
A毎回合同	様々な人との交流が持てる
A毎回合同	様々な分野で現在研究されていることが分かるから。
A毎回合同	様々な分野のことをいっぺんにきける。
A毎回合同	様々な分野を学べる
A毎回合同	様々な分野を見ることができるから
A毎回合同	旅費、日程的に楽。
A毎回合同	旅費など経費を考える、あえて2つの学会発表を分ける必要全く、感じない
A毎回合同	旅費を節約できる。神戸と横浜に開催地が傾っているような気がします。東京、名古屋、京都、千葉にも会場となりうる場所があります。札幌や福岡も会議に適しています。
A毎回合同	旅費等の問題もあり1回ですめばその方がよい
A毎回合同	両学会で重複が生じる。
A毎回合同	両学会ともに興味があり、日程的にも都合が良い。元来セッション毎に分かれているので興味が無くても、別のセッションに出れば良いため。
A毎回合同	両学会に研究分野、興味が存在するため。
A毎回合同	両学会に参加しているが、時期が2~3カ月しかはなれておらず、演題が重なってしまう。
A毎回合同	両学会に参加するのは困難(学会期がどちらも長く、また近いので)
A毎回合同	両学会に所属している人の参加費を安くすべきである。合同開催が多いのは歓迎するが、年会費をダブルで払っている感がある。
A毎回合同	両学会に大差を感じない
A毎回合同	両学会に明確な違いが見い出せない。
A毎回合同	両学会の違いが理解不能
A毎回合同	両学会の演題、内容に重複が多く単独開催の意義があまり感じられない
A毎回合同	両学会の会員となるのは負担が大きい情★は同時に得られるのが有難い
A毎回合同	両学会の境界があいまいになっているため。
A毎回合同	両学会の内容に特別な相違は感じられない。まじめに両学会に出るのは負担である。
A毎回合同	両学会の発表内容は、年々重なってきていると思う。
A毎回合同	両学会の領域がかなりoverrapしているの。
A毎回合同	両学会の歴史がありますが、参加研究者は重複しています。研究時間も余裕ができます。
A毎回合同	両学会はオーバーラップするところが多いから。
A毎回合同	両学会は内容の区別ができない。
A毎回合同	両学会への発表を考える際、テーマがかなりかぶると思うので、合同でよいと思う。
A毎回合同	両学会を合同にすることで統合的に理解出来る
A毎回合同	両学会を統一して欲しいので。
A毎回合同	両学会所属者同士で交流ができるから。
A毎回合同	両者ともかなり重複する部分があるから
A毎回合同	両者の違いが殆ど見えなくなった
A毎回合同	両者の独自性を、もはや示せなくなっている。
A毎回合同	両大会ともかなり重なる分野があるので、あえて分ける必要はないと思う
A毎回合同	両分野からの情報を同時に得ることができる。
A毎回合同	両分野が近いので、別開催にする理由が無い。
A毎回合同	両方が1回のみでよいから。情報交換ができる。
A毎回合同	両方きけるから。
A毎回合同	両方でれない
A毎回合同	両方に参加したいが別に開催されると金と時間がかかる
A毎回合同	両方に参加することは現状では困難(教務等で多忙にて)。
A毎回合同	両方に参加する時間とコストが大変なので
A毎回合同	両方に出るのは無駄が多い
A毎回合同	両方に入っているの、両方に毎回参加はむづかしい
A毎回合同	両方に別個に参加するより合理的。
A毎回合同	両方の学会に興味があるが、両方に参加するのは大変なので。
A毎回合同	両方の内容が一度にきけて有意義だから。
A毎回合同	両方の発表が見れるため。
A毎回合同	両方の発表を聴講したい。
A毎回合同	両方の分野に関連する研究が多く、1度の学会で発表をまとめて聞けるのが良い
A毎回合同	両方の分野を同時に学べるから

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
A毎回合同	両方行きたいけど2つに別れると1つしか行けない
A毎回合同	両方参加できる&内容が似ている
A毎回合同	両方出席するのは困難な場合が多いから。
A毎回合同	両方出席するには旅費もかかる
A毎回合同	両方出席するのは難しいため、合同の方が情報を集めやすい。
A毎回合同	両領域の境界がはっきりしなくなった。合同の方が多くの情報が一度に手に入る。
A毎回合同	類似の大会を年2回する必要がない。経費、時間がムダである
A毎回合同	歴史的なことがあるかもしれないが、合同にするのが幅広い内容を重複
A毎回合同	労力のムダ、活費のムダ、ほとんど同じテーマである。
B適宜合同	・4年毎に
B適宜合同	・一長一短・テーマも合同で考え、どちらの会員もよくまざるようにするのはいかがか？
B適宜合同	・若手の口頭発表の機会は単独開催の方が得られやすい。・合同ではまとめて参加できるのが利点
B適宜合同	2000題／年ぐらいが適当。2年に1回発表できるようにする
B適宜合同	2つの学会がカバーする分野が重なりすぎている。隔年で合同が丁度良い
B適宜合同	2年に1度とか3年に1度
B適宜合同	2年に一回程度がちょうどよい
B適宜合同	2年に一度くらい
B適宜合同	A、Bともに大きい学会なので、合同にすると、演題が多すぎる。しかし、異分野との交流もできるので、3年に1回ぐらいがよい。
B適宜合同	A. 毎回合同→学会を統合すれば良い。C. 毎回単独→コスト、人の分散は好ましくない。⇒分子生物、生化学ともに特色があるので、別々が良いが、2～3年に1回合同でも良い。
B適宜合同	Aなら別々の学会として存在する理由がない
B適宜合同	BMBだと大きすぎる。
B適宜合同	BMBは大きすぎるので。
B適宜合同	Freshでなくなる
B適宜合同	We can enjoy variety from different fields at the same time.
B適宜合同	あまりにも日程が長いと最後は疲れる。
B適宜合同	あまりに大きいとテーマが分散している。ある程度テーマをしぼる必要あり。
B適宜合同	あまり合同どうこうを意識することがない。
B適宜合同	あまり大きな大会だと、興味の少ない分野も多いし、場所の異常が大変だから。
B適宜合同	いつでも良い。(片方しか入っていないので)
B適宜合同	いつも合同だとどうも多すぎ、大きすぎてしまう・・・
B適宜合同	いろいろ★フィールドの知見がきける。
B適宜合同	いろいろな形態で行なった方が多様でよい
B適宜合同	いろいろな話が聞ける
B適宜合同	ききたいテーマのものがかさなってしまふ。
B適宜合同	キボが大きいと疲れる。回りきれない。
B適宜合同	キボが大きすぎるので、隔年で今回ぐらいが丁度よい
B適宜合同	ケジメとメリハリのため。毎回合同にするなら両学会は合併にすべき。両方の学会に所属している人は双方に年会費を支払っているのだから。
B適宜合同	スペースの問題。横浜は広いので合同、神戸は単独を希望。
B適宜合同	すべて合同だと、学会が2つあることが・・・ただし、最近では合同の時のみ参加しています
B適宜合同	そもそも別の学会なのだから毎回合同にする必要はない。しかし毎回単独だと、出張費等お金がかかる。
B適宜合同	それぞれに目標が違うが、関連情報も適当に必要であるから
B適宜合同	それぞれのメリット・デメリットがまだよくわからないので・・・とりあえず何年かおきの合同で良いと思います。
B適宜合同	それぞれの学会に個性があるので、基本的には別個に開催すべき。数年に1度程度は合同でもよい。合同の相手はいつも同じである必要はない。
B適宜合同	それぞれの学会の独自性を出す方がよい
B適宜合同	それぞれの学会の予定があると思うので、一任します
B適宜合同	それぞれの専門を大切にすべきだが、見聞を広めるためにも適度に合同開催して頂きたい。
B適宜合同	それぞれ特異な事があるので、両者は独立しかつゆるやかに連けいする方がよい。
B適宜合同	たまにする方が新鮮味がある。
B適宜合同	たまには刺激になるので良い。
B適宜合同	たまには他分野の話も聞きたいので。
B適宜合同	ちょっと演題が多すぎるので、もう少しスリム化するために。
B適宜合同	ちょっと大きすぎる2つ一緒だと
B適宜合同	テーマに合わせて企画すればよい。
B適宜合同	テーマの重複などに合わせて

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	テーマも会場も広すぎて、かえってわかりにくくなることもあるかも。
B適宜合同	できる限り合同で行うとよい。単独でやるなら特色を持った開催趣旨でやるべきである。学会のあるべき姿が見えにくくなっている。
B適宜合同	どちらかに限定すべき理由が思い浮かばないため。
B適宜合同	どちらでも
B適宜合同	どちらでもよい
B適宜合同	どちらでもよい。
B適宜合同	どちらでもよいと思ったので適宜合同とした。
B適宜合同	どちらでもよいので。
B適宜合同	どちらでも良い。
B適宜合同	どちらでも良いから
B適宜合同	どちらでも良いと思えるので。
B適宜合同	どちらにもフィットするテーマの場合も多いと思うが、あまりにも規模が大きくなるので、毎回共催でなくても良いと思う。
B適宜合同	どちらにも合う分野もあると思うので。
B適宜合同	どちらにも所属する方には都合がよいと★います。
B適宜合同	プログラムが多くなりすぎるとすれば単独でも良いが、内容的に被る部分も出てくるだろうし、様々な分野の方と話ができるので、うまく調整できたらと思う。
B適宜合同	ポスターが多すぎる気がする。
B適宜合同	ポスター発表などの演題数が多すぎ
B適宜合同	ポスター発表数が多すぎ。
B適宜合同	ホテルなどが混むので、できればわけてほしい
B適宜合同	ほどほどが良い
B適宜合同	ほとんど境界線がなくなっていると思うから
B適宜合同	まとめて情報収集できるのはうれしいが、日程的にはきつい。
B適宜合同	メリットはあると思うが、大きくなりすぎるから、毎回というのはキツイ。
B適宜合同	よくわからない
B適宜合同	よりおおく分野の演題を勉強すること。
B適宜合同	より様々な視点をもつ方と交流できる。
B適宜合同	ワークショップetcのテーマに偏りがあるから。分生のテーマが多いように思う。
B適宜合同	異なる時期に(10月と12月)に年2回開催されることが適切。年1回に集中するのは過密である。
B適宜合同	異なる分野のことについて色々知ることができるか。
B適宜合同	異なる分野の方々と適宜交流を深められる
B適宜合同	異なる分野も重なる分野も存在するため。
B適宜合同	一緒にするメリットは何なのかききたい。
B適宜合同	運営の規模拡大や情報交換等が行なうことができるようになるため
B適宜合同	演者が分散するのは寂しいが、必ずしも合同にする必要も感じない。
B適宜合同	演題があまりにも多くなりすぎて見きれない。
B適宜合同	演題が多く、広くなりすぎるため、毎回合同だと大変。
B適宜合同	演題が多すぎることで、内容がかたよるけいこうがあるが、他分野の研究も見たい
B適宜合同	演題が多すぎる時は別が良いと思いますが、それ以外は合同の方がメリットが多いと思います。
B適宜合同	演題が多すぎると聞くのが大変であるが、幅の広いテーマの発表も見たいので、適度なひん度での合同開催が良いと思います。
B適宜合同	演題の重複はやむを得ないが、3～5年に一度(わかり易い年度又は開催回数)にしてはいいか
B適宜合同	演題数が多過ぎ。学会を細分化しては？
B適宜合同	何回か、各学会で発表を行い、ある程度の成果を持って、合同にて行うと良いと思います。
B適宜合同	会が大きくなりすぎになるので、毎回合同でなくとも良い。
B適宜合同	会場によっては分散しすぎて移動が大変
B適宜合同	会場に入れない事があるので
B適宜合同	会場の関係(開催場所が限られる)と、演題が同じ時間帯に重複してしまい、知りたい情報を取りこぼしてしまうため。
B適宜合同	会場の規模、大会長の希望を踏まえて考えれば良い
B適宜合同	開催準備の負担を減らすという意味で合同開催を取り入れてもよいが(大規模会場の確保の困難さは理解出来る)、合同開催だけでは別々の学会の意味がなくなる。
B適宜合同	各学会に合った企画を立てられる機会も作れるから
B適宜合同	各年で開催を合同にするのがよい。毎回単独や毎回合同では別★会学にする意義や合同会★★のメリットがなくなる。
B適宜合同	各年の状況に応じて臨機応変に対応すべきだと思う。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	隔年ぐらいで丁度よい。すべて合同にすると存在意義がなくなる。ただし、毎年両方とも出席するのは負担が大きい。
B適宜合同	隔年で合同大会を開催
B適宜合同	学会を分ける必要性がない(どちらの分野も似ていて)
B適宜合同	学会運営予算を考慮しての上で
B適宜合同	学会出席が1度で済むのはAがいいが、大きくなりすぎ(単独でも大きいですが)も参加が大変。
B適宜合同	基本は分子生物学(遺伝子学)だが、たまに生化学的(タンパク質学)な話を聞くとより良いアイデアにつながる。
B適宜合同	基本的にどちらでも良いが、両方の参加は難しい。
B適宜合同	基本的には合同でOK。たまに独自★があっても良いのでは！
B適宜合同	基本的に別がよい。大きすぎて、まわりきれない。結果的にみ力的なものがみつけれない。
B適宜合同	既に大きすぎるぐらいなので、合同開催は時々でよいと思う
B適宜合同	規模が大きくて大変なので、時間割などタイト。内容が新しく情報が豊富なので、合同も隔年位でいいと思う。
B適宜合同	規模が大きくなりすぎに感じるため、単独のできるのであれば、単独にしても良いのでは。
B適宜合同	規模が大きすぎる為ノホテルがとれない
B適宜合同	規模が大き過ぎることによるデメリット(会場内での移動時間、宿泊場所の確保など)もやはりあるから
B適宜合同	規模が大き過ぎるとわかりにくくなるかも。(場所など)
B適宜合同	規模が無用い大きくなりすぎているような気がするため。しかし、何年かおきに、記念大会的に大きくするのは盛りあがりがあるがよい。
B適宜合同	規模に応じて変えるべき
B適宜合同	巨大になりすぎるとフォローしきれない部分が出てくる。反面一回で済むのなら楽といえば楽。
B適宜合同	巨大になりすぎると見たい演題がかぶる
B適宜合同	共同でよい面とあるが、あまり巨大だと硬直化する
B適宜合同	興味ある発表とかが時間の都合で聞けない。
B適宜合同	興味のうすいテーマが増えてしまわないか心配。数年~10年に1回でよい。
B適宜合同	近年は安易に合同にしすぎ、基礎系の生物学者が分子生物学会から離れつつある。
B適宜合同	偶には単独でコジマリと。
B適宜合同	研究者社会のあり方の違いを感じる→単独。こだわらない立場もあることは理解する。
B適宜合同	研究内容が集中できるので。会場の広さに対して参加人数が多く、混んでいる感じがした
B適宜合同	現行でOK
B適宜合同	現在のように、2年に1回合同で良い
B適宜合同	現在の状況だと口頭・ポスター演題総数が多すぎる。
B適宜合同	現状がちょうど良いので
B適宜合同	個々の独自性の発揮
B適宜合同	交流ができてよいが、大きすぎて見るのが大変。
B適宜合同	交流も必要
B適宜合同	広い会場を確保できる時合同でよい。→次回の京都や横浜など
B適宜合同	合同、単独、それぞれ、利点欠点がある
B適宜合同	合同、単独、各々一長一短があるであろう。
B適宜合同	合同、単独どちらにおいても利点があるから。
B適宜合同	合同・単独の差がわからない。
B適宜合同	合同がいいけれど、大会として大きくなりすぎるのも困る
B適宜合同	合同すると巨大になりすぎる
B適宜合同	合同だと、その分¥が高つく(会場代等)、日数もかかる。しかし、合同のメリット(他分野交流)もわかるので、時々合同がよい。
B適宜合同	合同だと一度に多くの発表を聞けていい反面、発表者の立場からは発表の機会が減ってしまう。
B適宜合同	合同だと運営が大変ではないでしょうか
B適宜合同	合同だと演題が多すぎなので、目を通すだけで大変
B適宜合同	合同だと開催地が、横浜か神戸にしぼられることが多く、つまらない。以前のように、名古屋や北海道での開催を楽しみにしている。
B適宜合同	合同だと規模が大きすぎる
B適宜合同	合同だと人が多すぎる
B適宜合同	合同だと大きい大会になりすぎるので、隔年や数年に1度でよい。
B適宜合同	合同だと大きすぎる。
B適宜合同	合同だと大きすぎる印象がありますが、たまには、いつもとちがったことも勉強したいです。
B適宜合同	合同ですと、他分野の話にも触れられる。
B適宜合同	合同ですることにはすごく賛成です。ただ、分子生物と生化以外の学会とも合同でする機会をつくる可能性を残すためには、毎回である必要はないと思う。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	合同でのみ、単独でのみしか得られないことが両方あると思うから。
B適宜合同	合同でも合同じゃなくてもいい。
B適宜合同	合同でも単独でも、それぞれの利点・欠点があるため
B適宜合同	合同でも単独でもどちらでもかまわないから。
B適宜合同	合同にしてしまうと、領域が多岐に渡りすぎてしまい、広く浅い学会になってしまう。必要に応じて合同程度で良いと思います。
B適宜合同	合同にしない代わりに口頭発表を増やし、自分の興味のある話をたくさん聞ける機会があると嬉しい。(2年に一度でも・・・)
B適宜合同	合同にすることで違った視点からの意見が得られるが、反して人が多くなるので自由な討論がしづらくなると思われるので。
B適宜合同	合同にすると、様々な研究分野の発表が見られてよい。しかし毎回合同にすると人数が多すぎて口頭発表にあたる確率が少なくなるので、たまにがよい。
B適宜合同	合同にすると演題が多すぎて、followするのが大変だが、両学会の垣根を越えて勉強できるので、数年に一度は合同開催もよい
B適宜合同	合同にするメリット・デメリットを考えると、何年かに1度合同するぐらいがちょうどいいように思えるので。
B適宜合同	合同にする必要が分からない為
B適宜合同	合同に関してこだわりがないから。
B適宜合同	合同のメリット、デメリットあるので、1年おきに合同するとかがいいと思う
B適宜合同	合同のわりに、会場が狭く、席がない。参加数に応じて合同に。
B適宜合同	合同の意義は分かるが交通手段、宿泊施設など混雑がひどすぎる
B適宜合同	合同の時は専門外の演題も聞けるので。
B適宜合同	合同の方が便利だが、必ず合同でなければいけないとも考えていないから。
B適宜合同	合同は4年に1回くらいでよいです。大きくなりすぎてプログラムがかわりにくい。自分の演題にふさわしい分野がわからない。見たいプログラムが重複する
B適宜合同	合同はよいが、それぞれの特色もあるため。
B適宜合同	合同は大きすぎる気もするが、片方にしか出ないことのメリットが合同で解消されると思う。
B適宜合同	合同は便利だけでも、人が多すぎてポスターを十分に見ることができない。口頭発表も混みすぎて入れないことがある。ときどき、別にやってゆっくり見たい。
B適宜合同	合同も単独も一長一短があると思うから。
B適宜合同	合同開催だと、分野が広がりすぎることがある。
B適宜合同	合同開催で、特に問題ない。
B適宜合同	合同開催で良いと思うが、地方の開催を視野に入れると、それぞれになるかと思う。
B適宜合同	合同開催は大きくなり過ぎて、観て回れない
B適宜合同	合同開催を適度にするので、違った角度からの考え方を学べるのでよい刺激となる。
B適宜合同	合同大会だと、演題数と人の数が多すぎる。ただ、合同大会を行う意味はあると思う。
B適宜合同	合同大会の方が分野は広がるが、全体的に雑然とした会になって、おもしろいセッションが少なくなる。
B適宜合同	合同大会は、人が多すぎて移動も大変。1日目のポスター会場はラッシュアワーの駅の様だった。
B適宜合同	合同大会は、大きすぎる。2～3年に一度が適当。
B適宜合同	合同大会は大きすぎるので2～4年に一回で良いと思う。
B適宜合同	合同大会を行う意義は生化学・分子生物学の両領域を集結することにあると考えているが、大会の大規模化は開催者・参加者の事務手続きを煩雑化するので、両領域ともに大きな進歩があった時に合同大会にするのがよいと思う。
B適宜合同	合同年会では、規模が大きすぎて散漫になるが、通常どちらかで定期的に発表するので、普段触れない発表(同じ分野でも)で、情報網が広がる。
B適宜合同	今の状況で問題を感じないので、継続できるなら継続してほしいです。一回分の参加費で2つ分の学会を見る(参加する)ことができるのは、お金の面でも助かります。
B適宜合同	今まで適切なのではないのでしょうか。
B適宜合同	今回の会長あいさつに書いてあります。
B適宜合同	今後分野間で違う方向性に進む可能性もあると思うので。
B適宜合同	財政的理由で合同開催なのは理解するが、いつも合同ならば、それぞれの学会の存在意義がうすれる。
B適宜合同	参加者の数が多すぎて、見れる演題がかぎられる。また十分な議論が出きない。
B適宜合同	参加人数が多くなりすぎるのは気になるが、他のバックグラウンドの視点で発表に対する質問が出るのは、有意義なことであるから。
B適宜合同	参加人数が多すぎて、話をじっくり拝聴できないから
B適宜合同	参加人数が多すぎる。移動が大変。複数か所見たい発表があっても移動に時間がかかってしまい不都合。
B適宜合同	参加人数やプログラムが多すぎると集中できない

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	参考になる発表や、普段聞けない発表にふれられる
B適宜合同	刺激になる
B適宜合同	私の研究室、名前には生化学がつくが、中身は分子生物学であって、どちらにも合はまる気がする。
B適宜合同	視野が広がる
B適宜合同	似ているようで異なる学会であるので、合同開催は1年おき、12年おき等でよい。
B適宜合同	時には、合同でやり、コミュニケーションを測るのがよいと思うから。
B適宜合同	自分には関係ないので単独でよいが、両方に所属する人も多いと思うので。
B適宜合同	自分の分野がどちらにもフィットするので。たまに合同の方が面白いので。
B適宜合同	重なる分野も多いと思うので。
B適宜合同	情報交換、共有のため
B適宜合同	状況に応じてよい。
B適宜合同	状況に合わせて。
B適宜合同	色々な分野か一度に聞けるから。
B適宜合同	深い議論と幅広い議論をこうにするのが良い。
B適宜合同	人の疾患と分子機構は連結させる場なのでよい。
B適宜合同	人数が多いと運営が大変だと思うので
B適宜合同	人数が多くなりすぎると開催できる場所が限定される。国際的な問題があるのでしょうか、日本は、日本の独自の歴史もある。
B適宜合同	生化学だから、関係ないと思っているものでも、合同で行っているなどの機会があれば、「見に行くか」、と思えるので！毎回あると見ようと思わなくなりそうなので、適宜。せっかくだからと思って行きます！
B適宜合同	生化学ならではの発表が少ない。発表が大すぎて、ききたい演題がよくかぶる。
B適宜合同	生化学の内容は普通は聞かないのでたまに面白いことがある(でも多くはピンとこないのだが...)しかし大きすぎるのでいつも合同だと少し困る
B適宜合同	生化学に傾倒している都合上、分子生物学系のポスターセッションが多いと行くあてに困る。一方、知らない分野への興味が湧くことが多い。ワークショップとか。
B適宜合同	生化学をやるには分子生物の手法が必要になっているから。
B適宜合同	生化学会について知らないの。自分で判断できないので。
B適宜合同	生化学会にテーマとなる分野も興味があるから。
B適宜合同	生化学会のみだと人も少なく、傾いているため。毎回だとテーマが広くて、あまり興味がもてなく、参加意志が薄れるため。
B適宜合同	生化学会のみにはフィットする項目があるため。
B適宜合同	全部見きれない...
B適宜合同	他の学会との共催も考えるべき。いつも生化学会と合同に★必要を感じる。
B適宜合同	他学会の人との公流はよいことだが、人数が多くなるのも問題。
B適宜合同	他分野などの情報により研究のシナジー効果が期待されるため
B適宜合同	他分野の研究を知るよい機会になる
B適宜合同	多くの分野の内容を聞いた方が知識が増えると思います。
B適宜合同	多くはかぶりますから、合同の方が運営費★等の節約になります。
B適宜合同	大きい大会は2年に一度で良い。
B適宜合同	大きくなりすぎて、フォローできないので、毎回でなくても良い
B適宜合同	大きくなりすぎて、日数などもあわせて、参加しにくい
B適宜合同	大きくなりすぎている。分野ごとの合同も良いのでは。
B適宜合同	大きくなりすぎます
B適宜合同	大きくなりすぎる。
B適宜合同	大きくなりすぎるから。
B適宜合同	大きくなりすぎるのも考えもの。
B適宜合同	大きすぎる
B適宜合同	大きすぎるが、逆に1回で済むというメリットはあるため
B適宜合同	大きすぎると収拾がつかない
B適宜合同	大き過ぎる。
B適宜合同	大会が大きくなりすぎているため、2~3年に一度程度がよいように思われる。
B適宜合同	大会が大きすぎる
B適宜合同	大会の規模の大きいものでは総説的な話をきける小さいものでは専門的な発表がきけるそれぞれの利点がある
B適宜合同	大会長の希望に沿うのが良いと思います。
B適宜合同	大規模すぎる。
B適宜合同	大規模であると参加可能なセッションが極めて限られる為。発表数の上限に適した規模に留められる様、調整される事が望ましい
B適宜合同	大規模になると問題もあるため

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	単体だと規模が小さい
B適宜合同	単独および合同ですべき理由が感じられない。毎回合同でするなら、いっそ学会も1つにすればよいと思う
B適宜合同	冬学会での発表数に差があったりするため
B適宜合同	同じような研究をしている分野もあるから。
B適宜合同	同じ会場で開催するときは合同にしてほしい。
B適宜合同	同じ学会ではないのだから、毎回合同というのはおかしい
B適宜合同	同時だと、ホテルがとれないことがある。
B適宜合同	特に「2年に一度」にこだわらず、合同でよいと思う。学会の交流はあった方がよいので。
B適宜合同	特にこだわりはない、ただし、会場が狭かったり、宿泊施設が確保できそうにない場合は分けてほしい。
B適宜合同	特に合同にする必要もないと思うため。
B適宜合同	特に合同開催する必要性を感じない
B適宜合同	特に自分の興味は分子生物学のみなので。
B適宜合同	内容がかぶる場合
B適宜合同	内容が全く同じではないため
B適宜合同	内容に幅をつけられる
B適宜合同	内容的には合同がふさわしいが、場所が限られ過ぎてさびしい。
B適宜合同	内容的には合同で開催してくれた方が金銭面や学会に費す時間などの面の負担が少ないが、規模が大きくなりすぎるため、人が多すぎて疲れてしまうという欠点がある。
B適宜合同	年によって時期がズレると・・・
B適宜合同	発見があるので。
B適宜合同	発表できればこだわらない
B適宜合同	発表機会が2回に分かれていた方がよい
B適宜合同	必ずしも合同開催する必要性のない分野もある
B適宜合同	必要に応じて合同に賛成
B適宜合同	普断見ない研究を見るのは刺激になるから。
B適宜合同	幅広い研究分野の話聞ける。
B適宜合同	分子生物と生化学の合同でも良いが、キーストンやゴードンのように、集中ランチを作っても良いのでは。
B適宜合同	分子生物も生化学も似たような分野であるため
B適宜合同	分子生物学＝生化学ではないので、毎回合同するのは困難ではないか。視点が異なる。
B適宜合同	分子生物学会については、単独でも合同でも印象が変わらない。生化学会とは
B適宜合同	分子生物学会にのみ参加しているが、合同でも単独でも大差を感じなかった。
B適宜合同	分子生物学会は他学会と共通のテーマも多くあるので、様々な学会と共同でもよいと思います。
B適宜合同	分生のもたまには聞いてみたい。
B適宜合同	分生の話もききたいので。
B適宜合同	分野、会員のオーバーラップが大きいと思うので、合同でよいと思う。
B適宜合同	分野が広範囲となり、参加人数が多くなる。事務局の都合もあるだろうが・・・
B適宜合同	分離し続けなければいけない理由が考えつかない
B適宜合同	聞きたいシンポジウムなどが無い時間帯ができてしまう場合があることや、分野が異なりすぎることがあるため。
B適宜合同	聞きたい発表や見たいポスターの日にちが分散してしまうので、長期間参加しなければならないから。
B適宜合同	別々に開催したほうが、参加の機会がふえる。どちらかに参加できる。
B適宜合同	別々の学会なので毎回合同である必要もないし、だからといって毎回単独開催である必要もなし。従って適宜合同。
B適宜合同	募集の多い時は、分ける
B適宜合同	毎回、合同だと規模が大きすぎて、発表を見づらい。
B適宜合同	毎回だとポスター発表だけでも数が多すぎてチェックしきれない。
B適宜合同	毎回だと人が多すぎて困るが、たまには分野外に触れることは重要と思う。
B適宜合同	毎回では規模が大きすぎる。ただ合同で、他分野の情報を得たい。
B適宜合同	毎回はうるさいのでたまにして。
B適宜合同	毎回リンクするテーマが表れるとは限らない。
B適宜合同	毎回行う必要性は感じないが、新しい領域のアイデンティティを知るのは、新たなアイデアの創造につながると思うので、数回に1回程度は合同が良いと思う。
B適宜合同	毎回合同だと、マイナーな分野だと選べるカテゴリーがないため
B適宜合同	毎回合同だと、人数がすごい数になる。何回か1回とかにすればいいとおもう
B適宜合同	毎回合同だときぼが大きすぎる
B適宜合同	毎回合同だと学会が大きくなりすぎる。今くらいのタイミングが良いのでは。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
B適宜合同	毎回合同だと主幹大学の所在地に関係なく人数が多いので横浜か神戸になってしまうので別々に開催するか合同にするかは主幹大学にまかせてもいいのではないかなと思う
B適宜合同	毎回合同だと大きくなりすぎるため、ききたい演題が重なったりするため。
B適宜合同	毎回合同だと発表数が多くて細部まで見て周ることが難しいため。
B適宜合同	毎回合同であると変化がないため。
B適宜合同	毎回合同ではないけれどもいいが、合同があった方が、いろいろな人の話、意見が聞けるため。
B適宜合同	毎回合同では学会が2つある意味がない。
B適宜合同	毎回合同では大きすぎるので聞きに行きたいが、見たい物が重なる(人が多く混雑もひどい)。しかし、両方の情報収集ができるという点で適宜合同が良いと思う。
B適宜合同	毎回合同では独自性がなくなる。
B適宜合同	毎回合同でも良いが、単独開催時の色々な試みを合同時に反映させるというやり方が良いのではないかな。
B適宜合同	毎回合同でやる必要はないが、たまにやる方が新鮮だから。
B適宜合同	毎回合同なら、1つの学会にすべき。毎回別々だと、同じ内容を、2つに出すものを、散見する。
B適宜合同	毎回合同にしたら、1つの学会として統合してしまう気がする。
B適宜合同	毎回合同にすると、研究分野が詳しく聞けない。分子生物学と生化学は関連が大きいので、少しは合同でやる意義があるから。
B適宜合同	毎回合同にするなら別の学会団体である必要性に疑問を感じる。
B適宜合同	毎回合同にするのなら、学会を統合してからにすればよい。各会の独自性を保つためには、たまに一緒にやるくらいがよい。
B適宜合同	毎回合同はきつい。
B適宜合同	毎回合同開催だと1回の演題数が多すぎる。
B適宜合同	毎回同じに開催するなら2つの学会の存在意義がないと思う。
B適宜合同	毎日合同だと新鮮味がない気がするし、毎日単独だと偏る気がする。
B適宜合同	毎年合同だと、会期が長すぎる。
B適宜合同	毎年合同にするなら生化学会の存在意義がなくなるのでは
B適宜合同	予算
B適宜合同	予算の都合をみて決めれば良い
B適宜合同	様々な研究内容を知ることができるが、毎回でなくても良い気がする。
B適宜合同	様々な分野の人が来る事で、質問などに幅がでるため。
B適宜合同	両学会に加入している方はAだと意味がない
B適宜合同	両学会に研究分野がまたがる場合、発表時期を選べるのは魅力的だが、分野がまたがらない場合、様々な分野に目を通せる事も魅力的であるため中庸がよろしいのでは？
B適宜合同	両学会に属する会員が多いのであれば合同が良い。
B適宜合同	両学会はゆるやかな関係を持つことが適当
B適宜合同	両者が扱う分野にかなり重複がある。
B適宜合同	両方の良さ、両方の悪さの中間をとる。
B適宜合同	両方へ所属する人も多いと思うから、合同にしたほうが合理的。しかし、独自性もあってよいと思う。
C毎回単独	4日間でこなせる量ではない。
C毎回単独	あまり大会事体が大きくなるのは望ましくない。
C毎回単独	かぶるとみれないものがふえる
C毎回単独	キボが大きすぎる。
C毎回単独	シンポ、ワークショップが多数あるわりには興味あるものがない時間帯ができたり、逆に聞きたいものがいくつも同時進行する時間帯ができたりしている。
C毎回単独	スケールを小さくして単独が良いです。
C毎回単独	スケジュールの過密により、聴講に難がある。ポスターを一通り見れない
C毎回単独	セッションが細分化されていない。オートファジーとアポトーシスが同じセッションに入るのはやや抵抗がある。
C毎回単独	そもそも学会として2つに分けなくてもよいように思います
C毎回単独	それぞれのエネルギーが異なる
C毎回単独	テーマが広くなりすぎる人が多すぎる。
C毎回単独	テーマの偏りを無くす為
C毎回単独	でかすぎて移動が大変。
C毎回単独	とくに合同にする必要はない
C毎回単独	どちらでもいい。
C毎回単独	プログラムが重くなる
C毎回単独	プログラム集が重い。
C毎回単独	一方だけでも十分に規模が大きく、内容も多様。合同だと規模が大きすぎて、移動もままならない。
C毎回単独	演題が多く広い会場が必要の為

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
C毎回単独	演題が多すぎて、まるでトランスクリプトーム解析をしている様です。データマイニングに失敗すると肝腎なものをのがしそう。
C毎回単独	演題が多すぎる
C毎回単独	演題が多すぎる。学会の日程が毎日変って不便。2010年は12月なのに2011年は9月だと短かすぎる。
C毎回単独	演題が多過ぎる
C毎回単独	演題数、参加人数が多すぎて、じっくり見て回ることができないから。
C毎回単独	演題数が多くなり、全て見るができない。
C毎回単独	演題数が多すぎて大変(単独開催でもかなりのボリューム)
C毎回単独	演題数が多すぎる
C毎回単独	演題多い
C毎回単独	会が大きすぎる
C毎回単独	会場がdiverseしすぎ。
C毎回単独	会場が広くなる
C毎回単独	会場の場所による。神戸はホテル探し、ポートライナーがネック。大混雑はかなわない。
C毎回単独	学会貴の二重支払いなどもある。だぶりで経費のかさみか無駄
C毎回単独	規模が大きい分、内容が薄まっている(ような気がする。)
C毎回単独	規模が大きく、移動が大変。要旨に目を通すのが大変。
C毎回単独	規模が大きくなりすぎている。
C毎回単独	規模が大きくなりすぎている印象
C毎回単独	規模が大きすぎて的がしぼれない、場所が広すぎて疲れる
C毎回単独	規模が大きすぎる
C毎回単独	規模が大きすぎる
C毎回単独	規模が大きすぎる。
C毎回単独	規模が大きすぎる。
C毎回単独	規模が大きすぎる。会場、交通機関が混雑
C毎回単独	規模が大きすぎるため、聴きたいシンポジウムがかぶることが多い。
C毎回単独	興味無い発表が半分。
C毎回単独	口頭発表数が少なくなる(採択される割合が下がる)ため
C毎回単独	合同だと・人が多すぎ・クロークが不足・コミュニケーションをとりにくい
C毎回単独	合同だとあまりに大規模すぎる。宿がない。
C毎回単独	合同だと人数が多すぎる
C毎回単独	合同だと発表議題が多くなりすぎる。
C毎回単独	合同で行える内容なら、学会自体統一すべき。
C毎回単独	合同なら学会も1つでよい。
C毎回単独	合同にすると規模が大きくなり過ぎる。
C毎回単独	合同にすると大きすぎて全体をは握できない。見たいものが重なることが多い。
C毎回単独	合同は演題が多すぎ、会場移動が大変。興味が両方にまたがる人は少ないのでは。
C毎回単独	合同開催にする必要性がない。
C毎回単独	合同開催は人が多くなりすぎています。はいりきれない会場がありました。類似したWS、シンポが重なり聞きたい話が聞けないことがあります。
C毎回単独	混雑しすぎの会場が多い
C毎回単独	混雑しすぎるため見たいポスター／聞きたい講演をあきらめないといけない場面がいく分かある。
C毎回単独	混雑するから、時間的にも厳しいスケジュール
C毎回単独	混乱する
C毎回単独	参加者が多すぎる。ポスターでさえ時間がたりなくて見れない。
C毎回単独	参加人数が多すぎ。セッション数は今くらい多くないと人がバラけないと思う。
C毎回単独	参加人数や演題数が多すぎる
C毎回単独	時間によって興味があるものがたよっているのだから
C毎回単独	自分の研究が生化学分野ではないから。
C毎回単独	宿がとれないことがあるので、単独開催にしてほしい
C毎回単独	常に合同にするなら、学会が合併すべき。
C毎回単独	色々な人が集まるのは良い点なのですが、規模が大きくなりすぎている気がするのだから
C毎回単独	人が多い
C毎回単独	人が多い、分野違くて一緒にやるメリットなし
C毎回単独	人が多すぎ(立ち見状態が多すぎ)
C毎回単独	人が多すぎて見るのもたいへん、宿泊、交通も大変。テーマも散漫になってしまう。
C毎回単独	人が多すぎて動きにくい。移動も見るときも。
C毎回単独	人が多すぎて目的の発表が見られなかった。
C毎回単独	人が多すぎる

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
C毎回単独	人が多すぎる
C毎回単独	人が多すぎる
C毎回単独	人が多すぎる。
C毎回単独	人数が多すぎる。
C毎回単独	人数多すぎです。
C毎回単独	人多すぎ
C毎回単独	数を減らす。
C毎回単独	生化学会2000題、分子生物学会4000題であり、合同にすると大きすぎて、とても見廻れない。
C毎回単独	生化学会の政治色をもちこんでくれるな。医者どもにかつてにやらせていれば良ろしい。
C毎回単独	生化学会の良さが消えてしまっている。
C毎回単独	専門分野の発表の数を増やして欲しいから。
C毎回単独	他分野の研究内容が多すぎて、自分の研究テーマに関連する発表が少ない気がするため
C毎回単独	多くて、会場移動も大変
C毎回単独	多くなりすぎる
C毎回単独	多すぎて大切なものを見落とす。
C毎回単独	多すぎる
C毎回単独	多すぎる。一緒にやるメリット分らない。
C毎回単独	多すぎるため。
C毎回単独	多すぎる参加者を減らすためには単独開催が適切。
C毎回単独	大きくなりすぎるから。
C毎回単独	大きくなりすぎるため
C毎回単独	大きくなりすぎるため。
C毎回単独	大きすぎ。
C毎回単独	大きすぎ。チャンスを増やすより多様性のある大会にすべき
C毎回単独	大きすぎで十分回れない。
C毎回単独	大きすぎます
C毎回単独	大きすぎる
C毎回単独	大きすぎる。分散しすぎている
C毎回単独	大会が大きすぎて集中できない感じがします
C毎回単独	大会が大きすぎる。人が多すぎ
C毎回単独	大規模すぎず
C毎回単独	単独にして日程を短くしては？4日間は長い
C毎回単独	同様主旨のシンポジウムなどが同時間で別会場になっている
C毎回単独	内容がほぼ同じ
C毎回単独	日程が長くなりすぎる
C毎回単独	年会が大きすぎる。
C毎回単独	年度によって参加可能な時期が異なる。例えば“生化学会9月、分生12月に固定して頂けると、年度により発表・参加の目標を選択できる
C毎回単独	発表、情報★等とも機会が多い方がよい。校務と重なって参加できないことが多いので
C毎回単独	発表が多すぎる
C毎回単独	発表が多すぎる
C毎回単独	発表の機会がふえるから。
C毎回単独	発表数が多く、十分議論できない。
C毎回単独	範囲が広すぎる(ポスターが大変)
C毎回単独	必要を感じないが、特別な場合は可。
C毎回単独	部分的に他学会とオーバーラップするのは当然。その中で学会としての独自性を追求すべき。合同は大きすぎる。
C毎回単独	分子生物学会と重なる学会は生化学会だけではない。合同してメリットがあるのは生化学会の会員だけだと思う。
C毎回単独	分子生物学寄りの発表が多く、興味のある生化学の発表が少なかったため。
C毎回単独	分生と生化で時期半年ほどずらすと調度よい。現状は単独でも時期が近すぎる。
C毎回単独	聞きたいワークショップ、ポスターを見つけるのが大変だから。
C毎回単独	膨大すぎて結局狭い分野の集合体になっている気がします
C毎回単独	本来は、生化学会を分子生物学会が合併し、1つの学会となり、年1回の大会を開催すべきと思いますが、学生の研究の進行上、2回学会がある方が発表しやすい。
C毎回単独	毎回合同にするなら学会も合併すべき。

質問5-3 質問5-2の理由をご記入ください

質問5-2回答	
C毎回単独	両学会は設立の経緯や雰囲気の違いがあると伺っています。現在、更に小さな領域(研究分野)での学会や研究室が増えている状況であり、両学会が合同して大きくなりすぎること、逆に存在意義が下がることも考えられます。
C毎回単独	類似するが異なる分野、考え方だと思う。同時開催だと大きすぎて、内容がうすくなる。
A毎回合同/B適宜合同	A+B
A毎回合同/B適宜合同	分けるとどうなるのかわからないから。
A毎回合同/C毎回単独	かつて両学会に入会していたが、合同開催が多いため、現在は生化学会のみに入会している。毎回単独開催になるなら分子生物学会に再入会したい。両学会がこのままであり続けるなら毎回合同にすべき。
B適宜合同/C毎回単独	2大会合同だと、広い会場が必要であり、会場間の移動が大変。開催地が偏り、面白みに欠ける。
無回答	経済的には合同が好ましいが、運営上の問題点(場所など)を考えると単独にすべき
無回答	合同かどうかは、気にならない。
無回答	合同であつたり、なかつたりするのが一番ダメ(今の状況)。混乱の元。
無回答	合同で十分だけど、演題多すぎて、疲れたり、聞きたいの被ったりするのが、不都合を感じる。
無回答	合同開催を続けるのであれば合併も検討していただきたい。
無回答	参加費安くなるならよし
無回答	毎回合同なら、学会を統一すれば良いのでは？

質問5-4 日本分子生物学会年会・日本生化学会大会の合同開催について、その他自由記述

質問5-2回答	
A毎回合同	・合同大会を強く希望します。
A毎回合同	11月開催にして欲しい。12月はいそがしい。
A毎回合同	12月に1回だと学生も発表しやすい。
A毎回合同	12月以外の月★開催にできませんか？企業からは参加しにくいので。
A毎回合同	2つの学会の統合
A毎回合同	2つの学会を1つにすることはムリでしょうか
A毎回合同	2学会が別々にある先進国はありません。日本のみと思います。
A毎回合同	4日間は長いながくするのであれば、もっと分野毎にまとめて日程をくんでほしい。ほとんどの場合遠方になるので・・・。
A毎回合同	Talkの数を少し減らして1人あたりの発表時間を少し長くしてほしい。
A毎回合同	ただし、ホテル予約や交通混雑が大変。
A毎回合同	プレス参加についてですが、感謝しております。
A毎回合同	ポートアイランドは交通の便が悪い。別の会場で行った方がよい。
A毎回合同	ポスターのスペース(巾90cm)が小さすぎる。一昨年のワールドホールが広いので、そちらを使う方がよいかも。
A毎回合同	ポスター会場せまい
A毎回合同	一般会員の立場からはただでさえ学会が多すぎるので分生と生化学会は合同合併してもよいと思います
A毎回合同	英語化も必要かとは思いますが、学生等発表の機会が減り、質問もしにくくなる。あるいは、理解できないことが多くなるのでは？基礎的な知識はやはり日本語の方がはやりやすいと思いますが・・・。
A毎回合同	横浜、神戸以外でも開催を検討してほしい。
A毎回合同	横浜で開催してください
A毎回合同	可能であれば、毎回合同開催が望ましい。
A毎回合同	可能なら学会自体も統合してほしい。もしくは両学会の会員になると会費を割引するなどのサービスがほしい。学会事務の一部を連携すれば何とかなる・・・かもしれない。
A毎回合同	会場が遠い(広い)。複数個のセミナーを開くのが困難。トランスポートーションも悪いし、ホテル設備もよくない。食事もとれないし、ポートピアはもうやめたほうが良い。横浜が最適
A毎回合同	会場が少し狭かった。PCの予備も準備して欲しかった。
A毎回合同	開催時期を9-10月にする
A毎回合同	学会に日程をとられてしまうので今後生化学会、分子生物学会は合同で行うことを望みます。総会は別日程で別会場にすればよいでしょう。それからオンライン事前会議も考えてみては？登録するためには(既会員の場合のみ)議決等に参加するなど。それから生化学会、分子生物学会の分科会についても両学会に連絡しあえるようにしていってもらえるとよいと思います。
A毎回合同	学会の時期は12月がよい。秋になると、多くのM2が発表できない。
A毎回合同	学会を統合すべきである
A毎回合同	学際的、領域融合的学問の発展こそが、創造的な新たなサイエンスを開いていくと思われま。
A毎回合同	学生には、つたなくてもよいので強制的に英語に慣れさせることが必要だと思う。ただし、周りの先生方、座長らの理解が不可欠。時には座長が質問を和訳してあげるとか。
A毎回合同	完全に合同を希望
A毎回合同	研究者の交流のためのpartyがあってもいいのではないか。
A毎回合同	広く浅いので、のめりこめない。
A毎回合同	合同にした場合に、シンポ等ふえる分、会期を長くしてでも重なるプログラムを減らした方がよい。
A毎回合同	合同のほうが活気があってよい
A毎回合同	合同開催について、会長、会頭のみで決めるのではなく、全学会員の意見を反映させてください。
A毎回合同	国際化を考えると英語化を進めるべきと思うが日本語の方がやはり直感的に入りやすい。欲をいうなら英語、日本語両方あると最高
A毎回合同	懇親会を開いた方がよい(理由:他分野の研究者と会えるように)
A毎回合同	細胞生物学会との合同でもよい
A毎回合同	私の分野は生化学には関係なく分子生物に近いが、せっきゃくこれだけ大きく分野をカバーする学会であるならば、可能な限り広く分野をカバーした方がよい。このようにこれだけ大きい学会のメリットは、この機会に分野外の話あるいは近い分野だが、ふだんはあまり聞かない領域の話や、勉強するというものだろう。とすれば英語でなく日本語で垣根を低くした方がよいと思う。(専門家が自分の専門の分野の話を深くつっこむ場というのは、もっと小さな専門学会であろう)。
A毎回合同	時間がかぶり、見れなくなるのが、でてくるのが残念。
A毎回合同	若い研究者や学生さんには広い範囲の発表に目を向けてほしい。学問の動向が時代とともに変わってきている。両学会の差は大きくなく、オーバーラップさせることにより、広い知識の修得や、ネットワークづくりに役立つと考える。

質問5-4 日本分子生物学会年会・日本生化学会大会の合同開催について、その他自由記述

質問5-2回答	
A毎回合同	若手教育の時のアンケートをボタンで答える時、答えが出るまで時間がもった云ない。その間にいろいろ意見を出したり等、ただ待っているだけでは時間のムダだと思った。
A毎回合同	出張旅費が少ないもので・・・Symposium、workshop、ランチオンセミナーを増やして欲しい
A毎回合同	春と秋の2回合同開催はあってよい。3月 10月 or 夏と冬 7月 12月
A毎回合同	春季、秋季の年二回開催が望ましい。そして演題数もだいたい均等にすることを目指した方がよい。
A毎回合同	将来的には学会組織も1つになった方がよいと思う。
A毎回合同	神戸・京都・横浜以外の地での開催を希望したい
A毎回合同	神戸と横浜以外でやって下さい
A毎回合同	神戸の学会での企業ブースの数が少ない。
A毎回合同	是非毎回合同にして下さい。
A毎回合同	絶対に合同にするべき！
A毎回合同	全英語化は反対。(シンポジウムetc)→日本語でも十分な議論ができていない状況なのに、英語になるとますます発言する人がへってしまうおそれ有。
A毎回合同	早く合併して下さい。あと国際化が中途半端。シンガポール、中国に負けるな。
A毎回合同	大きすぎるという欠点はあるものの、合同大会の方が盛況だと思います。
A毎回合同	大きな会がよくないと思う人たちは別途、小さい会を作ればよいと思う。少し違う分野の発表も聞けて、たまにヒントになります。
A毎回合同	大会が大きくなりすぎて、特色が消えてしまう感じがあるのは少しさみしい(すでにそうなってしまうが)
A毎回合同	単独だと、研究者の少ない分野の場合、内容、傾向が決まってしまうので、新鮮さがない気がする。活性化には他の分野の人との交流が必要だと思う。
A毎回合同	単独に開催するならば、お互いに半年位の間、離れた時期に設定するのも良いかもしれない。研究speed↑な時代なので。
A毎回合同	昼の空き時間の調整(ポスターにあてるなど。)
A毎回合同	特に無し
A毎回合同	発表している人々は両学会の違いなどはほとんど気にしていないと思う。
A毎回合同	発表演題の締切、延長後の締切、late breakinkgの締切で、どのくらい演題数が増えているのか、公開してほしい。
A毎回合同	発表内容を審査した上で採択してもらいたい(発表総数を減らしてもらいたい)
A毎回合同	分子生物と生化学は関連性はあるので、説明はどちらも兼ねていて当然ですが、生化学会と分子生物学会の区別や、差異や特色を知りたいところもあります。
A毎回合同	分子生物学会と生化学会は合同で英語化した大会を開催し、アジア、オセアニアの研究者の参加を促す。これらの国からの学会入会者には、無料でGenes to Cellsを配布する。そうすれば、論文投稿の増加も期待できる。
A毎回合同	分子生物学会と生化学会を早期に合併すべき。学会費がムダ
A毎回合同	分生は英語化を進め、生化は日本語をメインにするなど、差別化してもよいかもしれない。
A毎回合同	分野が細くなっている現在、分野のきちんとした分け方があいまいになっていると思うから。
A毎回合同	分野が細分化している中で、下手な英語での発表は非常に聞きずらく、理解されない。相互理解と論議という学会の本来の姿が失われてきている。
A毎回合同	分野に重複が多く分ける意義がなくなってきた。同じような内容の学会の両方に参加するのは負担が大きい。
A毎回合同	別開催にするなら、関東、関西、東日本など、日本のエリア別にすべき。
A毎回合同	別々に学会を行うなどは研究者の都合を考えない上層部のエゴである。65才以上は学会から排除すべきである。
A毎回合同	別々に行う意味がない。
A毎回合同	無理かもしれないが、神戸、横浜はもうあきました。
A毎回合同	来年は別々なのはなぜ？
A毎回合同	両会員には何か特別な待遇をとるべき。(参加費の半減など)
A毎回合同	両学会の英文雑誌JBとGene to Cellも合わせてもっとインパクトファクターが上がるようにした方がよいのではないかと思う
B適宜合同	A. 毎回合同では、学会が別れてい意味がない。規模が大きすぎて見れないものがでてくる。C毎回単独ではおもしろみがない。このことから中間のB. 適宜合同を選択。
B適宜合同	webでかなりの情報が集まり、長期間学会に出る必要性が少なくなった。学会に出ることの利点に満ちたプログラム編集を行ってほしい。
B適宜合同	シンポは、自由応募とすること！
B適宜合同	セッションの会場について、スライドがイチャが小さい、低いので、うしろにすわると見えない。
B適宜合同	ただでさえ大きな学会★合同開催で規模が大きくなり過ぎた。分科会のような形で、細分化も検討した方がよい。
B適宜合同	ポスターの関連分野がまとまりすぎて聞けないものが多い。
B適宜合同	ポスターの時間がおそい。

質問5-4 日本分子生物学会年会・日本生化学会大会の合同開催について、その他自由記述

質問5-2回答	
B適宜合同	もうちょっと会場規模も考えて、演題をしぼることに考りよすべき。生化学、分子生物と全く関係ない演題だってある。
B適宜合同	もう少しお昼を自由に食べられる場所が欲しかったです。
B適宜合同	横浜・神戸以外での開催希望
B適宜合同	会場のふりわけかたを工夫してほしい。
B適宜合同	近年は分子生物学と生化学の境界線があいまいになっている。学会組織自体の発展的再編成もありなのかもしれない。
B適宜合同	区別する理由がわからない。
B適宜合同	口頭発表と、ポスター発表は、同日の方が良いと思います。興味が沸いても、ポスターが終わっていたということもあったので…。ご検討下さい。
B適宜合同	口頭発表の数を少なくして1人あたりの時間を長くしてほしい。
B適宜合同	合同が望ましいが、4日間では見たい内容(シンポジウムやトーク等)が、同日同時刻にカップリングしてしまい、見のがしてしまっている(今回は)。
B適宜合同	合同になるにつれて分子生物学会の「自由さ」が失われている。
B適宜合同	今まで完全に分離していた分野にゆがみや接点がみられ、学際性と広げるという意味で適宜合同会★する意味はある。
B適宜合同	座るところをもっとポートライナーがこみすぎる。要バスやと思います。
B適宜合同	参加費が高い。
B適宜合同	若い人の発表できるwork shopをふやしてほしい。
B適宜合同	将来的には合併した方が良いのではないかと思います。
B適宜合同	神戸と横浜多い？
B適宜合同	地方大学から年2回出席するのは難しい。院生の旅費などの負担は軽い。
B適宜合同	昼休み時間をもっと短くして、口頭発表数が増えると良いと思います。
B適宜合同	日本の学会なのだから日本語のみの発表、要旨集にした方がよい。特に要旨集は日本語でないといけない。
B適宜合同	半年ずつに分けるとか？
B適宜合同	部屋が狭い会場があり、この大きさの学会では、きびしい。→部屋の外にモニターといすを設置してはどうでしょうか。
B適宜合同	部屋のわりふりが適切になされるようにしてほしい。本日、がんのセッションでは席が足りずに人があふれていた。
B適宜合同	分生の方が雑？
B適宜合同	分生単独の方が、分野横断型シンポジウムや新分野のシンポジウムが多く、楽しめる。
B適宜合同	留学生をつれて来たが参加できる発表が少なくて困っているディカッションはともかく目に触れる言語は全て英語化すべき、このアンケートが日本語であるのも問題。
B適宜合同	両学会の融合・合同を考えるべき。合同開催はそのあと。
B適宜合同	類似学会(細胞生物学会など)とも合同にして頻度を3-5年に一度にしてみたいか？
C毎回単独	・1つの研究室の発表数を厳選し、口頭発表の機会を増やすべき。横浜と関西だけでなく、福岡、金沢、仙台等地方都市での開催を復活すべき。(地方の経済活性化にもなります。)そのためにも、広い会場が必要なポスターは縮小した方がよい。・分子生物学会は、年回のために会費をとっているようなものですが、生化学会と合同の場合、かなり得をしていると思う。合同の場合、生化学会と分子生物学会両方に加入している会員の場合、両会参加費を安くするか、せめて学生会員の参加費を格安にすべきと思います。
C毎回単独	ここまで大きな学会になると、個別の分★会にして1年間で分★して開催した方がよいと思う。
C毎回単独	それぞれの学会はそれぞれの考え方のもとに作られ発展してきた、基本的に合同する理由はない。
C毎回単独	ポスター会場が狭く感じました。
C毎回単独	もう少し内容をしぼるべき(タイトルと内容が一致していない。内容がそこまで到達していないもの(特にポスター)が見られる)。学生の練習台みたいなものが多すぎるのはいかがなものか。
C毎回単独	演題数と会場数が複雑にからまって、スムーズよく参加できない
C毎回単独	会場全体図をけいじしてほしい。
C毎回単独	学生からも少額で良いので金をとるべきである。神戸開サイだけでなく東京でも希望
C毎回単独	合同大会は5年に一度位でよいのでは。合同するなら学会ごと統一すべき。でなくても何か優ぐう(2重の時は安くするとか)すべき。
C毎回単独	参加人数が多すぎるので一緒にしない方がよい
C毎回単独	私にとっては、人が増えても聴くべき発表は増えていないので、不便になっただけ。シンポジウムやワークショップの会場に入れず、聴きたい発表が聴けない。
C毎回単独	非会員参加の待遇が非常に悪い。プログラム別売は不当だと思う。
C毎回単独	分野毎に分生と生化学の大会を分けられたい。
A毎回合同/B適宜合同	5日間に増やすか、夜の時間をもっと長くして口頭発表数を増加させてほしい。フォーラムもおもしろいものがあったのでlanch timeなどを利用して増やしてほしい。

質問5-4 日本分子生物学会年会・日本生化学会大会の合同開催について、その他自由記述

質問5-2回答	
A毎回合同/C毎回単独	両学会が1つになるなら、早く結論を出してほしい。2つの学会から会費をとり、合同開催が続く今の状況は異常である。
無回答	両学会に所属している人にとっては、毎年合同だと、せつかく年会に払ってるのに……。ってことになるし、学会が合体するなら、その方がよい。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※	会場間をもう少し近くしてほしい。
※	シンポなど、よく計画されている。
※	別の分野についても聞けたのでよかった
※	一般口頭発表も全面英語化すべき。混ざっているとやりにくい。
※	部屋から部屋への移動が大変。
※	ポスターを貼るスペースが狭そうだった。
※	ポートアイランドは交通、会場間の移動などの面で横浜に比べて見劣りしてしまうと思う。Yahoo!ドームでの開催を希望します。(2005年分子生物学会のように)
※	シンポジウム、ワークショップ、わかりにくい分野が多かったです。
※	2日目、午前中の14番会場は、狭すぎた。入れずにあきらめた人も多いのでは？
※	東北でやってほしい
※	よいと思います。学会の懇親会をやはりすべきでは。
※	昨年と同様のシステムで要旨などをかんりしているのに参加ヒが同額はおかしい
※	ポートライナーの混雑緩和を図ってほしい。
※	ともかく大型化しすぎであり、緩慢になってしまっているのが残念である。
※	・クロークは大会終了後しばらく開けていてほしい。・出勤時間と重ならないよう、10時から開始にしてほしい。
※	日本におけるタンパク質結晶学の位置付けが、理解できました。
※	4日は長い。
※	ポスタ会場の出入り口がせますぎる。会場が広くてまよう。ランチョンセミナーの全体量が少ない。弁当売ってほしい。トークの会場の広さにくらべてスクリーンが小さく見えない。
※	特になし
※	インフォマティクスが少なく思える
※	横浜、神戸以外でもやってほしい。
※	47都道ふ県ですべてかいいさいすべき
※	神戸は毎回感じるが、スクリーンが大変見づらい。せっかくの発表スライドの半分は人の頭で見ることが出来ない。
※	会場の数が多すぎて分かりづらかった。
※	毎回合同にするなら、年会費を↓して欲しい。
※	神戸の会場はアクセスが悪いです。ポートライナーは人が多すぎて事故が起こらないか心配。
※	・お昼に展示会場前に露店が出ていたのがたいへんよかった。・要旨の検索で、検索結果のリスト全てを一度にmyabstroit(myschedule?)へ入れられるボタンが欲しかった。
※	ポスターパネルの幅、となりのパネルとの距離が小さくて発表しにくいと感じました。次回は改善をお願いします。
※	時期はちょうど良い
※	毎年合同でやって下さい
※	英語化について: 大多数の参加者の母語が日本語であるのならば、日本語で議論するのが当然のことであると考えられる。せっかく多くの研究者が集まって情報交換ができるチャンスであるのだから、深い議論をするために、母語を使うべきだと思う。日本語が話せない、理解できない参加者のためには、スライドを英語にする。注目度の高そうなレクチャー、シンポジウム等には同時通訳者を呼ぶなどで対応するのはどうか。
※	ポスター会場2Fのポスター列間がせまい。間のイスはいらない。
※	発表の声が小さい。後から見づらい。
※	2日目午前について言うと、ほとんどの部屋が立ち見で席がたりなかった。
※	LANの使い勝手が悪い。会場に入ればWepkeyなしでつながるようにしてほしい。(米国の気の利いた学会はそうなってます)会場によってはスクリーンが低く、うしろからは見えない。
※	口頭発表の席がつまりすぎ、マイクから遠いため質問できない。席が斜めにはなっていないのでスライドが見えない。
※	大変よいと思う
※	全体的に良い印象
※	・休けい場が少ない。・きちんとした喫煙場所を確保してもらいたい。
※	通勤時間と重なると交通が混むので、少し遅めにスタート(10時頃?)出来ればと思います。
※	最近ではテーマが多くなり、「分子生物学」が何なのか分かりにくい。生化学の方がまだ特色がはっきりしている。
※	勝手なお願いです。是非また神戸で。
※	会議室でのスライドが低くて見づらかった。
※	会場間の移動がたいへん
※	神戸は交通の便がポートライナーのみに頼りがちなので(バスもあるけど)、横浜など、複数の交通アクセス可能な場所が良い。
※	ワークショップの人数がいつもより少なかったためか、ゆっくり聞くことができ良かった。しかし、その分学生などの若手が話せる機会が減っているようで残念。
※	形式先行の英語化には反対。国際化を目指すのか、若手の教育のための英語化か。英語化する目的、意図をはっきりさせた上での英語化なら賛成。
※	若手の発表の場を増やすべき
※	きがえる場所ってありますか？

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※ 特に無し
※ 部屋によって混雑度合に差があるが、部屋の広さがそれに適していない。多くの立見が出ている状況は改善してほしい。
※ 運営がスムーズで良いと思う。
※ 継続的に合同に向けて努力されたい。
※ 大変お金がかかってますね。
※ おもしろいと思います。
※ 人が多すぎる。
※ 無料で使用できるPCの設置をして頂けるとより良いと思います。
※ ポスター会場について。1階はポスター間の移動がスムーズに行えたが、2階は狭く、移動が困難だったのが残念だった。
※ 活気があり、大変良いと思う。
※ 他の場所でも(正直あきた)
※ 午後のシンポ、ワークショップをもっとふやすべき。
※ 演者、座長には時間厳守を徹底して下さい。すでに超過しているのに質問をあおるのは進行役として不適切。演者も喋りたいことをダラダラと続けているのはみっともない。最近の学会で特に目立ちます。
※ 発表会場がせまい。立ち見が多すぎる。
※ プレゼンテーションのしかた、プレゼンテーションマテリアルのつくりかたを勉強してもらいたい。(見づらい)部屋の広さと参加者の数の予測はどうしていますか?(立ち見が多かった)
※ 神戸の会場はとても雰囲気が良い。毎年ここでも良い。ちなみに私の職場は東京。
※ よかったです。
※ 三宮のポートライナーが混みすぎ
※ 戸外にレリバリーがあるのは良いと思う。バッテリーチャージが出来るスペースが欲しい。要旨公開がWEBのみであれば、なおさら。
※ ランチョンがあふれすぎている。会場の立見が多い。
※ 大部分の参加者は日本人なので、理解し易い日本語で行うべきだと思う。
※ ランチョンセミナーでは昼食の数が限られているので、全員がランチョンに参加できる訳でもない。このため、午前のセッションと午後のセッションの時間に3時間も空きがあり、非常に無駄な時間が多いと感じた。
※ ポスター会場の配置がせまく、人が混雑して十分なディスカッションができない。以前の配置に戻すべき。
※ ポスター会場が混みすぎ。
※ ・会場の場所が不便だと思いました。・朝が早いので、売店とか朝食をとれるとうれしいです。
※ 休憩スペースを増やしてほしい。
※ 良かった。国際会議場は遠いので、近場でコンパクトにならないものか?
※ 大会長の谷口先生ご自身の発表(若手へのメッセージでもよいので)何かしら講演があったらよかったかなと思います。
※ キボが大きすぎる
※ 分生、生化学会は他分野の話を聞く良い機会なので、英語化はやめてほしい。英語化は各分野の学会でやるのが良いと思う。
※ 交通手段に限られるのが少し不自由でした。
※ 年々学会内容が面白くなっています。つまらない。
※ 無線LANがつながるのが大変ありがたい
※ マイスケジュールでセッション一括登録はあったが、一括削除がないので追加して欲しい。(一度で大量に削除できないと誤入力した大変)
※ 自分の専門とする分野以外も見たり聞いたりすることができる機会なので、全部英語だと、せっかくの機会が無駄になると思う。
※ ・クロークの収容能力を大きくすべき。・ポスターサイズを大きくすべき
※ 会場が広くて移動が大変。スクリーンがとても見にくい。小さい。人が多すぎて見れない発表がありました。
※ 日本語での発表が多い方が良いです。(理由)分野の離れた内容を英語で理解するのは大変なので。
※ 昼間の時間に余裕があるのは大変ありがたいです。その分夜が遅くなるのは困りますが・・・演題数が多過ぎるかと思います。
※ ・ぜひワイヤレスマイクして下さい。・スピーカーと画面が離れている会場が多いです。
※ 午前と午後のセッションの間が長すぎる!
※ テーマや規模など適切で楽しいです。
※ 会場内、会場までの移動が不便だった。混雑していた。
※ 分生に生化学のみこまれた。
※ 事前登録のしめ切が早過ぎる。要旨が確認できないのが不便。(ex、もっと遅くまで登録可、要旨閲覧可にし、参加証は現地でピックアップとか)
※ 部屋割りが適当でなく、聴講希望のセッションに入れられないことが多く不満である。
※ ポスター会場はもっと広い方が良し。free spaceで欲しい(体育館は使えなかったのでしょうか)
※ 大きすぎる
※ ぜひ合同大会でお願いします。
※ 少しポスターの数がへったのかなと思いましたが、例年どおり、とてもよくオーガナイズされていると思いました。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※ 演題数が多く、会場が広い為、移動が大変。イスの間隔が狭い。
※ 初めて参加したのでよく分からない。
※ 時間が空きすぎる。午後のsessionは、せめて14:30ぐらいにすべき(ランチュンが長くなるのなら(13:00までとか))
※ posterか
※ ポスター発表の時間とフォーラムの時間が重なっていたのが残念だった。参加したいフォーラムがあったけれど、ポスター発表があったため、行けなかった。
※ ポスター会場が2ヶ所にまとまったのは移動の手間がなくて良いが、ポスター同士の横の間かくが狭く、ディスカッションがしづらかった。
※ おもしろかった。
※ 会場がバラバラわかれているため、移動に時間がかかってしまうのが残念でした。
※ 分野が広く楽しめた。
※ 発表申し込みが早すぎる
※ いろんな分野の研究者が一同に会するのでとても良かった。
※ 外国人スピーカーがいないのに、英語での質ギは意味がない。日本語で的確な応答をした方が、中身の濃いディスカッションができる。
※ 会場内が遠い場合がある。聴きたいものが多いため、移動しているが、展示場だけ離れているため、短時間で移動できず困る。
※ 少し規模が大きすぎるのではないかと思います。
※ 人が少く、Discussiwも活発とは言えない
※ 一般口頭発表は若手の良い発表がたくさんあるのに、一題あたり8分は短いと思う。演題数を少なくするか場所を増やして、時間を少なくとも2倍にすべき。8分では質問も出ないので討論にならない。
※ 外国人の参加者にも、内容が理解できるよう英語でのプレゼン(口頭・ポスター共)となっていますが、正しくない英語が使われているので、かえって発表内容がわかりにくくなっています。何を言っているのか(何を言いたいのか)全くわからない発表もありました。プレゼン言語の英語化は学会年会の格を上げるどころか、逆に質を下げる結果となっているように感じます。国際学会ではないので、あえて英語にこだわる必要はないと思います。
※ ある会場では、slideの下部分を見れないときありますので、slideを高めになったら、どうでしょうか。(私のような背が高くない人は、後の椅子に座ったら、見えません。無視ですか?)
※ 昨年よりも盛り上がっていて良かった。PCTラブルに対応している業者の人がノロノロしていてダメだった。
※ 会場が良かった。
※ Peter nalterに会えたのはとても喜しかった。
※ モノレール毎回混みすぎ。臨時の券売コーナーを設けてほしい。招待講演を増やして欲しい。
※ 大会専用のシャトルバスなどがあれば良かったかもしれない。ポートライナーだけだと朝の通勤ラッシュなども重なって三宮駅が混み合って聴きたい演題に間に合わなかった。
※ 楽しむことが出来た。
※ 仕事の内容が7~8割は重複するので学会も含めて合同するのが良いと思われる。
※ 植物研究を行なっている力のある研究グループが、年々参加しないようになっていく感じがします。generalな学会として動物以外の研究発表をプロモートするようなことも考えて欲しいと思います。
※ 要旨集を印刷できるようなサービスが欲しい(有料でもいいので)
※ 神戸は不便。横浜がよい(又はお台場など京浜港岸地区)
※ 一般ポスターからの口頭発表者の時間をせめて20miぐらいほしいIRef. ASCB
※ 規模が大きいため仕方がないとは思いつつも、演題登録切が早すぎる。
※ ポスターの間隔が狭く、やりにくい
※ 演題は充実しているが、植物関連の演題が少なかったように思える。(例年よりも)
※ 会場が分散していて移動が大変
※ セッションのタイトルがわかりにくい。
※ 予想は難しいかも知れませんが、会場が狭すぎた場合があった。(IW18-Pや2W2Iなどの「面白い」セッションで特に)
※ 交通の便が少し不便。
※ 会場までのアクセス、と会場の分散がかなり苦痛。
※ ・交通手段のなさが問題。集中しすぎで移動的に大変(ポートライナー)・バイオテクノロジーセミナー数を増やす。(時間内に引きかえに行ったのに、すでにチケットが無かった)。参加数に対して少なかったのでは?
※ 開催日に休日、祝日を含んでほしかった。
※ 他の学会のように、事前登録後に、ランチュンセミナーの予約ができるようになると便利だと思う(朝早く出てこなくて済む。)
※ まんねり
※ 東京でやって下さい。
※ 屋台はうれしかった。他は例年通り、よかった。
※ 日程的に同じ日に集中しているため、ポスター発表と聞きたいポスターがかぶっていたので、均等に分けたほうが良いと思う。
※ 2008に比べ、ポスター会場がコンパクトになったので見て回るのが楽になったのは好印象
※ 若手用のシンポジウムをもっと増やすべき

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※	合同大会の開催地で市民講座を開けないのは何故でしょうか。折角全国から集まっているので、神戸でやって欲しい。
※	教室がいっぱいで入りきれないときが何度ありました。Ustreamで中継とか、You tubeで後日配信とかできないのでしょうか・・・
※	当日参加者にもプログラム集を無料で配るべき。事前登録では参加費も安く、プログラム集も配られる。これは不公平では？
※	・特に無し
※	今回、WSへ一般からの演題応募ができなかったのは大変残念でした。(昨年の分子生物学会では、一般からもWSへ応募でき、大変充実していました。)優秀な研究を公平にWSへ採択できるよう、来年以降、変更していただきたいと思います。
※	人多すぎ
※	ASCB、SFNなどのアメリカの学会時期と重複をさけてほしい。
※	・会場はけっこうらばっていたけれど、会場NoとワークショップやTalk Noが一致させてあったのでわかりやすかった。・ポスター会場は、発表時に混雑して、動きにくかった。・ワークショップとTalkの開始時間が全てそろっていて、わかりやすかった。
※	同分野のワークショップ、とtalk等が、同時間に、別会場で行われたことが多く感じた。
※	ポスターの数が多すぎて、1人のスペースが少なく、また混雑がひどく十分なディスカッションができない。
※	PCスライドチェックは発表会場外でやって欲しい。発表かん前でやりとりされるとよくないと思う。
※	・ポスターの演題が多く、自分の発表時間は他の興味あるポスターをききにいけないのが残念。・会場が広いため続けてききたい話が離れた場所である場合、移動が大変。
※	初参加で非常に楽しかった。
※	やはり大きすぎるな・・・という印象。でもたまにはこういうのもよし。
※	今回はそれ程でなかったが、例年シンポジウム、ワークショップが重なり、不便です。遺伝子複製と修復は研究者が重複していることが多いので日程を離して下さい。全面禁煙にして下さい。カゼをひいている人はマスクをするように、マスクを配る方が、消毒用のアルコールを用意するより実際的だと思います。展示場の方のいすが堅くてすわり心地が悪く、お尻が痛くなりました。
※	懇親会を是非行なってほしい。分野外の方とお会いする機会があまりなかったのが残念でした。
※	ポスター会場が狭すぎるのももっと広い方がよい。
※	口答発表、シンポジウムが少なく、興味のない分野ばかりだと、時間をもて余してしまう。
※	骨関連のシンポジウムがなかった
※	すばらしい運営だったと思います。
※	セッションによっては、面白みが無く、ディスカッションも盛り上がりがないものがあった。テーマ選定、演題選定にももう少し力を入れた方がよいのではないかと。セッションが多すぎるのか、今年は特に寂しい印象が残った。
※	ポスター掲示の時間が守れないケースが増えている。午前中に見に行くと目的の物が見られない事が多数、モラルが低下している。
※	若手教育企画がいくつかありよかった。
※	昼食を食べるところが少ないのは本当になんとかしたほうがよいと思います。
※	受付係の対応がよかった。(意味もなく2カ所の受付を往復させられた)
※	演題のテーマを特定の日にかためすぎ
※	要旨を見る為にパソコンを利用したかったが、台数が少なく利用できなかった。デジカメでポスターをさつえいしている人を何人も見た。次回、大きく掲示するなど、徹底した方がよい。
※	口頭発表の分類が難しいと思う。特集のようにした方がよいが・・・”手法でたてにきる”などワークショップにはないよさも出してほしい。ワークショップ全体討論の時間がほしいと思う。
※	交通が不便である。
※	口頭発表の場合、発表が終わったらプレゼの画面が消えるのがよくない。Questionに対して答えにくい。discussionしにくいです！
※	今回の無線LANは快適でした。表の書店(やたい?)もよかった
※	あまりに分野が広くて逆に自分の★★にフィットしないように感じる。ある程度★★をしぼるか、分科会を★★することも考えるべきでは・・・
※	とても良かった！
※	ポスターは、場所によっては、帰れなくなるので最終日くらいは、昼にすべき
※	ポスター日程を振り分けて欲しい
※	そもそもこのアンケート自体を英語にして外国人の意見を集めるべき。
※	国際会議場への移動が遠く感じた。
※	人との交流が少ない
※	5200題は多すぎる
※	とっても良かったと思う。
※	ポスターの発表時間がちょっと遅い。1号間2Fのポスター会場の幅がせまい。通りにくかった。
※	例年にもまして、すばらしい大会でした。
※	会場が広がったです
※	初めて参加しましたが、分野が幅広く、またかなり混ざっていて大変だった。
※	Wireless LANスポットの設定について、事前説明が少なく、少々困った。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※	タンパク質の分野が多く感じた。実際研究者が多いのかもしれないが、2日間(or3日)に集約させた方が、だらだらしないのではないのでしょうか。ポスター会場にイスが設置されていたのは嬉しかったです。(座りながらメモがとれる！)
※	ポスター会場にカテゴリーの名前があった方がよい
※	お昼の時間が中途半端なため、参加者が散逸してしまっている。
※	最終日のランチョンセミナーを増やして欲しい。
※	少し時間がタイト。全部に参加すると、ブースとか見れない。神戸は交通がしんどい。ポートライナーのみはしんどい
※	よくできていると思うが、演題が多くて見聞が希はくになる。
※	学部生にとって英語化はすこし大変だと思います。
※	ポスターの幅がせまく、人が多くて非常に見づらかった。
※	ポスターは、多岐に渡っているので、見ごたえあるが、シンポ他は、…。言わずもがな。
※	ポスターの配置が良かったように思います。分野ごとのまとまりはあるが、対面の壁にまったく知らない話があり、興味が広がりました。
※	去年に比べて、参加者が多く、活気がある。
※	JB論文賞ポスターが、プログラム55ページの2号館2階になかった。どこにあったのか？
※	ポスターの写真をとっている人がいるが、いいのか。ちゃんと注意してほしい
※	会場の空調が暑すぎた。ホテルでの会場の水の試飲ができたのがよかった。
※	特別講演スタート10分前にはブースでのプレゼンや物での客よせを中止するなどのルールがほしい。時計が見られない状態で、何分かかかるかわからないものによび止められ、講演などにまにあわなくなる。
※	ポスターの時間が遅い。午後7時すぎぐらいが良い。
※	どうでもいい。
※	スライドのピントがあまく、見づらかった。
※	ポスター展示場が狭い。
※	ポスター掲示時間を8:00-のPL前(7:30~)に開始させてほしいと思いました。
※	ポスター会場がせまいのか、みていない人が多いのか、人のながれがポスターの前ではなくとどまっていた。
※	ポスター会場と展示会場が分かれて大変良かった。以前、最終日のポスター発表時に展示の撤収が始まり、作業の騒音がひどかったため、今後この方式がよい。
※	ポスター会場が狭い。特にパネルの横幅が短かすぎます。会場内にすら入れないワークショップが多数あったので、改善を考えて欲しい。
※	WebのMy Schedule機能はベンリであったが、スケジュールのPDF化にエラー／バグがあり残念。昨年よりWiFi感度が良く、安心して利用できた。
※	英語の使用は演者に一任し、原則日本語にすべきである。討論、理解度の深さは日本語でやった方がはるかに良い。
※	ポスター発表において「貼りにげ」が多すぎる。私の両側とも「貼り逃げ」だった。質問できずに困る人が多い。間違えて、となりの私に質問にきた人もいる。
※	とくになし
※	初めて来ましたが、楽しかったです。
※	4日目のランチョンが少い。
※	BTセミナー混雑改善要。ポスター会場内の安価ドリンクメニュー&スナック類の充実。
※	会場で無線LANが使えてよかった。(事前にアナウンスしてほしい。)
※	神戸会場はあまり好きになれない。
※	12/10午前17会場は人が多いのに席がすくない。イス(老化)があっても後ろは遠い&段差がなくて見えないともったいない気がしました。来年は大きい会場にして下さい。
※	今までで最高の大会でした！
※	錬金術のしっぽを引きずる、生化学会に近代科学を教育する、よい機会にはなっているかもしれない。
※	おつかれさまでした。
※	会場が寒い。会場が広い。疲れる。
※	ワークショップ、シンポジウムの内容が、あまりにも細分化。学会出席して学習したいと思っても、適切なものがない。教育講演、総説講演などあるとよい。
※	初BMBでしたが、多様なテーマがあり勉強になりました。
※	敷居が低くなりすぎ、レベルが落ちた気がする。
※	ポスターの間におかれたイスは通行の防げになっていた。
※	ポスター会場が狭すぎる。移動が困難だった。ワールド記念ホールも使うと遠くて大変という配慮からだとは思いますが。
※	ランチェンセミナーの数が少なすぎる！
※	場所が離れて移動がめんどろ。雨降らなかったからよかったが。
※	ポスターは複数日の掲示を。
※	昨年の分子生物学会で、ポスター会場に軽食の販売があったはずですが、今年は、ほとんどありません。やはり、会場内であった方がよいと思います。
※	会場が広いが、イスが水平におかれているので(ホール状になっていない)後の方ではスクリーンがみえない。大きい会場ではホール状になっているとありがたい。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※ 秋にすべき
※ 学会を、少しでもオープンにできる企画がほしい。この分野に興味のある高校生をあらかじめ募集し、何かワークショップ的なものをするとか…。すごく閉ざされた空間になってもつたいない。せつかくの場をもうすこし、一般にみせることも、少しは必要。でないとう、仕分けられます。
※ 人数に対して会場が小さかった。ポスターパネルのサイズが小さすぎた。(横はば)。
※ ポスター発表時、来年はもっとデータをたくさんせる。ちとシンプルすぎた。
※ 英語はできるようにならなければならないが、この学会は知識を蓄える場だと思います。ですので、母国語でおこなうべきだと思います。
※ 12月は寒い。秋にしてほしい。
※ 大変よく準備されていたと思います。御苦労様でした。
※ 午後の時間の使い方については、改良すべき点があるように思う。プレナリーレクチャーの時間は独立させなくてもいいのではないか。
※ 神戸で行う場合はルミナリエと時期をずらしてほしい。(宿がどれないため)
※ 4日は少々長い。
※ 非常に良かった！
※ 会費がかさむから2つの学会が合併してもよいのでは？
※ 規程が縮小した気がする。
※ 口頭発表にもっと多くの修士学生を採用してほしい。軽食販売をもっと充実させてほしい。女子向けに。
※ ポスター発表のイスがじゃま。通路の真ん中にある意味が分からない。(ただでさえ人が多いのに。)休むなら会場の端で休んで欲しい。
※ 矛盾するが合同だと、様々な人の話がきけて良い。
※ プレナリーレクチャー、パイオニアズレクチャーの講師をもっと多くの人を呼んでほしい。
※ 人が多いです。見たいポスター(自分と似た研究のもの)が自分と同じ日の同じ時間帯にあるのでよく見れませんでした。改善して下さい。
※ ポスターの間にベンチを設けているのは良かったです。
※ ぜひ続けてほしい。
※ とても良かった
※ ポスター掲示時間&質疑時間が短いのもっと長くしてほしい。ポスターのカテゴリーごとに、カテゴリーを示す掲示が会場にあるとうれしい。弁当販売もしてほしい。(神戸は食べる所が近くに少ないので)
※ 無線LANが弱いので不便だった。
※ ・スクリーンの位置が低い会場があり困った。・入り切れない会場が多く見られた。・今回の会場は単独開催向きと思う。
※ 一部D演3T-7の会場が狭すぎた。
※ 乱筆ですみません
※ ポートアイランドは交通の便が悪い(ポートライナーがネックになって混みすぎる)
※ 英語がにがてなので、できれば日本語にしてほしい。もし、英語発表にするとしても、日本人同志の質疑応答は日本語ダメにする必要はないと思います。質問を英語にしまうと、ニュアンスのつたわらない形式的なものになってしまいやすく、学会参加の意味がなくなってしまうと思う。
※ 私の分野は生化学には関係なく分子生物に近いが、せつかくこれだけ大きく分野をカバーする学会であるならば、可能な限り広く分野をカバーした方がよい。このようにこれだけ大きい学会のメリットは、この機会に分野外の話あるいは近い分野だが、ふだんはあまり聞かない領域の話や、勉強するというものだろう。とすれば英語でなく日本語で垣根を低くした方がよいと思う。(専門家が自分の専門の分野の話や深くつっこむ場というのは、もっと小さな専門学会であろう。これに関連して、各シンポジウムでも、時々「日本語でどうぞ」とよびかけているのをみかけた。本音はやはり日本語で、なのではないか。外国からのinvited speakerをどうするかの問題は残るが。
※ 近い内容の発表は近い部屋で行なってほしい。移動が大変。
※ 初めて神戸の学会に参加したが、会場の場所がお互いに遠い。食事や休憩をする場所が少ないし、コンビニなどもなく大変困る。これだけ会費を払っているのに、リターン分が少ない。より口演内容を絞り、効率的に運営するのを望む。
※ もりだくさんである。そのため、議論に集中できないところがある。
※ Swedenの研究leaderとの交流会は刺激になりました。
※ 神戸は、会場間が遠く、行き来しにくいので、いろいろな会場を見に行くことができず、いまいち。食事ができる場所も少ない。ワークショップも目新しいものが少なかった。ポートライナーがこままに、開始時間をずらしてほしい。
※ 充実していた。
※ 有意義な大会であった。
※ ポスター会場の通路で立ち話したり座ったりするのはやめて欲しい
※ 朝8:00~にはギモンがある。
※ Poster発表の終了時刻が遅すぎる。
※ プログラムがよくできていた。成功だと思います。成功したので、ますます大きくなるので、方向性を提案する時期だと思います。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※	初参加でしたが、会場、発表内容共に大変素晴らしいと思い、感銘を致しました。このような学会に参加でき、嬉しかったです。ありがとうございました。
※	8:00から講演があるのに、ポスター貼布、テクニカルセミナ整理券発行が7:50ぐらいからしかなかったのもう少し早めて欲しい
※	長期滞在手荷物が多くなる人もいるため(企業ブースのサンプルや景品、みやげなどで)、手荷物の配送サービスを運送業者と提携してやってみてはどうでしょうか？
※	写真可にして欲しい。
※	国内学会で英語の使用はおかしいのでは？英語にするなら、国際会議とすべき。
※	良かった。落ちついて、よくオーガナイズされていた。
※	内容が広く、浅くなっている気がする
※	ワークショップで、これからやることを話されてもこまる。これからの取りくみではなく、現状をしっかりとおさえたワークショップを行ってほしい。トークの演題が、おそまつ。もっと充実させてほしい。
※	懇親会が無かったのは残念
※	Work shopとポスター、Talkは日本語で良いと思う。
※	軽食を購入する場を増やしてほしい。夕方まで残っているときに、買う場所がなくて困りました。
※	総会など、学会の重要会議と学術発表は別にする方がよい。
※	とくになし、ちょっと高い。
※	外国からの参加者が増えるとうい。中国にCSHもでき、重要な学会は中国で開かれるようになるかと予想する。
※	いつにもまして、とてもよかったです！
※	ポスターにはビール、ワインがあってもよいのでは？
※	大変勉強になりました。内容が似ている演題が同じ時間にやっていたりしていたので、できればかぶるのは避けてほしい。
※	・学会場の移動に時間がかかりました。・会場の小さいところには、会場の外でも拝聴できるようにテレビモニターをおいていただけると嬉しいです。
※	神戸開催に際してはポートライナーが混みすぎてNGシャトルバス等の代替交通手段を考えて下さい。展示ブースの企業のテクニカルセミナー(GE等がやっていたもの)と1つのか所に集約して降公を出してはどうですか。薬理学会(83回)年会はそうしていました。
※	多くの会場(ポスター会場含む)が狭いところを回善すべき。
※	Web提供されたAbsaractキーワード検★My Schedule機能は大変便利だったので次回も行なうことを希望します。
※	お疲れ様でした。
※	参加者に対して会場が狭い、立ち見の人が多い
※	well-★
※	2年前の合同大会に比べて、非モデル生物が減っているように思う。
※	要旨集がないのなら、参加費を安くすべきなのではないでしょうか？
※	活気がよい。
※	ポスター会場が狭かったと思う。特に2階。
※	ポスターの際、会場内に番号だけでなくテーマ名のサインもほしい。
※	何を重視するのかよく分らない。ポスター会場は狭すぎる。
※	小さい会場(例えば第5会場)では、スライドのスクリーン位置が低すぎて、前の方の3~4列くらいしか良く見えないと思います。階段状にイスを並べられない部屋でももっとスクリーン位置を高くしてほしいです。今回の学会に限りませんが、昔のように大学の講義室のような部屋を使ってほしいです。8時から始まる講演を聴くために、ポスターを貼る時間の開始をもう少し早くして頂ければありがたいです。
※	入会しなくても演題発表ができると嬉しいです。
※	植物分野を増やしてほしいです。
※	学会の統合を望む
※	・開催期間を5日にのばしてもいい。・市民講座を別の都市で開催する意味がないと思う。
※	シンポジウムなど席の配置を工夫してほしい。前の人達の頭でスライドが全く見えない会場が多すぎる。床が傾斜なしなので、席を少しずつずらして頭部が重ならないようにしてほしい。1つずつずれるくらいなので、会場のキャパシティーや通路は大して変わらないと思う。
※	神戸は不便です。大会が大きすぎるので仕方ないと思いますが。
※	同一分野では会場の移動は無いのか。近いが良い。
※	ポスター間が狭かった。AOを貼って少しはみ出すのはいかがなものか。
※	市民公開講座は大会と同地区(同会場)で開催してほしい。全国から集合しているのに一地区(関東)のみしか参加できないのは不適當だ
※	会場が不便。わかりにくい。無線LANの使用場所の多さ、感度、スバラしい。
※	シンポジウム ワークショップ→午後Talkまでの間の休みの時間が長すぎる。
※	良かったのではないかと。
※	全般的に会場の温度設定が高すぎる。全ての会場が閉じられた空間で行なわれるのなら良いか、そうでなければ、シャツのみの衣服でちょうど良い温度設定は、エコにも逆行する。
※	ポスタースペースが狭くなった。
※	時間の余裕があってよかった。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※ 機器展示や書籍販売を別会場にしたなら、機器・書籍会場は学会参加者以外にも無料開放にしてはどうか？
※ 応用分野が多くて、1、2日目は暇だった。
※ 似たようなWSが多すぎです。(がんetc.)
※ 学会スタッフの質(対応、知識)が個人差が大きい。クレームに対して、「対応しかねる」の一点張りで、参加者にがまんを強いるのはいかがなものかと思った。クロークや、会場間での現状のはあくを共有するにすべきでは。
※ National Bio Resourceの企画は全体の状況が分かりやすくアレンジしてあったと思います。
※ 基本的に文字が小さいスライドが多いように思える。後ろからでも見えるよう、最低Opt以上などの規程があってもいいのではないかと思う
※ 細かい話が多過ぎる。
※ 充実していた。
※ 良くorganizeされていると考えます。
※ テクニカルセミナーのランチを有料にして欲しい。食べることが目的で来ている者が多数いる。
※ ・Webベースの要旨はよかったと思う。・会場全域に無線LANがほしい
※ 12月はコートがじゃまだから、夏に開いてほしい。
※ 三宮までシャトルバスを出してほしい。ポートライナーの殺人的混雑にたえられません
※ ポスターが終るのが遅すぎる。プレナリーレクチャーの時間帯は再考しても良いのでは。
※ 若い人が参加者の中心となっている。ポスター発表の雰囲気は他の学会と比べて優れている
※ ポスター会場を集中させたため、狭くなっていた。ポスター会場のベンチの場所は、会場のすみっこに置いた方がよい。通行のジャマになって、なかなか前へすすめなかった。
※ よい合同大会である
※ 参加者が多い[場所がせまくなる]
※ テーマに比して明らかに小さすぎる部屋が割りあてられているケースあり(2W21Pなど)入りきれないAudienceあふれています。(ランチのお弁当のSelectionがわるいです。wholeのoctopusは外人は気味わるがって食べません。)
※ ルミナリエの期間とはずらした方が良いのでは。(ホテルの手配がなおさら難しく)
※ メールを活用して下さい。事前に総会議事等を送信してもらえれば助かります。あるいはホームページからダウンロード可能にするとか、色々な工夫ができると思います。シンポジウム、座長、スピーカーも有名な先生方ばかりで結構なことですが、流行の研究ばかりでなく、もっと「ドロ臭い研究」にも焦点を当ててみるのもいいかも知れません。
※ 会場によってはスクリーンの位置が低く、(・・・と言っても、あれ以上高くできないだろうが)、画面の下1/3くらいが、前の方に座っている人の上半身にかくれ、見えない所があった。多少小さくても良いので、後方からでも全画面が見えるように配慮してほしい。
※ なるべく合同にして下さい。
※ 盛況でとても良かった。勉強になります。ありがとうございました。
※ 屋食に関して、あまりにも配慮がなさすぎる。食事をするスペースが少ないのだから、弁当でも販売して、自由に食べたり飲んだりするスペースを(展示室などにおいて)充分確保すべきである。また、ポスター会場においても展示さえすればいいとの考えか、まったく余裕がない。何を考えているのかわからない！
※ ポスター会場のポスター間のイスがじゃまで通行のさまたげとなっていた。不便です。
※ 大変良かったです。ありがとうございました。
※ 各部屋ごとにモニター等を複数か所設置してほしい。スライドの上半分しか見えないことが多々あった。
※ 会場が広すぎて(規模が大きすぎて)回りきれないし、特に口演を聞きづらい。ポスターは、発表者が順番に説明していく方法だと良いと思う。
※ 企業研究所が集中しそうな内容の口演会場を大きくするべき
※ Talkの発表にPowerPointの発表者ツールの使用を許可していただけるとうれしい。ポスター掲示場のスペースをもう少し広くしてほしい。ポスター発表時に混雑しすぎて動きにくい。
※ ライルス★会、etc関連学会と連続にして、Biochemistry weekのように一本化して欲しい。
※ 向かいあった建物のエリアで学会が完結するようになってよかった。ちょっとはなれた体育館みたいなところは使わないでほしい。外に露店が出ていてよかった。
※ 神戸はポートライナーが混むので別の交通手段の良い所を希望
※ 展示とポスター発表を同時にすべき。展示が5時に終るとポスター会場が混雑しすぎる
※ 無線LANの出力が小さく、接続しにくいところがあったので改善してほしい
※ 運営企画ごころうさまです。
※ 聞きたい内容が重複することが多かった。1日に実施する演題数を少くして期間を長くして欲しい。合同開催が2つの学会分と考えると可能なことと考える。
※ ・第1日目にクロークが満杯となりました。クロークの収容できる量を多く取って頂ければと思います。
※ 初参加でしたがポスターの数が多く、有意義でした。
※ ポスター時間を現在の2倍にすべきだ。
※ レベルアップして非常に良い。
※ ワークショップのポスターを作るべき
※ 演題数が多くて疲れました。若手教育セミナーやイラストレーション等の様々な研究関連テーマをとりあげたセミナーもあっておもしろかったです。為になりました。

質問6 今年の合同大会について、その他自由記述

※	パイプイスをつめ込んだ中で長時間過ごす想像以上に体力的負担が多く、つい居眠りをしてしまいました。無理な体勢での居眠りで、余計に疲れがたまり、悪いサイクルとなりました。周囲を見渡しても皆、同様のようです。学会が巨大で参加人数が莫大なので仕方のない所もあるのかもしれませんが、ご高齢の先生方のためにも、少しでも改善して頂けたらと思います。
※	生物分野の課題が多く生化学が少ないように感じた
※	交通機関の充実を求めます
※	会場広くするか、イスの量をふやして
※	毎回合同にして下さい
※	ポスター会場が例年よりも狭く感じられました。
※	ポスターのパネルの幅が狭い。ポスター会場が狭い
※	今年は例年に比べて発表数が少ないような気がする
※	やめて下さい。ポスタの時間が遅すぎる。もっと早い時間に、18:00には終って欲しい
※	口頭発表を取り入れたのは良いと思う
※	大きくなりすぎているので、聴きたいテーマが時間的にかさなったり、「時間が接近、会場ははなれている」ときに移動がたいへんだったりします。
※	発表の場としては有意義であったが、聞く側としては不満がのこる。
※	参加者が多く、非常に勉強になった。
※	立ち見のセクションが少し多かった。
※	大きくなったという印象
※	ポスター発表を午後一番にはじめてほしい。
※	口頭発表の会場が狭いため座るどころか、部屋にも入れない、という事が何度かありました。このような状況を考えると合同にして人数が多くなりすぎる事が良いのか悪いのか・・・？
※	ポスターの時間が短かすぎなのではないでしょうか。もう少し隣のポスターと離していただいても良かったのではないのでしょうか。出店が出ていましたね。良かったと思います。食事をする所が少ないのでたすかります。
※	今回の開催は、今までで一番よかったと思う。ごみや、食べ物など、工夫が必要かもしれない。
※	いつもより一般口頭発表に採択する率が低く、これがかえってよかった。いつもの年より、格段に勉強しやすく感じた。プログラムの組み方がよかったせいではないだろうか。とにかくよかった。プログラム(冊子体)にキーワード検索がないのだけ残念でした。
※	要旨の締切がもう少し遅いと助かります。8月末にはできませんか？
※	ポートアイランドは不便である
※	部屋が大きい割にスクリーンが小さく、後ろの方にいると見えませんでした。部屋のうしろにディスプレイを置くなどしてみたらどうでしょうか
※	昼に空いた時間がありもったいないと思いました。午前中は英語に統一した方がいいと思います。(日本語のWS方が人気があったようです)
※	活発な議論と若いエネルギーが感じられるすばらしい会だと思えます。
※	たいへんよろしい。もっと口頭発表があってもよい。
※	開催地神戸はキャパシティ(ホテル予約が取りにくい、輸送手段=ポートライナー)で「大変」不便さを感じる。今後、さけてもらいたい。
※	ポスター会場がせまい
※	進化に関する研究発表が増えてほしい。ワークショップも人気だけど、部屋が狭くて、立見か外で聞くこともありました。
※	Discussionをする人を配置する試みはなくすのですか？
※	よいと思う。